

松半  
川山  
註解

画引博物圖註解

三



松川半山註解并画



引畫博物圖註解

鳥獸部

画引博物圖註解卷之三

松川半山註解并画

動物第一

獸類一覽

哺乳類ハ有脊動物ノ最高階ニ位シ  
 堅實ニシテ自在ニ行進シ或ハ水ニ游泳スルモノ  
 テ裸體ノミナリト雖凡多クハ毛ヲ以テ被ヒテ之

動物類一覽

乃工田中忠治



画引博物圖註解卷之三

松川半山註解并畫

動物第一

獸類一覽

哺乳類ハ有脊動物ノ最高階ニ位シ骨骸堅實ニシテ自在ニ行走シ或ハ水ニ遊泳ス而シテ裸體モノアリト雖凡多クハ毛ヲ以テ被ヒ或ハ甲



ヲ以テ被フ肺野アリテ呼吸イキシ其兒ニ乳哺テス人類  
 ヲ第一等トシテ之ヲ十二目ニ分ツト雖凡今茲三人  
 類ヲ省略シテ十一目トナス抑獸類ハ本邦所産  
 ノ者甚ダ少シ因テ他國ノ産ト雖凡牛馬猪豚ノ如  
 ク古昔ヨリ畜養スルモノ或ハ他邦ヨリ屢舶齎  
 スルモノ或ハ未ダ舶來セズト雖凡久レク人口ニ  
 免ヒヤカスルモノ等ヲ舉テ略説ヲ附シ訓蒙ヲシ  
 ケトナス

第一 四手類 卽 獼猴類

四肢共ニ手ニシテ足ナキモノ



蘇門答刺及ビ波羅二  
 産ス大サ人ニ等シ此  
 獸言語スルノ機力ナシ



諸國ノ山中ニ多シ人コレヲ  
 養フテ技藝ヲ教フ然レトモ  
 馴ルコトナシ



印度南洋諸島ニ  
 産スル其

手長クシテ立テ  
 地ニ達ス性温  
 柔ナリ



亞細亞非利加亞  
 米利加ノ諸洲ニ産  
 ス其種類甚ダ多シ

尾ニカアルモノト無キ  
 モノトアリ今茲ニ圖ス  
 ルハカナキモノナリ



# 第二 翅手類 即 蝙蝠類

其手指長ク伸テ膜アリ  
翅ノ形ヲナス者

蝙蝠



種類多ク世界各所ニアラザルナシ  
其小ナルハ鼯鼠ノ大サ有リ大ナ  
ルモノニ至リテハ殆ド猫ノ如シ寒

國ニハ少ク熱國ニ大ナルモノアリ  
多ク深山ノ岩窟又ハ大樹ノ朽孔  
ノ間ダナドニ棲ミ日中ハ潜伏シ  
黄昏ヨリ群飛ビ

小羽虫トイフモノ  
食ス



大蝙蝠  
琉球及ビ小笠原島等ノ  
南地ノ暖國ニ産ス好  
テ果實ヲ食ス

# 第三 殺生類ニ 食蟲部

土中ニ棲ミテ  
食フ者

鼯鼠



土中ニ在リテ蚯蚓  
其他ノ蟲ヲ食シ植物  
根ヲ掘テ田圃ノ害ヲナス



鼯鼠

大小ノ數種イロアリ  
其性ツキ鼯鼠ノ如シ  
地上ニ出レバ忽チ死ス  
故ニ一名ヒミズト云フ



歐洲ニ多ク又支

那ニモ産ス身ノ毛皆ナ  
空管ノ刺状カクヲナシ  
直立ス他獸ノ三葉  
ニハル、時ハ身ヲ縮メテ  
毬ノ如シ



第三 殺生類ニ食肉部

他獸ヲ殺シテ食餌トナス者

熊



寒地ニ棲ム者ニテ北國ノ山中ニ多ク産ス或ハ北海道ニ産スルハ頗ル大キシ之ヲ熊ト云フ總身真黒ニシテ只

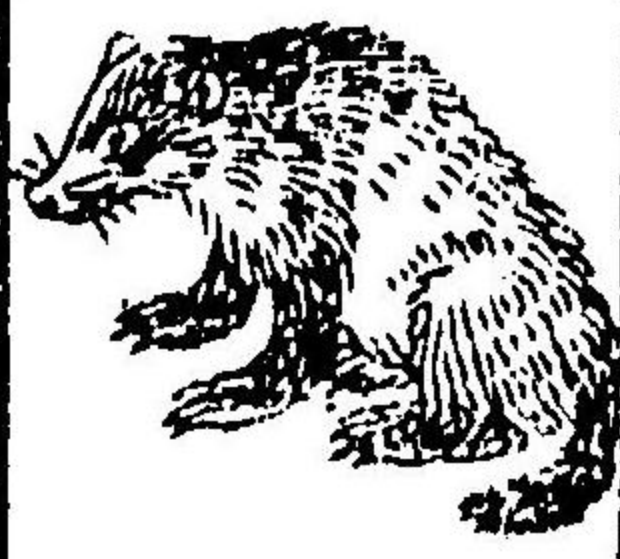
白脂ノミ白毛ナリ膽ハ熊膽ト稱シ胃ヲ健ニスルノ効アリ其皮ハ褥トナシテ人ニ益多シ



北海ニ多ク

産ス毛色赤黒シ大ナルハ馬ヲ負テ去ル性粗暴ニシテ人ヲ害ス

獺



山中ニ穴居シ晝ハ蟄ク夜ル出デ、食ヲ

求ム殊ニ貂鼠一名キテ好メリ

深山幽谷ニ棲ム若シ雷鳴ナストキハ雲ヲ招キ丈ニ乘ジテ虚空ヲ翔ル雷鳴慎ルトキハ已

ガ巢ニ蟄ス 黄鼬

山地ノ堂舎又ハ古屋ニ棲ム老タルハ全身淡黄色ナリ

鼬鼠



人家ニ棲ミ鼠又鳥等ヲ咬ミ其血ヲ吸フナリ糞ニ惡臭アリ



水中ヲ泳ぎヌト自在ニシテ川池沼ナドノ水中ニ飛入り魚ヲ

捕リ食フ其皮ヲ褥トナス又其姿ノ優肉ヲ抜キ皮賤布トナシ金貨ヲ入ルニ宜シ若シ火中ニ投テモ火ノ入ルヲナシ

海獺





北海道ノ海岸及ビ獵虎島ニ  
多シ其毛皮カ水獺ノ似テ頗  
ル柔軟ナレバ價モ十倍セリ



人家ニ畜テ能  
人馴レ夜ノ守  
リトナリ賊ヲ

防ギ人ヲ救フ  
多シ



深山ニ棲ム猛獸ニシテ狼ニ  
等シク他獸ヲ殘食ス又  
飢ニ迫レバ人ヲモ害ス

狐



人家ニ近キ山野ニ穴居アルニ夜陰見ニ出テ  
人里ニ来リ鴨鶏ヲ竊ミ食ヒ或ハ種々ノ姿  
ニ化テ人ヲ誑カス陰獸ナリ

猫

狸



狐ノ類ニシテ体肥タリ最モ陰獸  
ニテ昼ハ嘯ミ夜ル出テ食ヲ竊ミ  
又人ヲ誑カス多ク古寺ナドニ棲ム



人家ニ畜ヒテ能人馴レ  
鼠ヲ捕テ食フ然レドモ  
盜竊ノ性ヲ免レズ

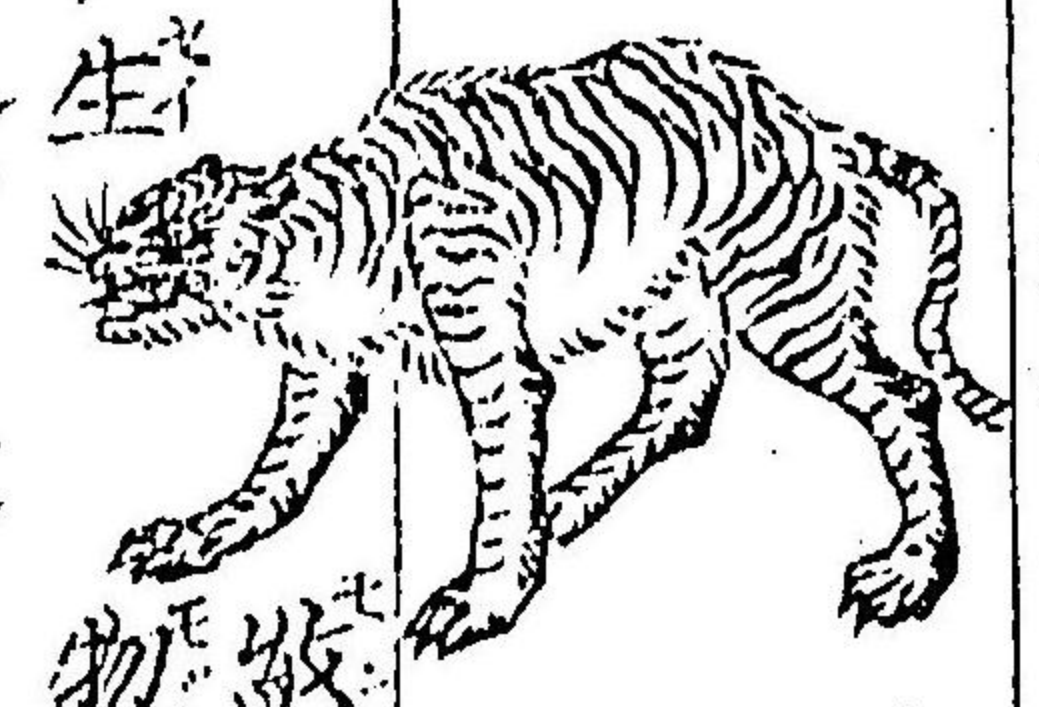
豹



状干虎ニ似テ稍小ナ  
リ身ノ高サ二尺首ヨ  
リ尾迄長五尺肚白ク

脊ハ黄色ニ黒ノ斑アリ  
小獸ヲ啖フ能樹ニ上ル  
非利加ニ多産ス其種類甚タ多シ

虎

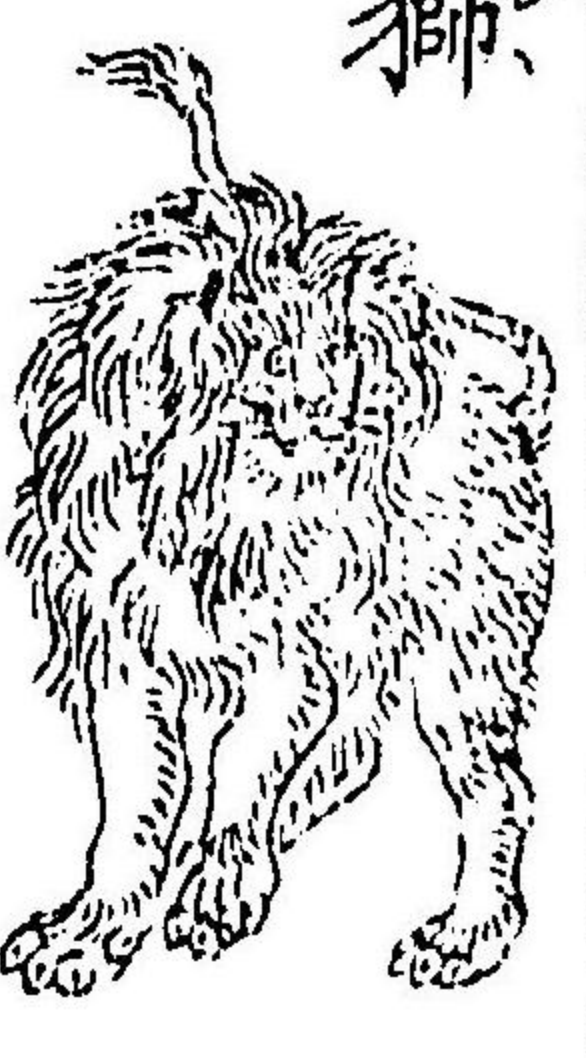


身ノ高  
サ三尺  
首ヨリ

尾マデ長大約七尺脊黄ニ肚白ニ黒ノ  
牙ハ鋭尖爪利鋭錐ノ如シ禽獸ノ生  
フ其皮ハ褥トナス

故アリ齒  
物ヲ食

獅



亞細亞亞米利加ノ二洲ニ産ス身ノ高  
三尺長四尺牡ハ鬣アリ牝ハナシ最モ  
猛獸ニシテ吼トキハ百獸恐怖トナス



第三 殺生類三 鰭脚部

其足ノ形テ鰭ノ如ク水ヲ游泳スル者

鰭脚獸



北海道ニ産ス類ハ猫ニ似テ小サシ四足アリテ大鰭ノ如シ其尖リノ内ニ五ツノ爪アリ尾ハ小サシ海底ノ最モ深キ所ニ棲ム波

ノ上ヲ寝テガテ群ヲナシ流ル其中一足睡ラズシテ護ル若シ船来レバ忽チ声ヲ発シテ睡ヲ醒シ水中ニ隠ル一説ニ鰭脚ハ鰭ノフナリ然レ共多ク外腎ノフニシテ罌丸

ナリ或ハ陸莖氏云滋補ノ海驢効流アリ藥品ノ最モ貴キモノトス



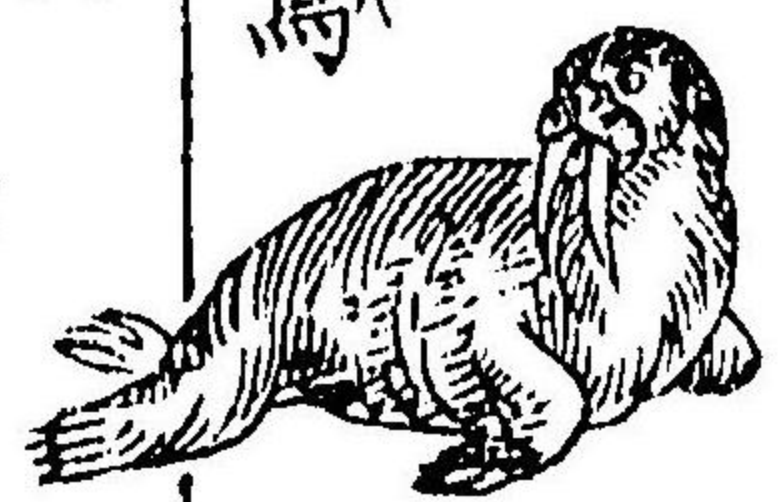
諸國ノ海ニ産スト雖凡就中

紀州華鹿島ニ多シ故ニ此名ヅク此肉味アシ、食ニ堪ヘズ



状テ鰭脚ニ似タリ北海ニ産ス冬ニ至レバ斑點ヲ

アリテ大ニ美ナリ



樺太州ノ極北ノ海ニ棲其牙甚長大オホニシテ潔白ナリ象牙ニ能ク似タル故ニ工人シテ彫刻モリシテ象

牙ニ擬マキス之ヲ水象牙ト稱ス

第四 啣齒類 他物ヲ咬嚼スル者



栗鼠 状テ鼠ニ似テ尾太ク大キシ入テ見レバ尾ヲ以テ頭ヲ掩フ常ニ樹上ニ棲ミ好シク胡桃栗葡萄等ヲ食フ





顔ハ鼠ニ似テ肉翅アリモシク  
高キヨリ低ニ趣キ下ヨ  
リ高キニ上ルテ能ハズ



鼯ノ類  
ニシテ  
肉翅ア

リテ飛  
自在ニ  
ナリ



鼯ノ種類ニシテ状チ極メテ大ナ  
リ最モ肉翅アリテ能ク飛ブナリ  
何レモ白昼ハ蟄シテ夜陰出テ食

ヲ求ム

花金鼠



北海道ニ産ス栗鼠ノ種類ニシ  
テ能ク飛ブ已ガ巢ハ土中ナリ  
蟄ルテ果實ヲ貯ヘ置テ食フ



人家ニ棲ミテ器物ヲ啗ミ食物ヲ  
竊ミ穀物ヲ食フ之ヲ防グニ猫ヲ  
畜フナリ諸國ニ鼠ノ棲ヌ所ハ更ニナシ



鼠ノ小サ  
キモノニ  
テ俗ニ豆

鼠ト云フ毛色種々アリ白  
藤色褐色等或ハ舞鼠ト云ハ  
キリクマフ小兒ノ弄トナス者ナリ



諸國ノ高山  
ニ産ス其大  
サ尋常ノ鼠

ト鼠トノ中間歟ナ  
リ頭ノ形チ鼠ヨリ圓  
シ冬月コハ土中ナリニ蟄ルカス



數年前阿蘭陀ヨリ貢  
獻ス近年多ク舶來ス  
此獸敢テ賞スベキノ

能ナシト雖毛色種々ニ  
シテ美ナルト性狡猾ナ  
ラザル以テ之ヲ愛玩ス



各地ヨリ原野ニ  
産ス性至テ怯懦  
ナリ北國雪多

キ地ニ産スルハ  
冬月ニ白色ニ  
變ルアズ



毛色種々アリテ美ナリ  
近頃多ク人家ニ畜フテ  
人ノ愛玩ヲナス者ナリ



豪猪



西洋及比支那ニ産ス屢舶来シテ觀場  
モニナス總身ノ毛悉ク空管ニシテ硝  
子ノ如シ至テ猛ク二見ユレ凡其性穩十

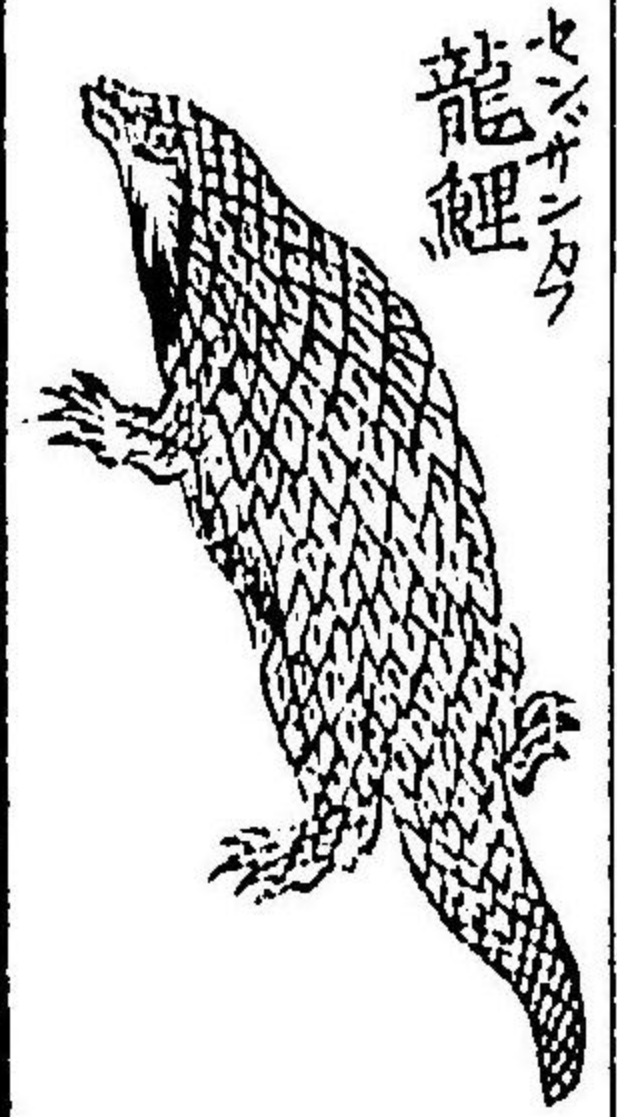
リ又  
大ニ活潑ナルモノナリ  
登ハ静ナリト雖ドモ夜ニ至レバ

第五 無齒類

門齒又牙齒ナク或ハ  
齒齒ハスナキ者



南亞米利加ニ産ス口  
小サク舌細長シ好  
テ蟻ヲ醜クシ食フ



龍鯉

全身ニ堅キ鱗アリ若シ他獸モハニ裝綴ニハル、  
時ハ身ヲ縮ムルヲ狷ノ如シ其口及ビ食餌ニハ  
食蟻獸ニ粗似タリ

第六 雙蹄類一名 翻芻類

一度食セシ草ヲ再ビ出シ  
齒三食フ此類ノ内ニハ最  
モ人間ノ用ヲナス者多シ

駱駝



亞刺伯邊ノ熱國ニ産スル大獸ニシ  
能馴服ナシ重キヲ負ヒテ遠キニ至  
ル且腹中ニ水ヲ貯フ囊アリ故ニ數

日飲ミムセガレ 凡渴カスル  
ナシ殊ニ砂漠ニ早ク行ニ須要  
ノ獸類ナリ

鹿野獸

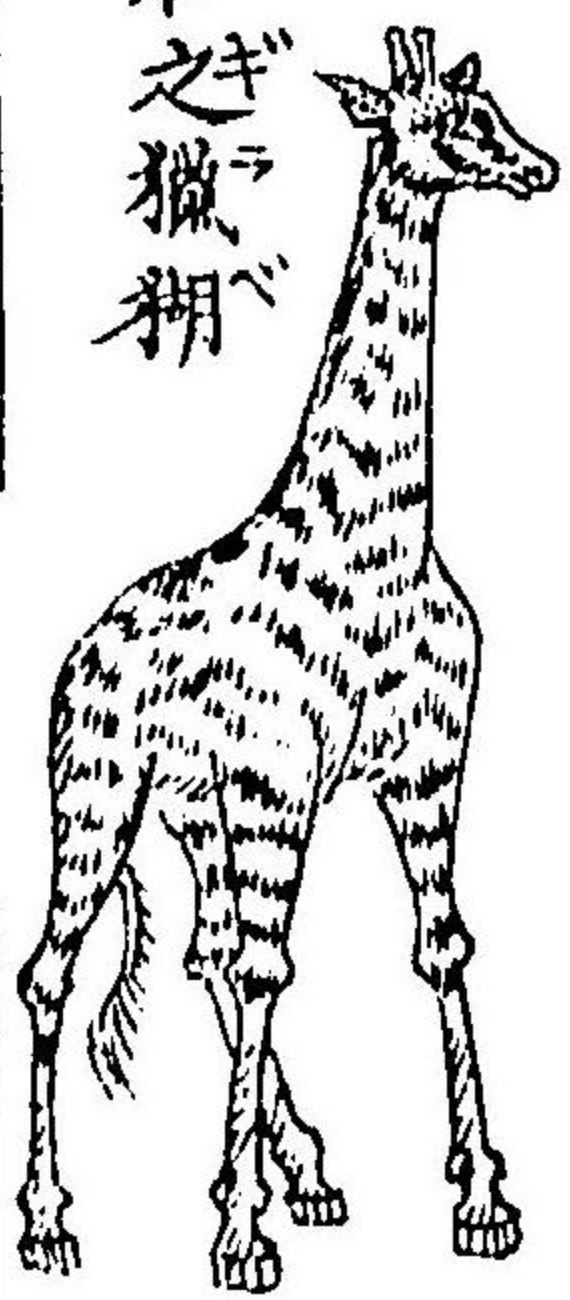


北地ニ産ス小  
獸ニシテ



腰ノ間ニ一囊トシテアリ中ニ香料トシテ貯フ之所謂麝香ナリ

麒麟一名之獵狃



亞非利加ニ産ス頸ノ長八尺首ヨリ蹄ニ至ル高サ一丈五尺身ニ斑アリテ美ナリ舌ヲ大枝トシテ捲キテ折ル樹ノ葉ヲ食フ



諸國ノ山野ニ棲ミ牡ハ角アリ牝ハ角ナシ性多淫ニシテ常ニ數多ノ牝ト交ル秋ノ夜ハ頻ニ啼テ妻トフナリ



北方ニ産ス其性寒ニ耐ヘラス最モ体大キク荷ヲ負ヒ車ヲ牽キ氷雪ノ上ヲ奔ル牛馬ノ及ブ所ニ非ズ其筋ハ弦トナシ骨ハ鼎ニ作り角ハ膠トシ皮ハ服ニ製ス

麝



諸國ノ高山ニ棲ム状羊ニ似テ目ノ下ニニツノ穴アリ角ハ小サク皮ハ禱トナス



肉ハ美ニシテ食フベシ毛ハ羅紗又ハ氈等ニ織ル要用ナリ



人家ニ畜ヒテ其毛ヲ摘ミ羅紗毛布等ヲ織ニ用ルモノ

ナリ



農家ニ畜ヒテ田畠ヲ耕シ重キ荷ヲ負ヒ車ヲ牽キテ人カヲ扶ケ又其乳ヲ絞リ人々之ヲ飲テ補ニ供フ其皮

ハ靴トナシ角ハ印判或ハ三絃ノコマ等ニ細エナス者ナリ



野生ノ牛ニシテ狀チ稍大キレ其角長大ナリニシテ印



判其外種々ノ  
細工ニ用キル  
ナリ

### 第七 單蹄類

足ニ單一ツトノ蹄アリテ  
乘駕ノ用ニ適スル者

馬



馬ハ六畜ノ中最トナス之ニ戰  
ヲ教ヘ耕ヲ教ヘ畋獵ヲ教ヘ車ヲ牽シ  
重キ荷ヲ負ヒナド其用キカク頗ル多

天下ノ馬亞刺伯ヲ以最良

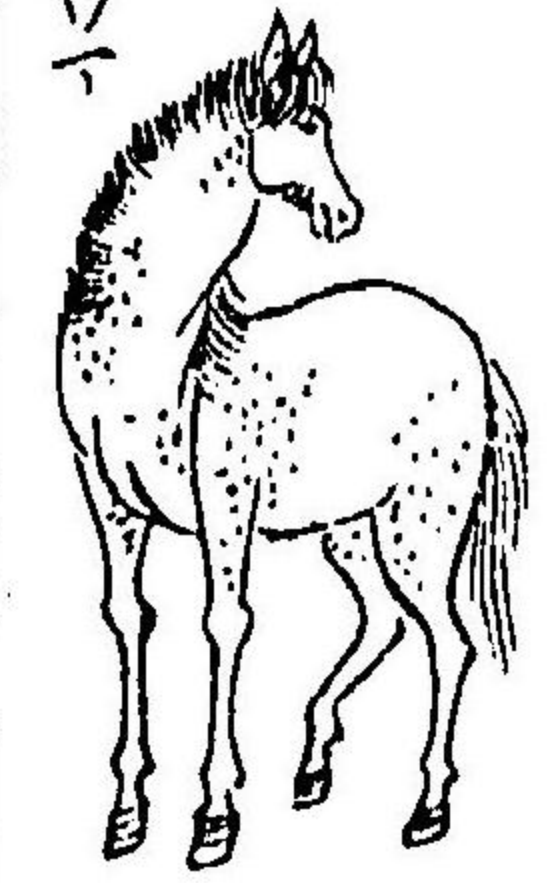
トナス身ノ高サ八尺日ニ千里ヲ  
行ト云フ此獸肝アツテ胆ナシ



狀チ小ニ  
シテ長ク  
鬣ナシ

薩州種子島

馬ニ次デ用キルナリ  
此馬支那ニアリテ  
我國ニハナシ



ニ産スル一種ノ馬  
ニシテ尋常ノ馬

斑馬

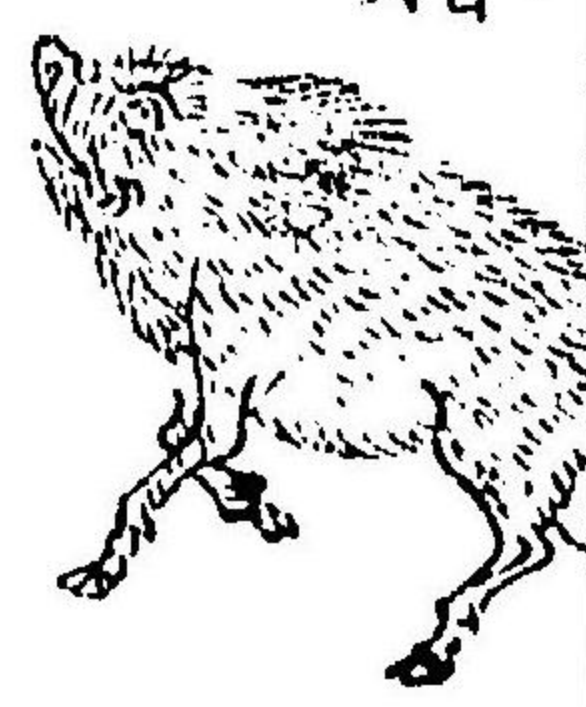


亞非利加洲ニ産スル野生ノ  
馬ニシテ性ツツ暴悍ナル故  
人ノ乗ルヲ難シト云フ

### 第八 多蹄類 一名 厚皮類

其形體ク大ニシテ大抵  
馴養ナラズベキ者

野猪



山林ニ棲之夜ル出テ田畑ヲ  
荒ス故ニ猪小屋ヲ造リテ  
太鼓ヲ鳴シテ之ヲ防グ



畜養シテ子ヲ多ク産ム獸ニシテ  
食餌ニナス此獸汚穢ヲ厭ハス  
土ノ外食セザル物ナシ性甚ダ愚ナリ  
○象ハ亞非利加及  
ビ印度ノ地ニ産  
ス最モ大ナルモ



ノニシテ其性至ツテ柔馴ナリカラ九馬ニ勝ツ首ハ俯ク  
クハ能ハズ鼻長廿五尺水ヲ飲ニ先ツ鼻ニ吸ヒ込テ其鼻  
ヲ曲テ口ヘ入水ヲ吞ム又葉ヲ一握リ与ヘバ

鼻ノ先ニテ捲キ揃ヘテ口ニ傳フ其自由ナ  
ルノ人ノ手ノ如シ其牙勝レテ長大ナリ  
此牙ヲ以テ種々ノ細エヲナスハ世ニ知ル

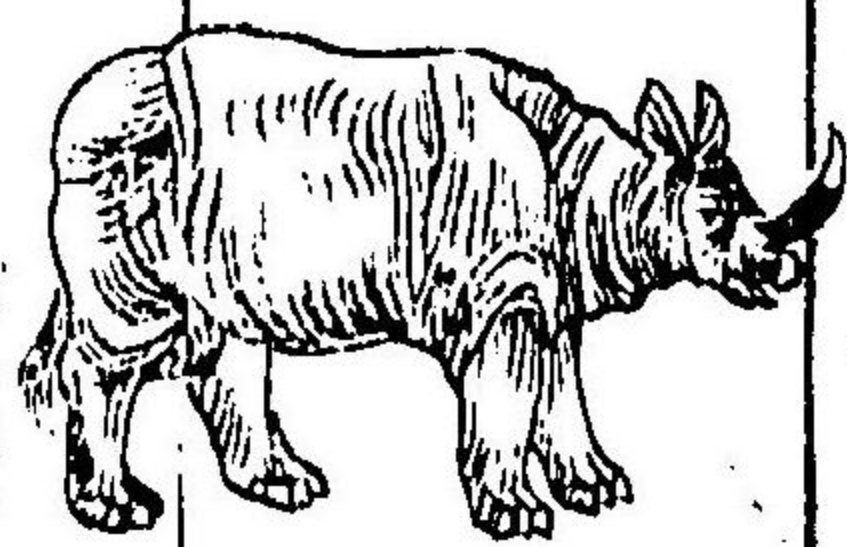
所ナリ

状ナリ

其皮至ツテ

即ハ

犀牛



角ト稱ズ猛獸ニシ刀鎗銃モ入テ能ハ

カ年アリテ皆ツイル

ズ水中怒テ向ヘバ樹木ヲ折摧ク  
虎狼カシオホモ恐怖レオツナストゾ

ヨ游泳

# 游水類即鯨魚類

海中ニ棲ム獸ニシテ多クハ陸ニ上ルナク其

形于甚ダ魚ニ似タリ故ニ人誤テ魚類ト思ヘリ

海豚

スナメリ

スナメリハ近海ニ産ス

ル鯨ノ種類ニシテ状チ小サシ其眼イタツ



テ小ナリ潮吹ハ凶シ左リ倚リニツクナリ

イルカハ此類數多アリ其状チ最モ魚ニ似テ色黒シ大キナルニ至ツテハ





五尋モアリ人之ヲ漢ス  
ル時ハ悲鳴ス是魚ノ類  
ニアラザル證ナリ

サカマタ  
テ類ル大  
齒白色ニシ

ハ海豚ニ似  
ナリ性猛ク其  
テ堅剛シタナ

又入齒ノ材ニ用テ  
佳ナリ

然レドモ鯨ノ  
如ク口ノ中ニ

是レ鯨ト異  
ニシテ同種

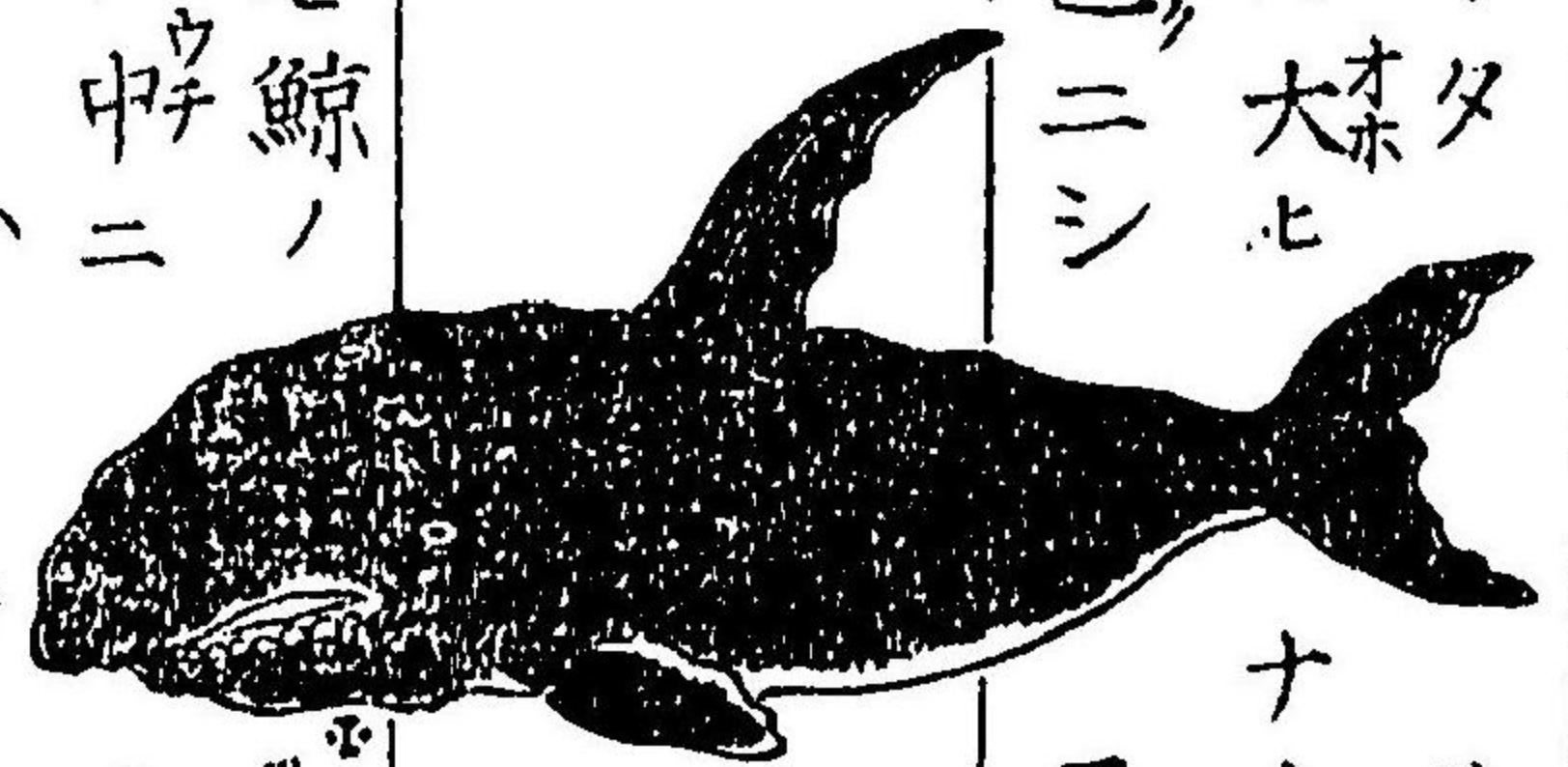
マツコクシラハ其  
狀チ大ニシテ  
鯨ニ似タリ

鬚ナクシテ齒アリ

ニアラズ



ウニコールハ  
巴州トノ界ナル大洋ニ産スル  
獸ニシテ上顎ハ二細長ク白色



サカマタ  
一名シヤチ

ノ換レタル角アリ至ツテ  
テ大鉄艦ニテモ  
忽チ其底ヲ打抜

之ニ觸ルトキハ  
キ潮ノ込入り

鯨魚  
之即チ

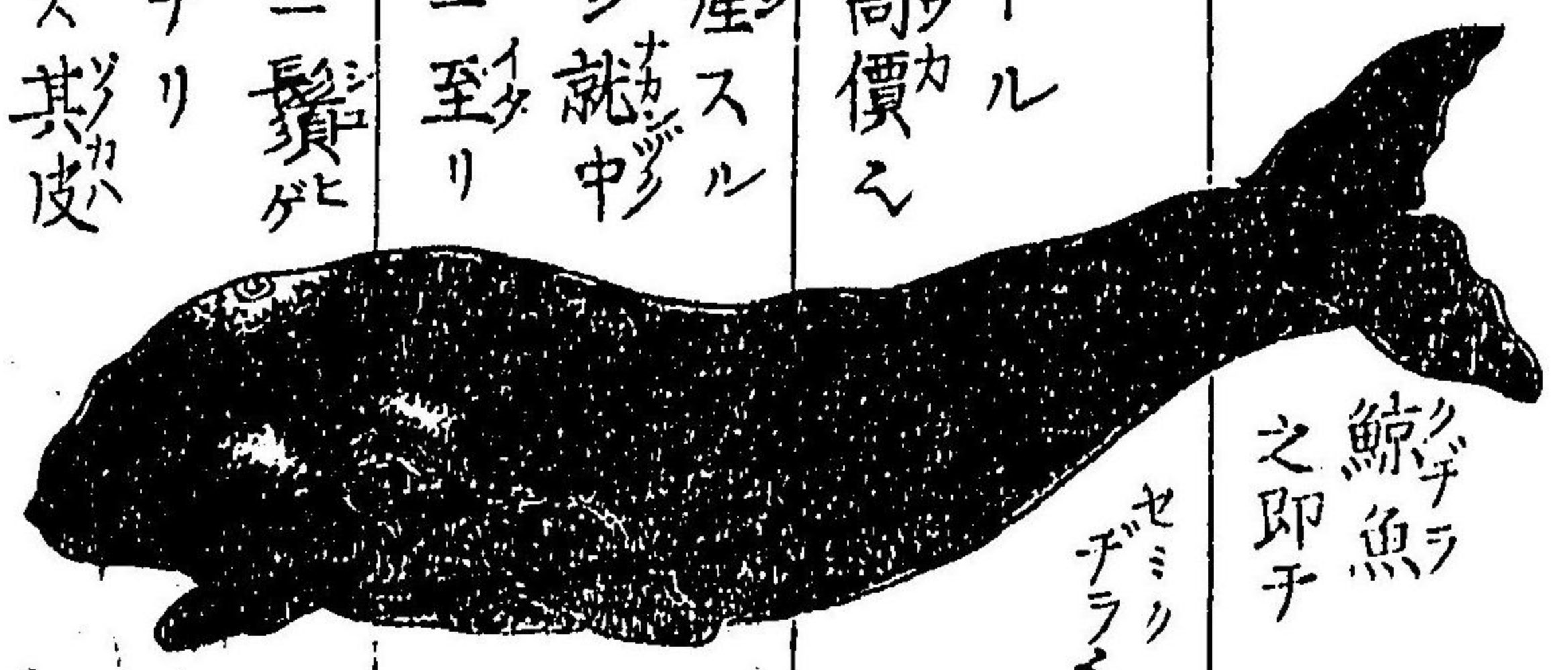
船ヲ沈没ス  
食フト云フ  
ト稱シテ

ルヲ窺ヒ其尸ヲ  
此角即チウニコール  
藥品ニ用テ頗ル高價

一角

クヂラハ大海中ニ産スル  
大獸ニシテ種類多シ就中  
セミ鯨ハ大キナルニ至リ

三十尋ニ及ブナリ總身黒ク口ノ中ニ鬚  
アリ世上ニ鯨細工ニ用ルモノハ此鬚ナリ  
其肉ハ塩ニ押シテ貯ヘ冬ノ頃食用ニス其皮



セミク  
チラ



類ル脂多ク之ハ夏ノ頃味噌汁ニ煮テ食フ鯨ハ至テ其児  
ヲ愛撫シ常ニ雌雄並行スルニ必ズ見ヲ聞ニナス若シ児  
ヲ捕ルハ時ハ其所ヲ去ラズ悲ンテ終ニ其身モ捕ラルハ  
ト云フナリ鯨ヲ漁スル土地ハ九州熊野浦肥前平戸或ハ  
五島等ナリ

### 第十 袋獸類

腹ノ外ニ袋状ノ皮又ハ襪積込メアル  
ヲ以テ此類ノ徴シトス全形ハ甚ダ齧

齒多類ニ  
近シ



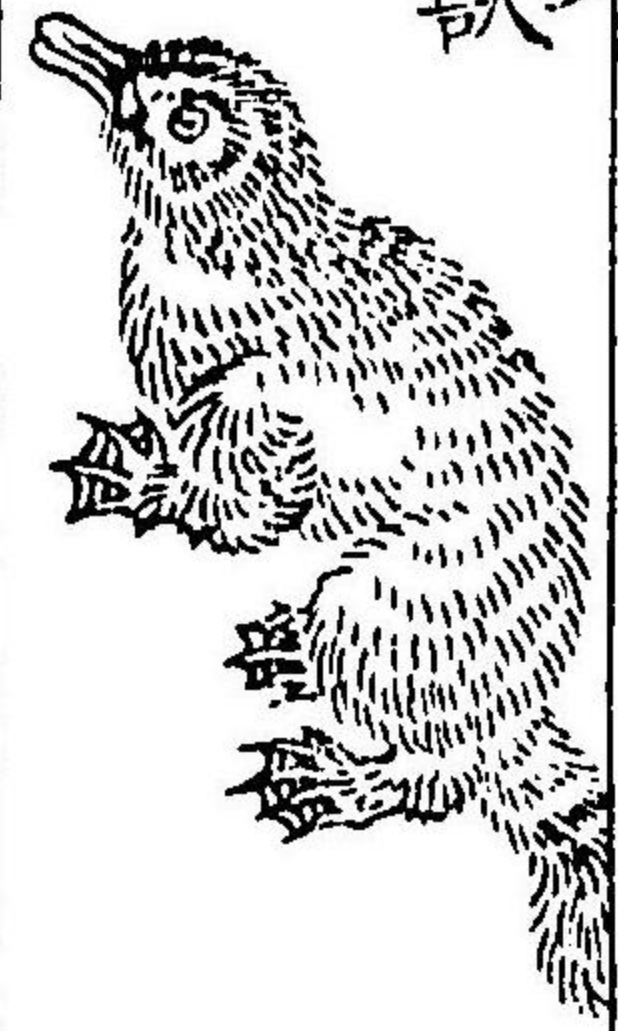
澳大利ノ産ニシテ  
狀ノ鼠ニ似テ大キ  
シ腹ノ外ニ又一層

ノ袋アリテ我が幼児ヲ此中ニ入テ  
乳哺チナスヲサナガラ人間ノ如シ又  
児ヲ袋ニ入レナガラ後足ニテ反飛ブナリ

### 第十一 鳥嘴類

其喙ノ形チ鳥嘴トシノ如ク異形カチル  
ナリ此類甚ダ少ナシ

鴨嘴獸



澳大利ノ産ノ奇獸メツクニシテ  
其喙恰モ鴨ノ嘴ノ如シ糞孔多  
唯一ツ有ルノミニシテ殆ド鳥

ノ如シ能ク水中ヲ游泳  
ナスモノナリ



# 動物第二

## 鳥類一覽

鳥類ハ有脊物アル動物ノ第二階ニ位キシ皆卵生ニシテ其血赤色ヲキ温暖シ全體カタク羽毛ヲ被ヒリニ翅多ク二胸アリニシテ堅硬キナル嘴アリ以テ食餌ヲ啄ムニ便ス指ハ其數四ヲ以テ常トスレハ或ハ三指又稀ニハ二指ノモノアリ下部ニハ糞孔アリ唯一箇トアルノミ多クハ氣中ヲニ飛翔スト雖ハ或ハ唯疾走

ハミスル者アリ或ハ水ニ游泳スル者アリ其餌ハ動物ノ食クフアリ植物ヲ食フアリ食ノ消化ハ獸ニ比テ速シナリト雖ハ鷲鳥類ハ能ク饑餓ニ堪

ヘラル者ナリ鳥類甚ダ多シ人之ヲ食用ニ供ジ或ハ之ヲ愛玩ス先哲

チカコクノ産ヲ論ゼズ其著明ナルモノ若干ヲ擧テ略説

下ニ圖スル大小ハ其區カニ麻内ニ隨意ニ充ツルモノニシテ之ヲ比例ナスルニ大ニ異ル者多シ看者モ之ヲ察

セヨ



第一目 食肉類 即鷲鳥類

顔面鋭利 爪鋭利 勇威アリテカ強ク嘴

生シハハルス他ノ動物又ハ屍肉ヲ食ス晝間アリテ夜間求ムルアリ

蒼鷹



此類數種アリ性猛烈ニシテ能ク人馴レ諸鳥ヲ捕シム故ニ之ヲ手ニ据ヘ山野ニ出テ遊獵ス之ヲ

鷹狩或ハ鷹野ト云フ諸鳥ハ皆雄大ナレ共唯鷹ハ雌大ナリ



人里近キ所ニ棲ミ常ニ空高

ク飛ビ舞フテ地上ニ魚物ナドノ落ち落リタルヲ攫ミ去テ食フ雨降ントナス前ニハ頻リニ啼ナリ

鷲ハ諸國ノ深山或ハ海邊等ニ棲ム大鳥ニシテ殊ニ北海道ニ多ク産ス其力最モ強ク兎猿等ヲ擷ミ

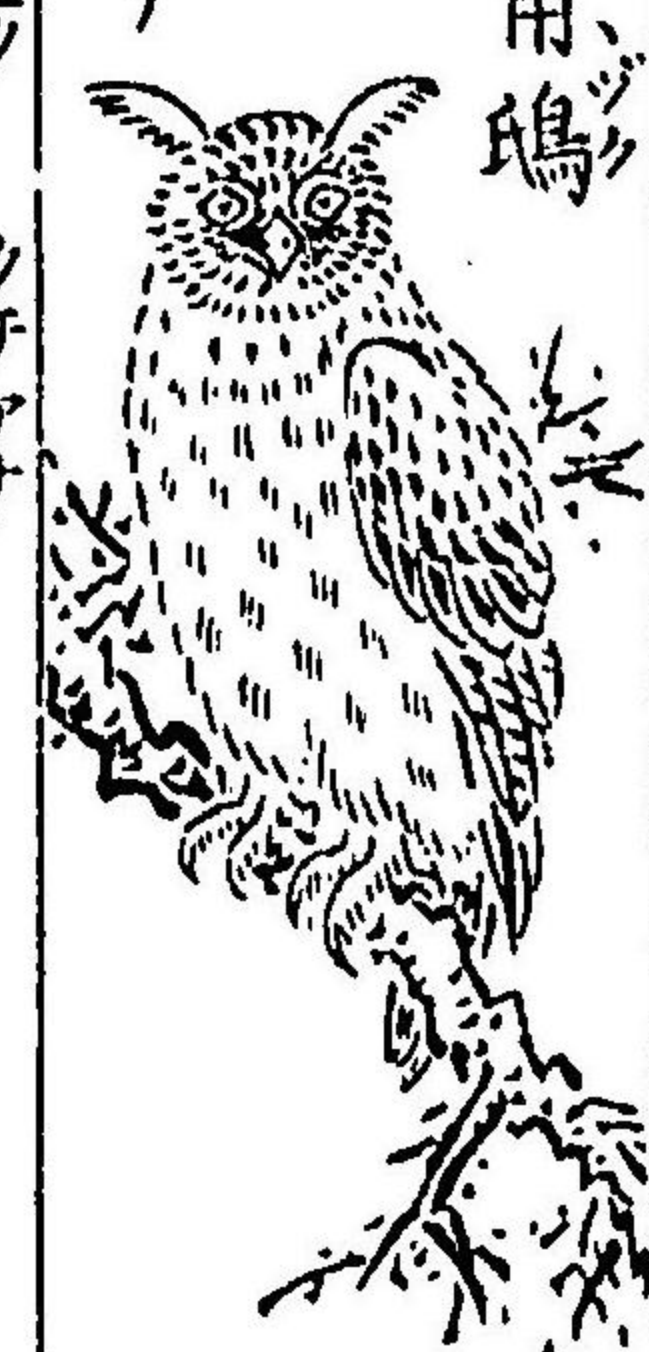
食フ毛色皆全黒ク年ヲ経テ白キ斑種々ニ變ズ眼嘴トモ青ク脛ニ毛アルナリ

鷲ハ常ニ海邊ニアリテ波ノ上ヲ飛廻リテ魚ヲ攫ミ捕リ食ヒ或ハ岩ノ間ニ魚ヲ貯ヘ置クヲ漁人之ヲ





窺ヒ竊ニ取リテ市ニ角鴟  
鵂鶩グ之ヲ鴉ノ類ト云  
フ人々之ヲ賞味ナスナリ



状テ鴉ノ如ク  
ニ似テ眼  
ハ子猫ノ如ク

ク毛角アリ晝間ハ樹木ノ朽穴  
又ハ枝間ニ眠リ夜間出テ捕食  
ス鳴声老人ノ者ヲ呼ガ如シ



鴉ノ頭大ニシテ圓ク眼大ナリ其性角鴟ニ能似タリ  
晝間ハ潛ミテ夜間出ル其声叫ガ如シ母鳥ヲ食フト云フ  
不孝ノ鳥ナリ

### 第二目 緣木類

脚ノ力強キヲ鸛鳥類ニ亞グ其指前後各  
二指ニシテ攀登又歩行ハ二便ス諸樹

ノ蠹蟲キクハ果實ヲ啄ム此類嘯ル機閑ナシト  
雖ドモ一種人語ヲナス類ナリ



外國諸州熱帶ノ地方ニ産ス形状ノ大  
數種アリテ毛色ハ緋綠淡紫或ハ鼠色種  
々アリテ頗ル美麗ナリ性ハ二馴レ易シ



此鳥鸚哥ノ産スル土地ト同ジ全身  
白毛ニシテ背黒シ能ク人馴レ人ノ  
詞ヲ真似ス世ニ鸚哥ノ人真似ト云

是等ノ鳥ハ暖國ニヨク  
生育シ寒地ニハ養ヒ  
ガタシ



杜鵑  
諸國ノ山地  
ニ棲ム初夏  
ノ頃ヨリ鳴



ソム夜陰或ハ五月雨ノ降ツバク  
頃多ク鳴ナリ巴ガ卵ヲ鶯ノ巢ノ  
中ニ産ヲ彼ガ温ルナリ之ヲ鶯



啄木鳥

ノ飼子ノ

啄木鳥ハ状チ小サキハ雀ノ如ク大ナル

杜鵑ト

ハ鶯ホドアリ脊黒ク腹淡赤シ背ニカア

云フナリ

リテ樹ヲツバキテ蟲ヲ食フ

或ハテラツバ

日光山ニ棲ム鳥ナ

キト云フ

村里ニ出ルナ

ナリ

慈悲心鳥

シ其声ジヒシント

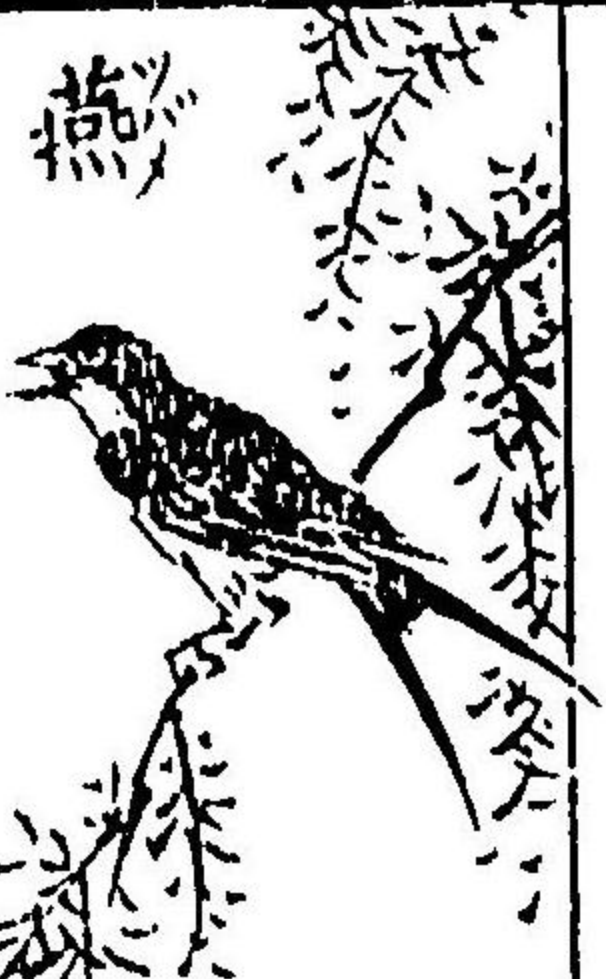
喚ガ如シ故ニ  
此名アリ

### 第三目 唱類

隨地ニ産シ其種類ノ多キ  
他ノ六科ヲ過グ性多ク

ハ群飛ヲ好ム又巢ヲ營ムト最モ巧ナル者多シ又時アツ  
テ來リ時アツテ去ル者アリ穀果ヲ食フ小蟲ムシ等或ハ動物

イキ屍肉ルシク等ヲ食フ此類形チ小ニシテ聲音ナク清朗ナリ  
者多シ



春ノ社日ニ來リ人家ノ軒或ハ梁ニ泥  
ヲ含ミ來テ巢ヲ營ミ雛ヲ育テ秋ノ  
社日ニ歸ル年々此ノ如シ

蚊母鳥



白晝ハ潛ミ薄暮ヨリ出テ  
食ヲ求ム其食スルモノハ小  
蟲ヲ食フ



鶺鴒



鶺鴒ハ状チ雀ヨリ大キク其尾  
長ク能ク揺ス故ニ石タノキト  
云フ水邊ニ歩ミテ小蟲ヲ食フ

鶺鴒ハ雀ヨリ大キク其尾  
キバシリ  
形チ雀ヨ  
リ稍小サ

シ樹幹ニ自由ニ  
攀登ルシ小蟲ヲ  
食フナリ



往年ヨリ屢舶来シテ人  
籠ニ飼フ鳥ニシテ全体  
黄色ニテ嘴ト足淡赤シ

其囀ル声清亮ホガラカ  
ニシテ機ヲ織ルガ  
如シ



毎年秋ノ頃多ク群ヲ  
ナシテ渡ル其中ニク  
ロツグミト称ズルハ

音ヲナス  
ト云ヘリ



山林ニ棲ヲ營ミ冬ヨリ人  
里ニ出テ樹木ノ小蟲ヲ啄  
ム立春ヨリ声麗ハシク轉

ヅル人ノヲ愛シテ籠ニ  
養ヒテ弄ブナリ

駒鳥



深山ニ産ス性寒  
ヲ能耐ル其轉ル  
声馬ノ嘶ノガ如

シ故ニ此名ヅク人籠  
ニ飼ヒテ其声ヲ愛



小鳥ニシテ毛色  
淡青ク頭ニ黄ノ  
毛アリ晴天ノ暖

氣ナル時二頂ノ毛ヲ立ツレバ菊  
戴クガ如シ秋ノ末諸鳥ト共ニ渡リ  
来ル好シデ杉ノ實ヲ食フ



鶺鴒

鶺鴒ハ至ツテ小サキ鳥ニシテ毛色  
赤黒ク黒キ斑アリ冬ノ頃来リ春ニ  
至リ美声ヲ發シテ轉ルナリ



伯勞



伯勞ハ鴨ヨリ小サク秋ニ至リ声キイト啼ク俗ニ鷹ノ種  
類ト云ヘリ小鳥ヲ捕テ食フ又此鳥蚯蚓或ハ蛙ヲ草木ノ  
枝ニ串貫キ置之ヲ早熱トモ艸莖トモ云フナリ

鷓鴣



大サ雀ノ如シ頭黒ク白キ  
斑アリテ霜フリノ如シ  
秋ノ末渡リ来ル其声美シ



黄鷓ハ通例ノヒタキト状チ白頰鳥  
異ルヲナシ唯胸ノアタリニ  
黄色ノ毛アル故ニ此名ヅク  
秋ノ末ニ  
群ヲナシ  
テ渡リ来

ル雀ヨリ小サク頭黒ク頰圓ク  
白シ背青ク腹白シ籠ニ飼ヒ  
テ人之ヲ愛スルナリ  
鶺鴒  
状チ白頰鳥  
ヨリ小サク  
毛色美シ此



鳥モ籠ニ養ヒ  
テ人ノ愛ス  
ルナリ  
山雀  
深山ニ産シ雀ホドノ大  
サニシテ立秋ノ頃ヨリ  
群飛シテ人里ニ来ル籠



二養ヒテ能人馴レ輪ヲクマリ或ハ  
籠ヨリ外ニ出シ枝藝ヲ為サシムニ  
告天子  
告天子ハ雀ヨリ少シ大ニシテ毛ハ褐色ニ  
黒キ斑アリ中春ヨリ空中ニ登リテ轉ル其  
声清音ナル故人亦之ヲ籠ニ養ヒテ弄玩ス



原野ニ棲ミテ巢ヲ麥ノ畑中ニ  
營ム春ノ中ヨリ轉ル故之ヲ籠ニ  
飼テ其声ヲ愛玩スルナリ  
蒿雀  
大サホ  
如ク秋

告天子ハ雀ヨリ少シ大ニシテ毛ハ褐色ニ  
黒キ斑アリ中春ヨリ空中ニ登リテ轉ル其  
声清音ナル故人亦之ヲ籠ニ養ヒテ弄玩ス  
原野ニ棲ミテ巢ヲ麥ノ畑中ニ  
營ム春ノ中ヨリ轉ル故之ヲ籠ニ  
飼テ其声ヲ愛玩スルナリ  
蒿雀  
大サホ  
如ク秋





ノ頃ヨリ多ク群飛シ來ルナリ  
其轉ル声ホジロニ似タリ故ニ  
人亦之ヲ籠ニ養フテ玩ソブ



交喙

イスカハ杖チ雀ヨリ少シ大キシ褐イスカ青イスカノニ  
種アリ共ニ秋ノ末ニ渡リ來ル其喙上下互ニ翹翹スル  
ニ因リ上世ヨリ總テ物ノ往違フテ符合セザルヲ諺ニイ



雀ニ似テ其形チ稍長ク  
毛色黄ニシテ脊ハ少シ淡褐色ナリ臭氣

有テ愛スベキ鳥ニアラス



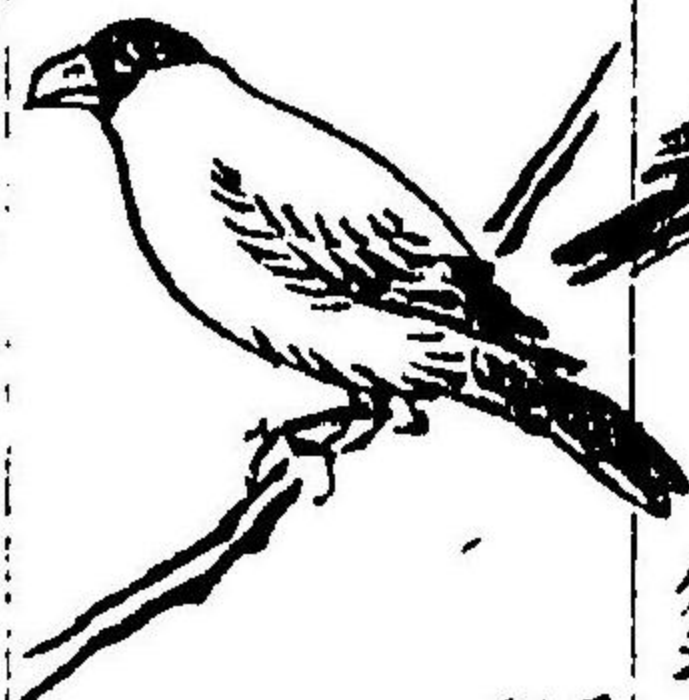
人家ノ軒下ナドニ巢ヲ營リ飛トキハ數十羽群ヒヲナス好ンテ穀類ヲ啄ムナリ

鳥嘴



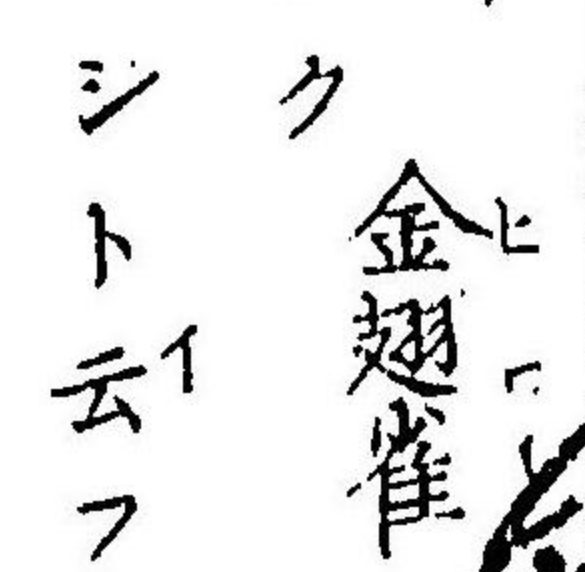
冬ノ頃渡リ來ル其喙大ニシテカアリ狀粗乘屬ニ似テ少シ小ナリ羽毛ハ美クシナラス或ハ鉄嘴ト云フナリ

桑屬



冬ノ月渡リ來ル原ク嘴黄ニシテ全身鼠色ニテ甚々奇麗ナリ籠ニ養ヒテ米ヲ餌トス其啼声月星ト云フガ

如シ豆粒ヲ與フレバ嘴ノ中ニテ廻轉ゴリスナスヲ稍久シクシテ皮ヲ去食フ故ニ豆マハシト云フ



カハラヒワ

ヒワハ全体黄色ニシテ頭脊少シ黒シ彼漆色ナドニヒワ茶ト云フハ此鳥ノ毛色ナリ其声清滑ニシテヨク囀ルヒユン、チユント云フガ如シ其種類ハ河原ヒワ唐ヒワ



紅ヒワ 蓼ヒワ 等アリ  
何レモ 秋ノ頃 多ク  
来ルナリ

拙老婆



冬ノ頃 来ル状  
チ 来 鷹 赤トア  
リ 頭 黒ク 全体

灰色ニシテ 頬ハ 淡赤シ 啼声 琴ヲ 弾ガ 如シ  
筑前 太宰府ノ 天満宮ニ 例年 鶯 替ノ 祭祀ヲ 執行ス 即チ 此

因ニ云フ

鳥ノ形テ 水ニテ 刺ミ 黍 諸ノ 人々 袖ノ 中ニテ 之ヲ 替ル

其中 社司ヨリ 出ル 金色ノ 鳥ヲ 得ル

ヲ 吉例トナスヲ 習俗トス 其夜

ハ 諸人 群衆シテ 大ニ 賑ハシ、 花雞



アトリハ 深山ニ 産シ 秋ノ 大丹 来 鷹

末多ク 群レ 飛ンデ

十二紅

来ル鳥ナリ



頂キニ冠

毛アリ 頭ヨリ 脊 淡茶色 腹 白シ 冬 春ノ 際ニ 魚狗  
夥シク 群 飛シ 来ルナリ 翅ノ 末ニ 紅キ 點アル  
ヲ ヒレンジヤク ト云ヒ 黄色 交ルヲ キレンジヤ



ク ト云フ 魚狗ハ 状チ 雀ヨリ 少シ 入キシ 頭ヨリ 脊 碧緑

ナリ 色ニテ 光リアリ 嘴ハ 太ク 勝レテ 長ク 黒丹色

ナリ 足ハ 小サク 短カシ 常ニ 水邊ノ 静ナル 所

ヲ 徘徊シテ 魚ノ 水中ニ 泳グヲ 窺ヒ 捕リテ 食フナリ

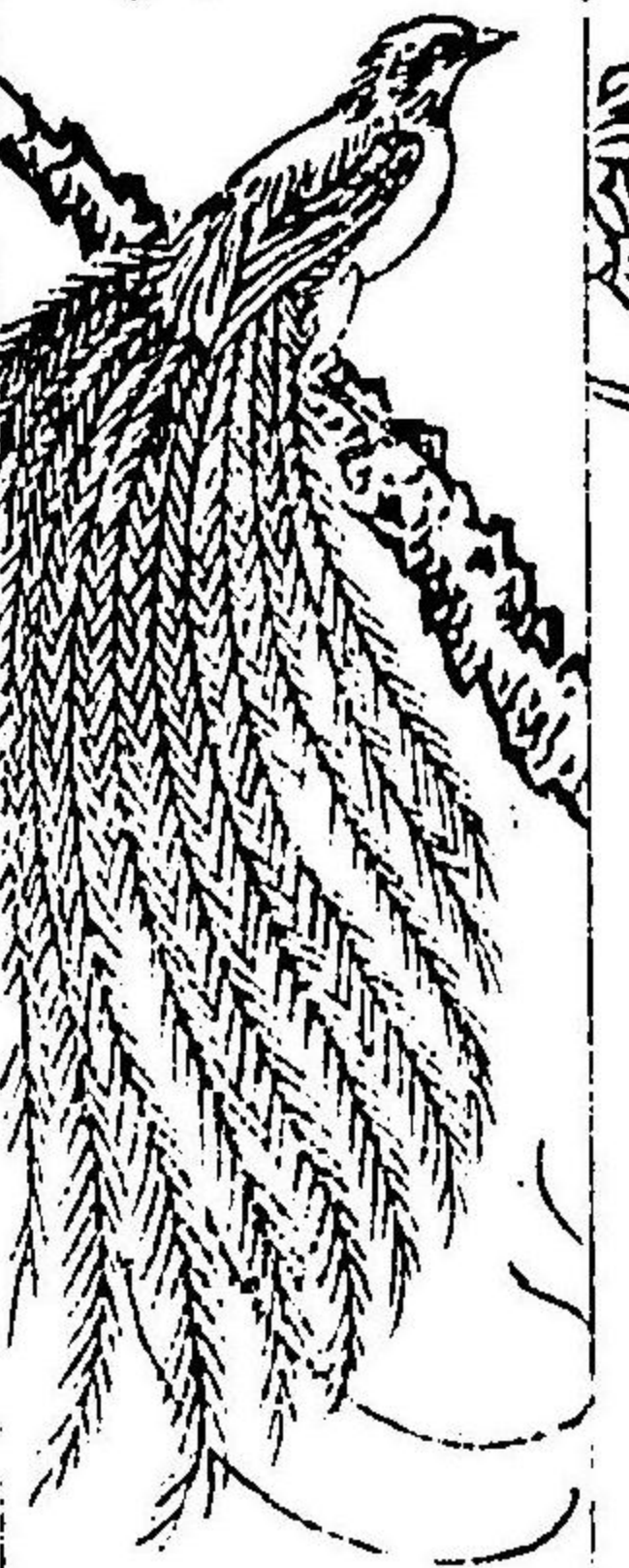
白頭翁



状チ 鳩ヨリ 小サク 眼ノ 周圍 白ク 頭

ヨリ 胸 黒 脊 灰色 腹 白シ  
村里 原野ニ 多シ 好シ

テ 掠ノ 木ニ 棲ムナリ 霧鳥



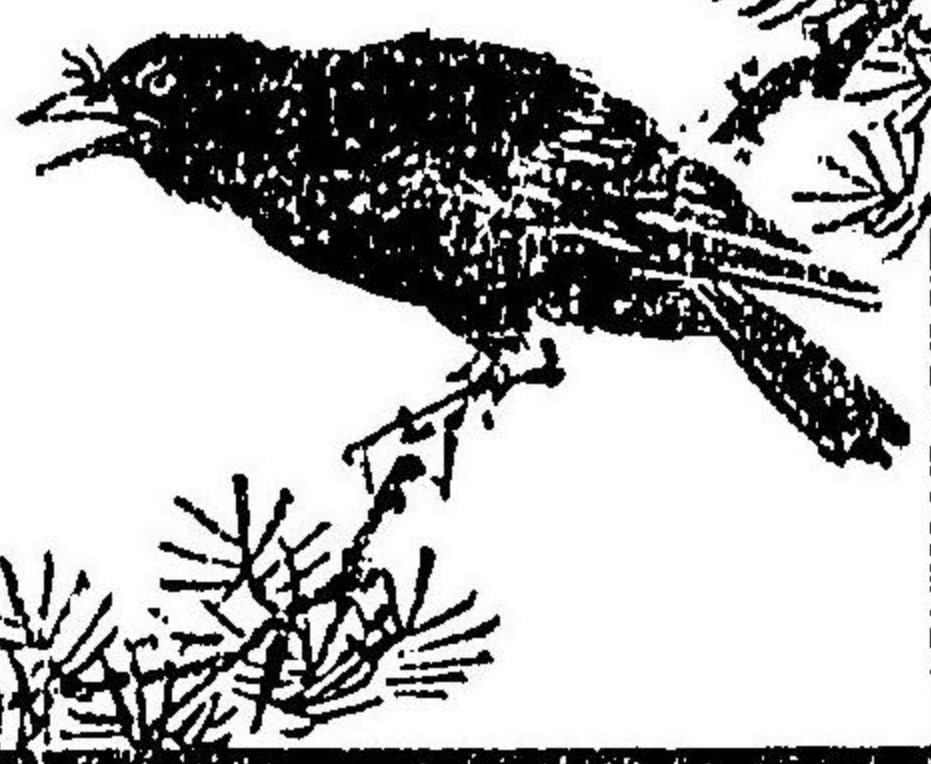


フウテウハ状チ雀ヨリ小サク尾ハ  
至テ長ク簀ヲ着ル如ク綠色ニシテ光有  
テ美麗ナリ東印度諸國殊ニ馬路古島

慈鳥

ニ多シ我國ニ未ダ生タルハ  
渡ラズ近年死タルヲ博覽  
會ニ出スヲ見ルナリ

慈鳥ハ人里近キ所ニ



棲ミ毎朝清且ヨリ群飛ナシテ啼ツレ終日海邊ニ求食リ  
黃暮ニ打連テ峙ニ飯ル此鳥生レテ母ガ哺心一六十日即  
チ巢ダチシテ子ノ母ニ哺ル一又六十日ナリ之ヲ反哺ノ

鶉



鶉似テ少シ小サ  
ク翅ニ白キ羽一  
並アリ尾ハ長シ

筑ノ前後兩國ニ産ス故ニ俗ニ  
チクゴガラストモ云フ其  
声鶉ニ似テ低シ



カケス 又 鶉

カケスハ或ハカシドリト云フ状チ鳩ヨリ小サシ其全体  
淡褐黒色頭白ニ黒キ斑アリ翅ニ青ク黒ノ斑アリ尾黒シ  
秋ノ末ニ群リ來ル籠ニ養ヒテ諸鳥ノ声ヲ真似ヲスルニ

第四目 鷄類

四指又稀ニ三指ノモノアリ其頭ニ  
赤冠ヲ戴クモノアリテ多クハ毛羽

ハ子ノ文采イロキ美麗ナリ翅短ク速ク飛翔スル能ハズ  
多クハ距メツアリテ性ツキ闘ヲ好ム又距ナキ者アリ穀果ク



多小蟲及植物食之能ク地ヲ堀リテ身ヲ埋ム此類食用ニ供ズベク又卵ヲ生ム多ク最人用ヲナス

松鷄



状チ鳩ノ大サホトアリテ太ク肥タリ全体白ク淡黄ヲ帯ビ黒キ斑アリ加賀ノ白山信濃水曾ノ御嶽其他寒

國ノ高山ニ棲ンデ村里ニ出ルヲナシモシ此鳥人家ノ棟ニ止マル時ハ必ズ雷落ルト云ヒテ大ニ怖ルナリ

鶉



鶉ハ原野ノ草深キ所ニ棲ミ夜ハ群リ飛ビ晝ハ草ニ伏シ窟ル其性ツツニシテ横草ヲユヘズ常ニ居ル所ヲ定メズ其啼声チハコト云フガ如シ人之ヲ愛シテ籠ニ養フ

孔雀ハ西洋爪哇ニ産ス近年屢舶來ナス所ニシテ頭二三毛ヲ



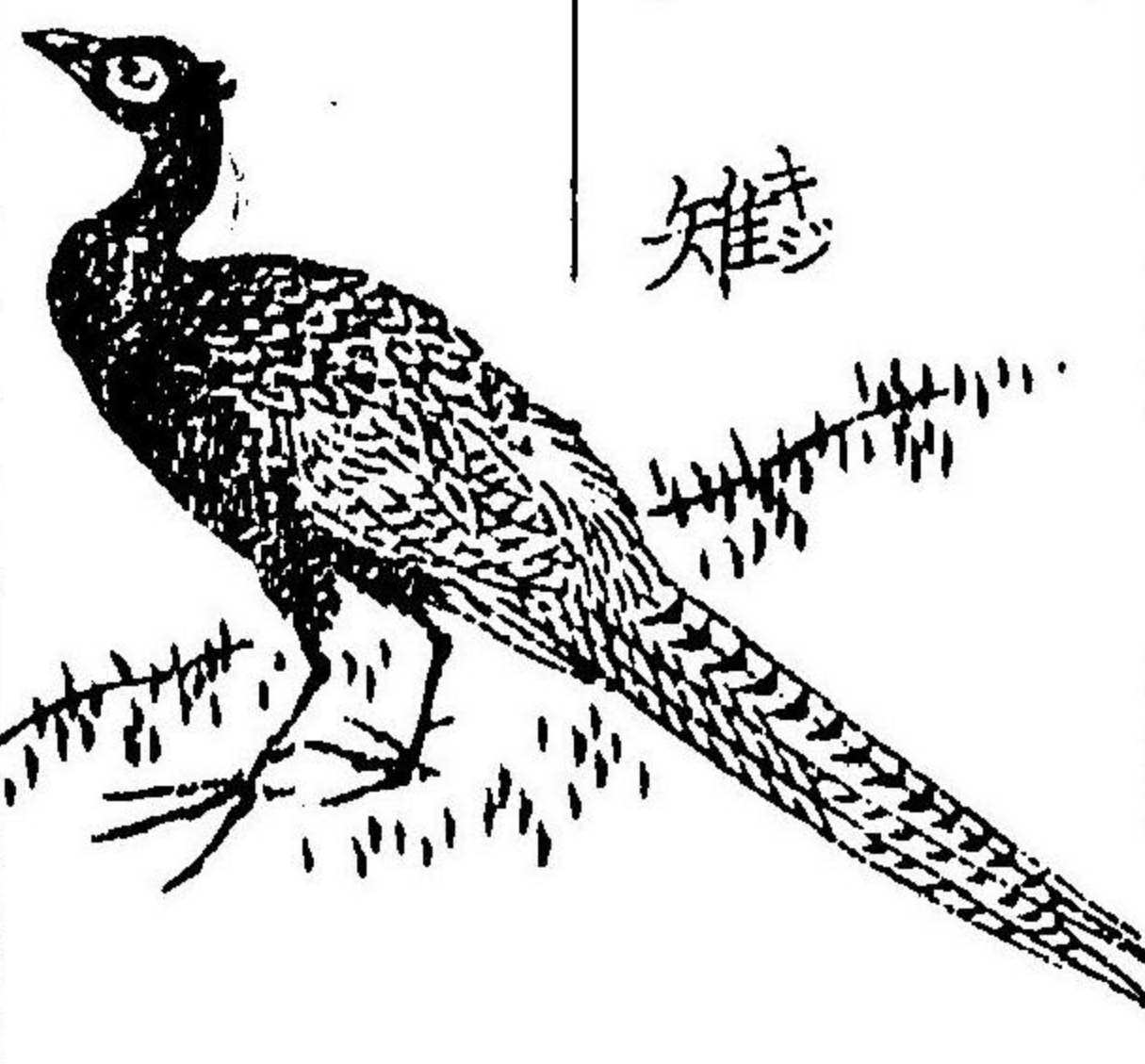
孔雀

イタゞキ綠色或ハ紺青ニテ雄ノ尾ハ悉ク珠ヲ具フ何レモ金

色ヲ帯ビ日ニ映ジテ光リアリ其毛羽ノ美麗ナルト他ノ鳥ニ比スベキナシ日々午時ニ至レバ尾ヲ攤テ舞フナリ

雉

雉ハ山林原野ニ棲ミ雄ハ羽色美麗ナリ尾ハ長シ雌ハ褐色ニシテ斑アリ至テ子ヲ愛シム者ナリ諺ニ焼野





雉子ト云フ地ノ震フ前ニハ必ス啼ト云フナリ



鶴雉ハ雉ニ似テ少シ小ク尾

ハ頗ル長ク凡ソ其二三倍ス羽色黄茶色ニシテ斑アリテ甚ダ美麗ナリ

鷄ハ其種類多シ何レモ人家ニ畜ヒテ能ク人馴レ卵ヲ産雛ヲ育テルニ能成長スルナリ



鳩ハ其羽色種々ニシテ定リガタシ人家ニ養ヒテ能ク人馴レ或ハ堂塔ニ多ク聚リテ棲ム鳥ナリ

第五目 走類



脚長クシテカアリ二指又三指ノモノアリ翼サニ翅羽ナク飛翔スル

能ハズ唯疾走シスルノ三植物タルハクヲ食フ此類甚少シ而シテ鳥類中最大オオシナル者ナリ

駝鳥ハ亞非利加州ニ産ス其毛羽甚ダ珍貴シ一羽數百金ニ値ルベシ其棲ム所ゴトニ群ヲ成シ一ノ雄ニ三四ツノ雌アリ皆窠ヲ同フシテ數十ノ蛋ヲ産ム毳一四十日ニシ



テ雛生ル一蛋ノ重サ約ソ七  
十餘兩其殼至テ硬シ故ニ  
之ニテ孟ヲ製ルベシ土人此

鳥ヲ獵スニ駝馬ニ騎テ之ヲ馳射  
ル或ハ其毛殼ヲ服テ近ヅキ之ヲ  
捕フ鳥ノ全体ノ高サ七八尺頸又

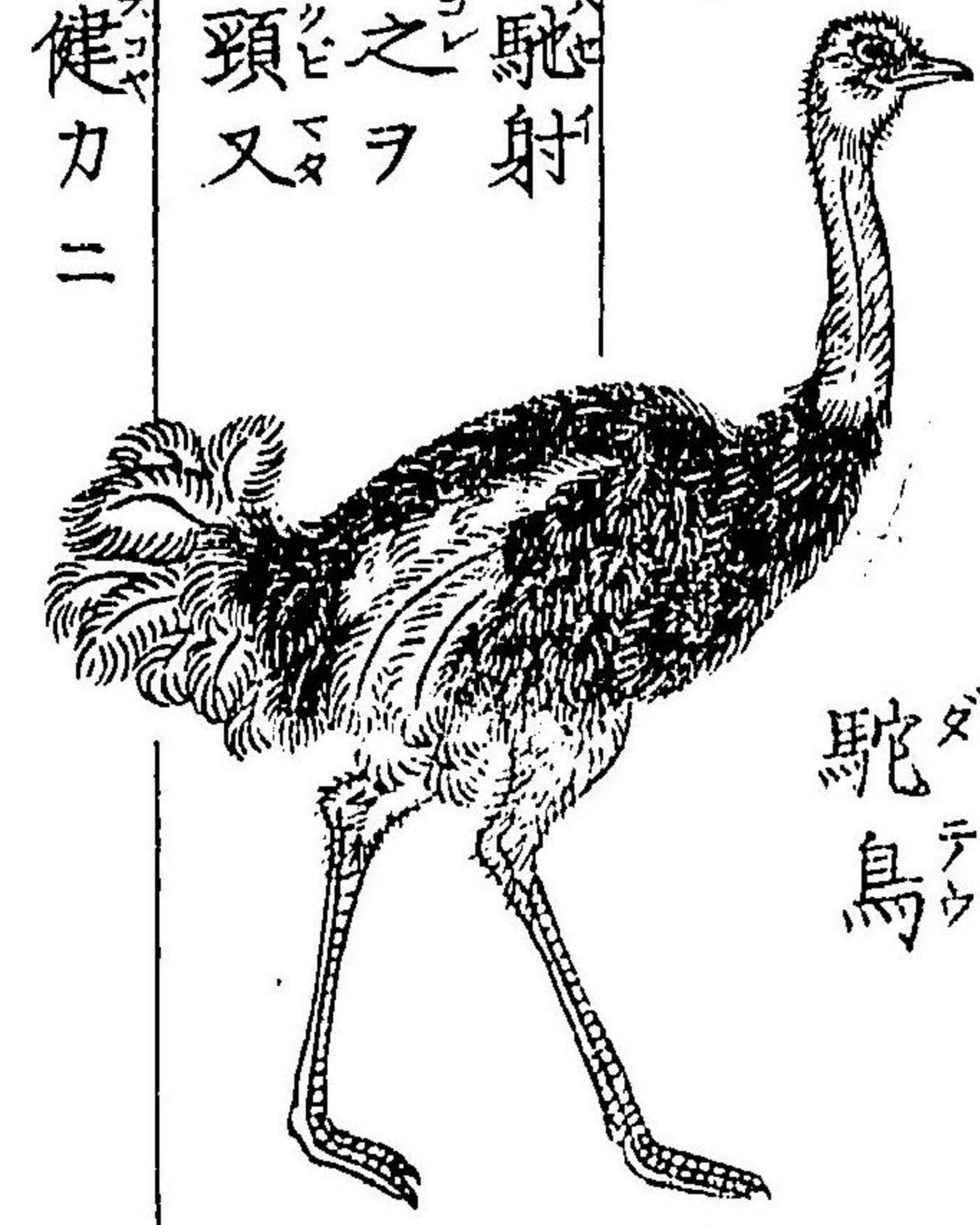
腿共ニ長シ脚ニ二ノ趾アリ健力ニ  
歩ミ疾走リテ馬モ及ビ  
ガタシ養フテ馴シ

メ騾馬ニ代テ  
之ヲ役フ  
ナリ



食火鷄

ヒクヒ鳥ハ瓜哇  
亞波羅澳大利等  
ノ地ニ産ス足ニ



駝鳥

三ツノ趾アリ駝鳥ニ比レバ略小サ身ノ高サ五六尺一  
窠ニ七八ノ蛋アリ其行キ走リ食物等駝鳥ト異ルナシ  
頂ニ朱冠アリ鷄ノ如シ色淡赤シ此鳥食火鷄ト称ズレ凡  
實ニ火ヲ食ニア  
第六目 涉類  
脚ハ身ヨリモ長ク稀ニハ  
蹠ヲ具フスルモノアリ頸

及ビ嘴ノ長キモノ多シ常ニ池沼河邊ニ在リテ小蟲ヲ食  
小魚ヲ食ハチウハチウ及ビ穀類等ヲ食ヒ飛翔スルヲ迅速シ



鶴

鶴ハ其種ル中多シ今茲ニ  
スルハ鶴鶴ナリ頭ヨリ頸白  
ク脊ハ淡青ク少シ灰色ヲ帶



ビ腰黒ク背ト腿淡褐色目ノ  
周田淡紅ク尾ハ白シ常ニ  
水邊ニ求食喬木ニ窠ヲ營

ミ雛ヲ育ツナリ夜ルハ眠  
ラズシテ能子ヲ護ルト他  
ノ鳥ニ勝レリ諺ニ之ヲ夜ル

ノ鶴ト云フ  
ナリ



路サギ

ドノ水邊ニアリテ  
魚蝦ヲ捕テ食フ  
種類多シ

ゴイサギ  
鳩鵲



ニ似テ毛羽ハ  
灰茶色ニシテ



テ小魚ヲ捕食フ

總身白毛ニシテ頭細  
長ク小鷺ハ頂ニ細長  
キ毛アリ常ニ池沼ナ

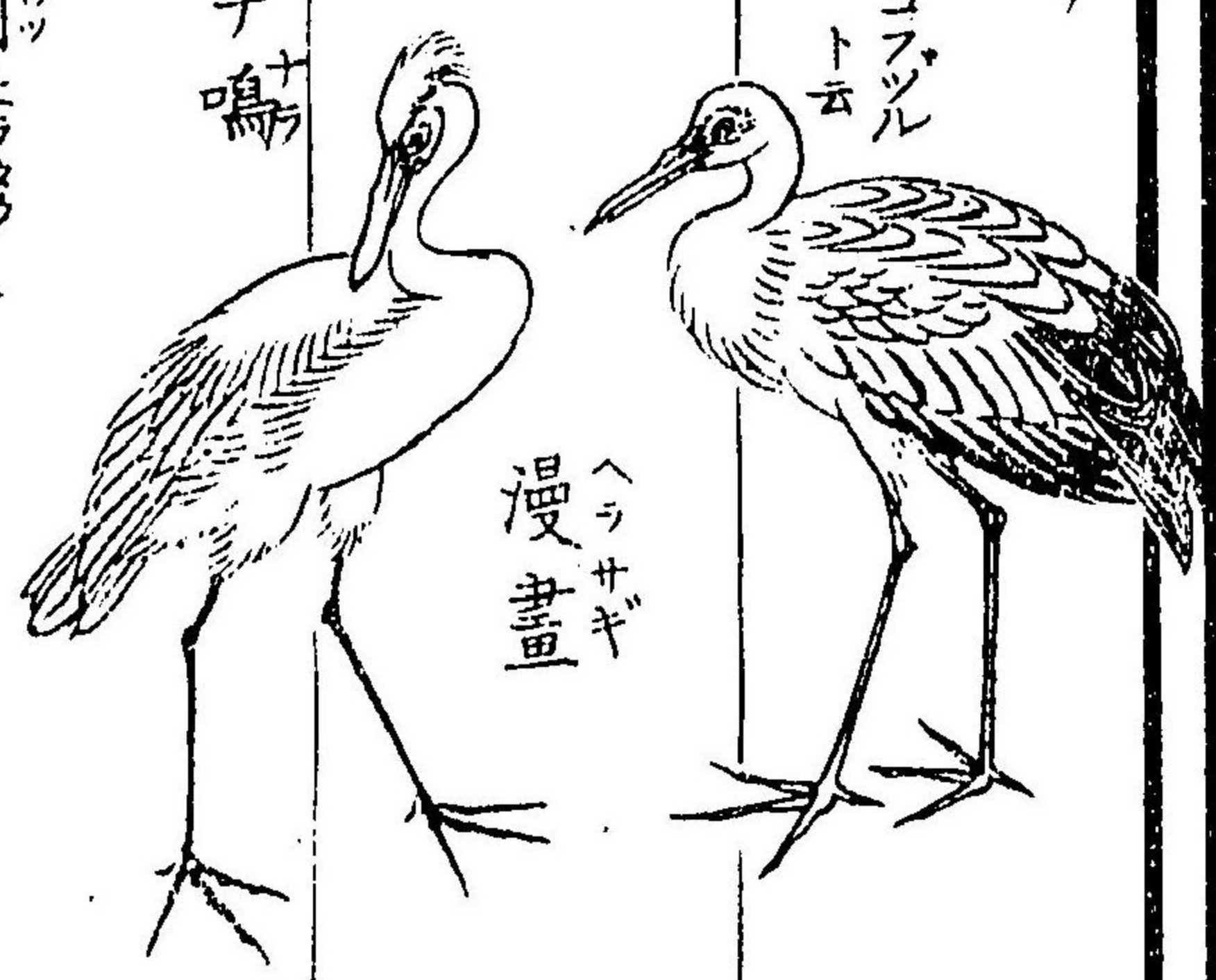
状テ鶴ニ  
似テ淡黒  
シ頭ニ毛

腿短カシ夜中ニ飛翔シ  
水邊ニアリテ魚蝦ヲ窺  
ヒテ捕食フナリ

コサトリ  
俗ニコサ  
トルト云

鶴ハ状チ鶴ニ似テ頭ヨリ全身  
灰白色ニシテ翼黒シ堂社ニ  
屋上ウケ或ハ喬木ノ枝ニ棲ヲ營

ミ好デ爬蟲ヲ食フ能ク嘴ヲ打チ鳴  
シテ声ヲナス真ノ音声ハナシ  
ヘラサギ其性鷺ト同ジ其嘴扁闊ヒラ多ニ



ヘラサギ  
漫畫

シテ匙ノ形ノ如シ  
故ニ此名アリ  
其嘴黄色ナリ

チドリ  
鴉



海邊川辺等ノ水邊ニ  
アリテ群ヲナシ友ヲ  
喚テ鳴ク殊ニ冬ノ頃



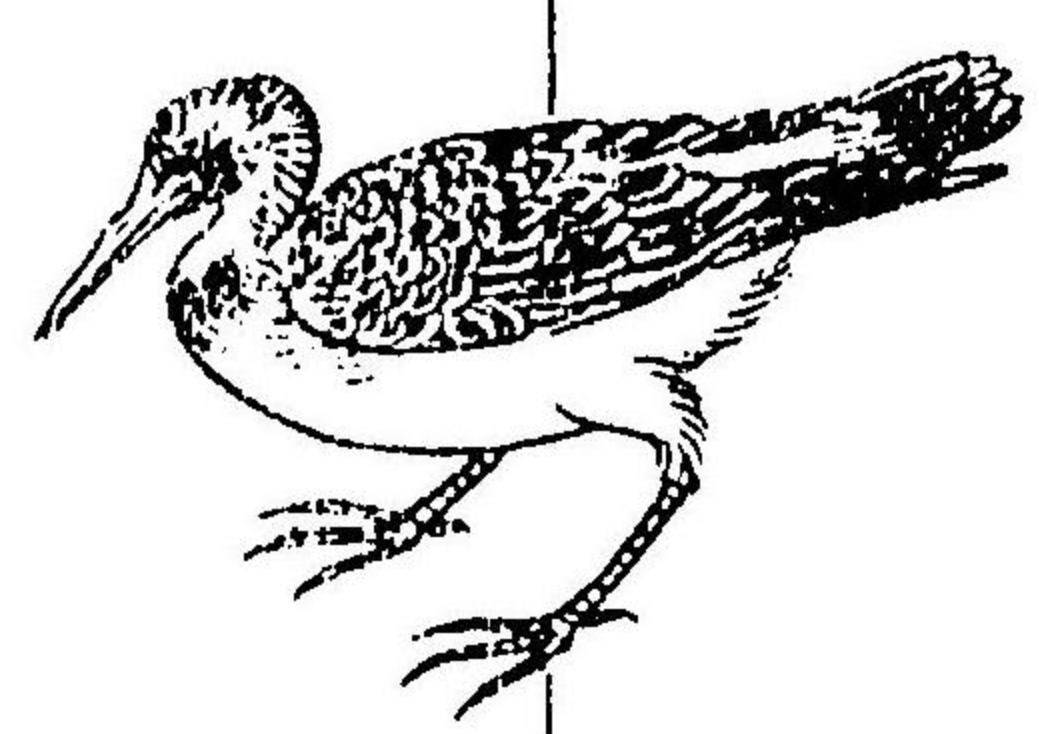
多シ海辺ニテハ汐ノ満ルトキハ  
近ク倚リ汐ノ下ル時ハ速ガカリ  
テ波ニ添フテ啼クモノナリ

ミヤコ鳥ハ鷗ヲ赫スレ共非ナリ此鳥ハ  
涉水鳥ニシテ鷗ノ種類ニアラズ  
鷗ハ其種類多シ四十八品余アリト云ヘ

鷗

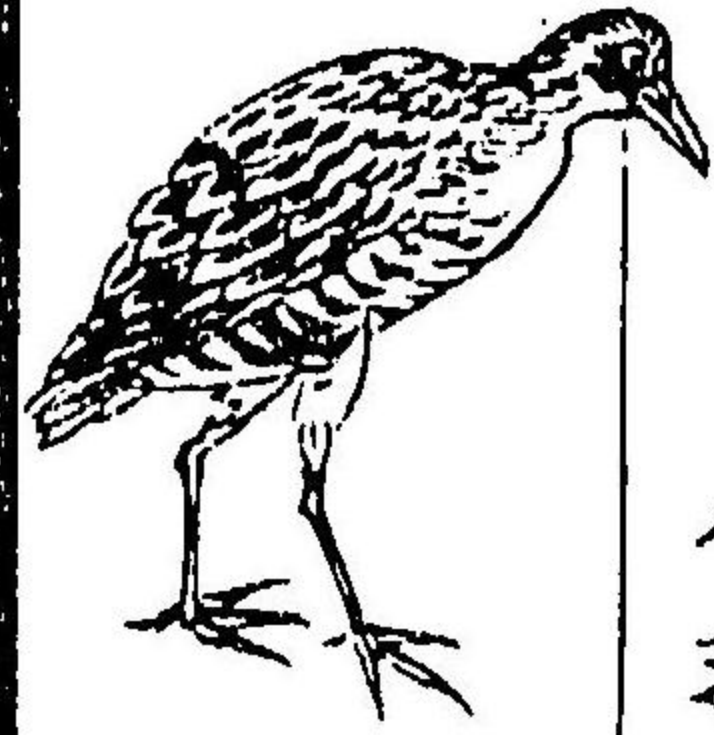


田野ノ間ニ棲ミ夜フケテ屢羽ヲ搯  
鳴ス之ヲシギノ百羽ガキト云フ或  
ハ羽ナガキ云フ閑寂静ナル所ニ



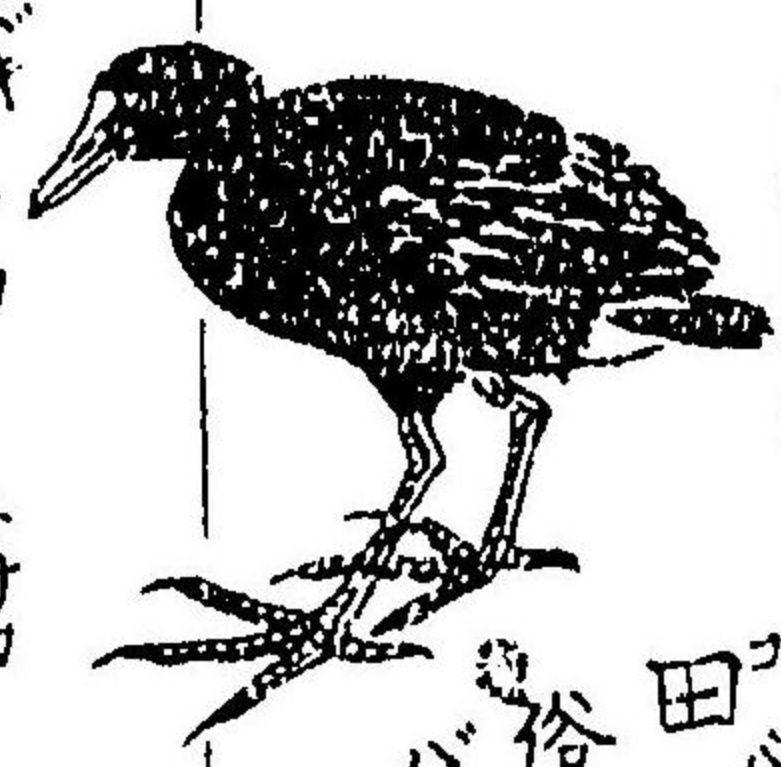
ナリ  
并ルモノ

秧鷄



其種類多シ池沼澤辺等ノ水  
邊ニ棲ミ四五月頃夜ル鳴ク  
其声コトト人ノ戸ヲ叩ク

如クニ聞ユルナリ  
故ニ秧鷄ノ歌ク寝ノ  
戸ナド、哥ニ詠ムナリ



田鷄  
俗ニ  
水邊ニ棲ミ魚  
蝦ヲ捕テ食フ  
大小ノ二種ア

リ全身黒キ羽ニシテ尻  
ノアタリ白羽アリ雄ハ頂ニ朱キ冠アリ  
嘴足綠色ナリ雌ハ冠ナシ状チ大キナルハ冠白シ

第七目 游類

頸ハ脚ヨリ長ク嘴扁ク或ハ尖リ或ハ  
扁狭ヒラ多ナリ身ニ絨毛ナルハ子アリテ脚

短ク多クハ後部ニアリ蹠アリテ自在ニ水ニ游泳ス  
ス此類中秋來リ春去ルモノアリテ食用スベキモノナリ





池沼等ニ棲ミ游泳スルヲ甚ダ  
巧ナリ其巢ハ水上ニ於テ枯枝  
木葉ヲ以テ營ル之ヲ鳥ノ浮巢

ト云ヒテ波ニ順ヒ  
テ漂ヒ所ヲサダ  
メズ

鳩ハ興州外ケ濱或ハ  
北海道ニモ棲ム此鳥  
海辺ノ砂ノ中ニ子ヲ埋ミ親ハ餌ヲ



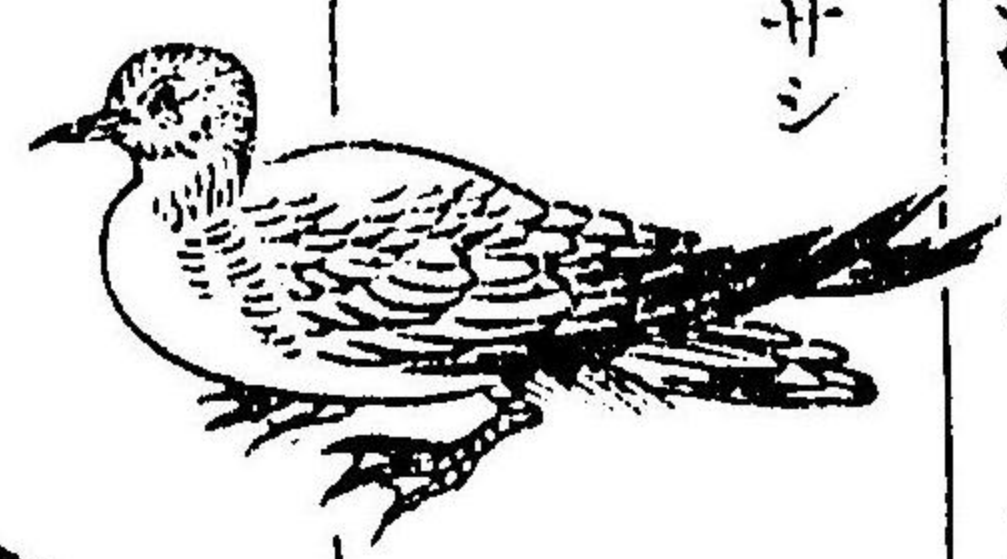
求メテ來レド我子ヲ埋シ所ヲ忘レ空ヲ飛翔シテ鳴ク其  
聲ヲ聞テ子ガ砂ノ中ニテ鳴故其所ヲ知ルト云ヘリ獵人  
笛ヲ吹テ親鳥ノ声ヲナス子ハ實ノ親ト思ヒ鳴ヲ捕ルナ  
リ親鳥其後へ來リ頻リニ啼ケド我  
子ノアラザレバ血ノ涙ヲ流シテ歎  
ク其哀レナル形勢ヲ多ク古歌ニ詠ズ



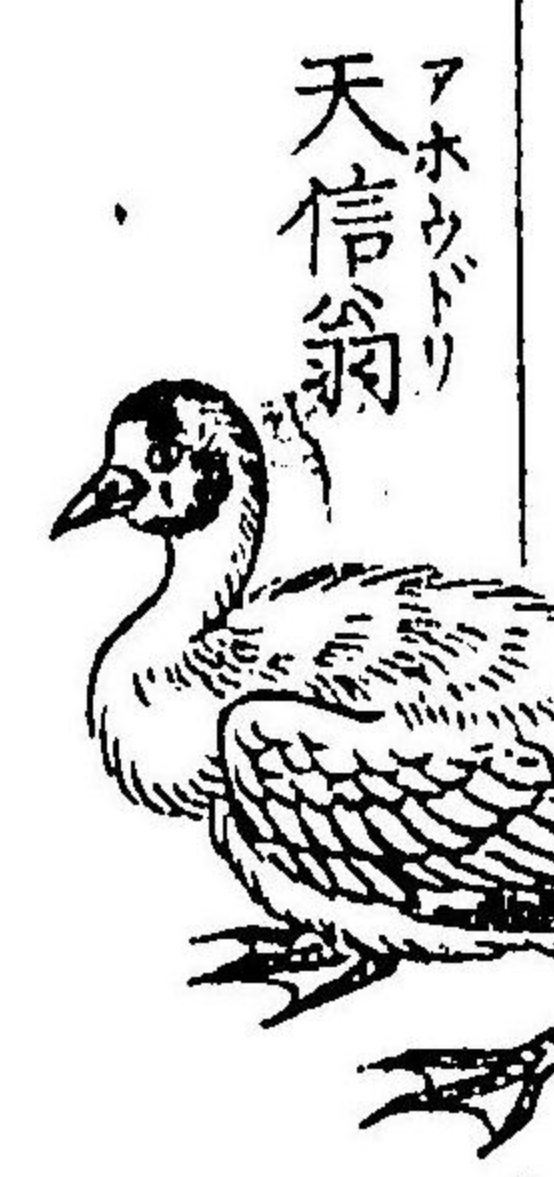
鷓鴣ハ全身黒羽目ノ周邊皆足トモニ黄色ナリ  
水中ヲ游泳シ水ヲ潜リテ魚ヲ捕テ巧ナリ故  
ニ漁人之ヲ馴養ヒ繩ニテ繫ギ年魚ヲ捉シム



大サ鷓鴣ホドニシテ狀干燕ニ  
似タリ洋海ニ飛翔スルニ  
魚ヲ捕食フテ陸地ニ來ラズ



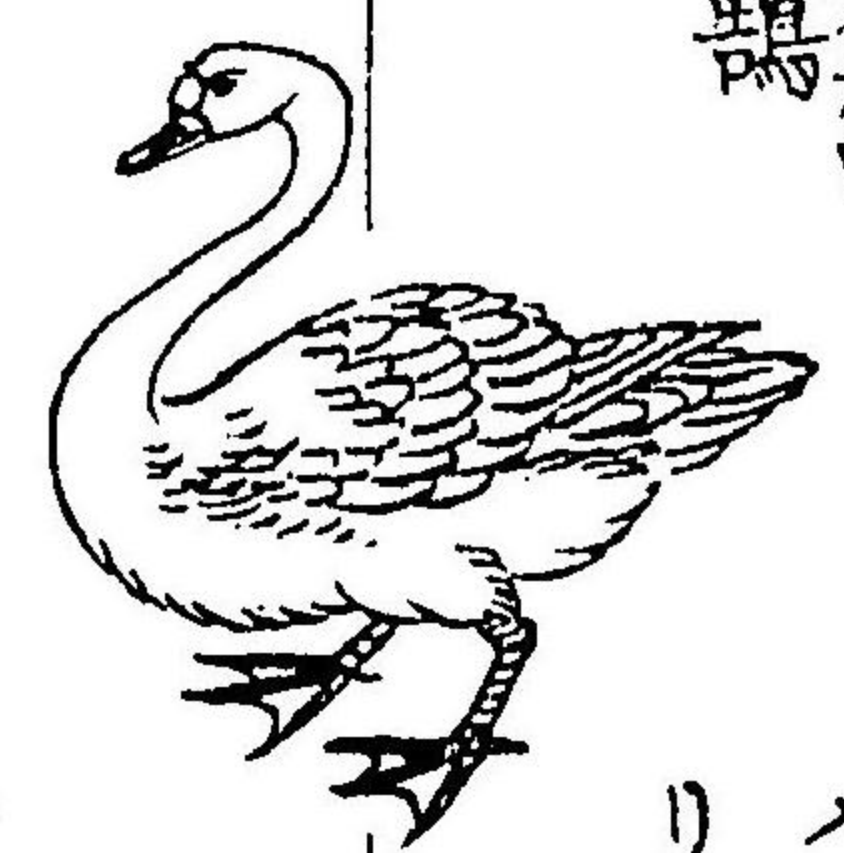
鷓鴣ハ江河或ハ海辺ニ棲ミ水上  
ニ游泳シ波ニ隨テ去來スル  
ナリ或ハ之ヲ都鳥ト云フナリ



アホウ鳥ハ常ニ江海上一ニ游泳スル  
大鳥ニシテ其肉ニハ頗ル惡臭クサシ  
アリテ食フニ堪エズト云フ

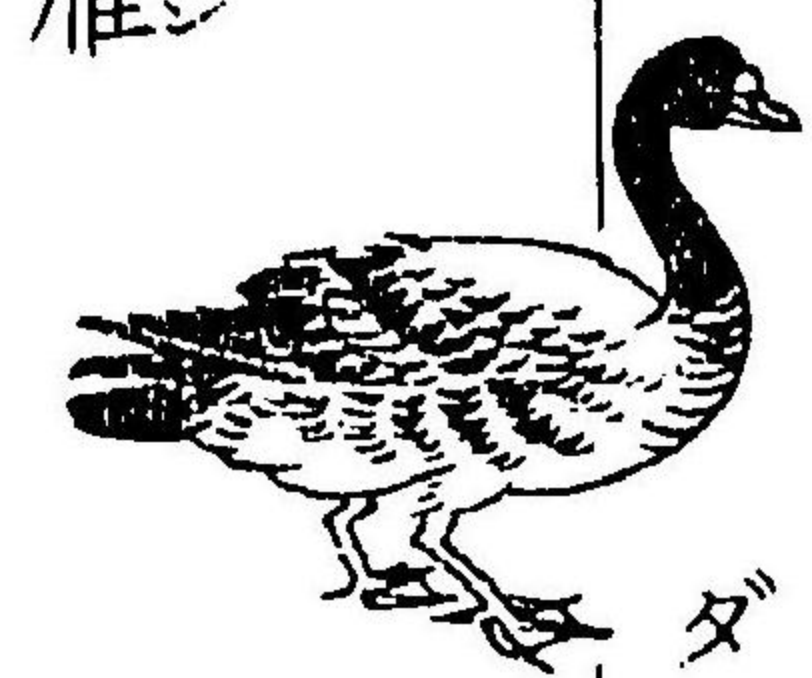


鵞



ハクテウハ状テ雁ニ似テ大キシ秋ノ末ヨリ池沼ニ來リ棲ム羽毛純白ニシテ甚

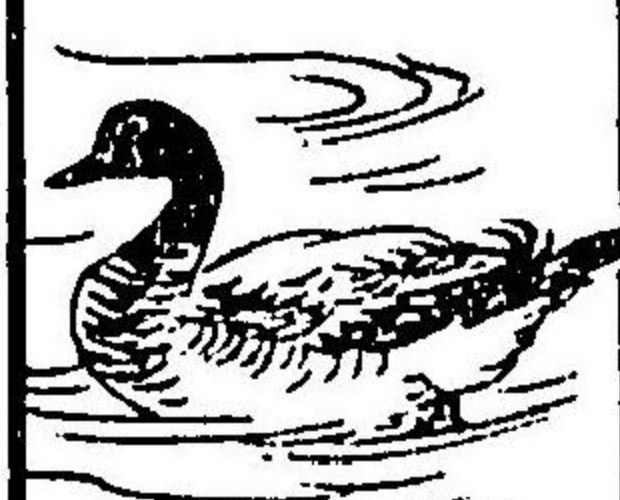
雁



壯觀ナル鳥ナリ 雁ハ秋來リ池沼澤或ハ海邊ナドニ求食リ翌春飯ル

ニ來ルハ北國ハ寒氣強ク雪深クシテ餅ニ乏シキ故ニ南ノ國ニ渡ルナリ其飛ブ時ハ斜ニ列ラナス

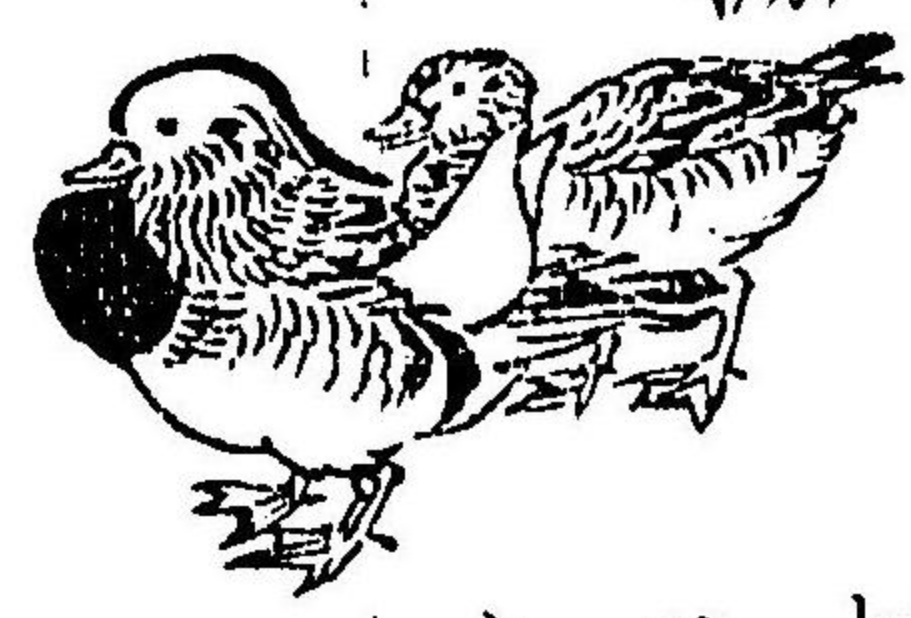
雁行ト云ヒ或ハ雁ノ列トモ云フナリ



刀鳥 狀チ小サク去來 鬼ト同ジ多ク群ル

雁ト同ジ又人家ニ養ヒ食用ニス

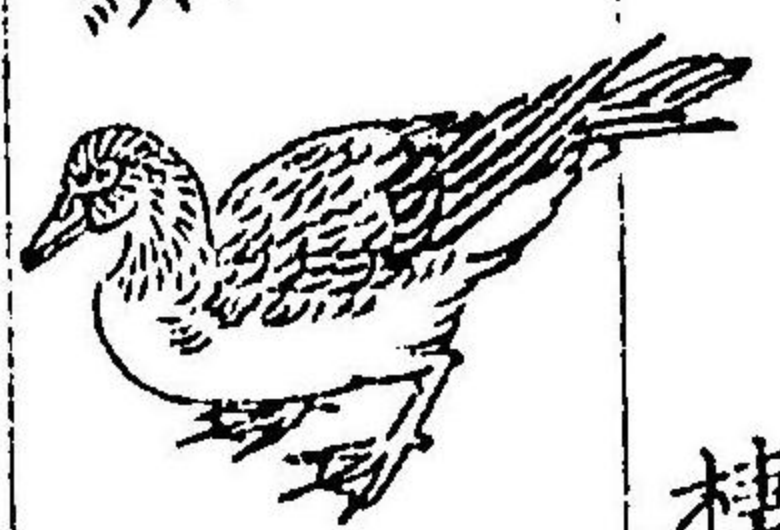
鵞



大サ息ノ如クニシテ雄ハ毛色美麗ナリ至ツテ雌雄中睦ジク片時モ番ヒハナルナシ來去是ニ同ジ巢ハ樹上ニ營ム西京北

山ノ麓觀音寺ノ境内ニ廣キ池アリテ冬ニ至レバ鵞鵝數千羽群ヲナシテ此池ニ棲ム甚ダ奇觀トナス故ニ世ニヲシ鳥寺

ト云フナリ 秋



狀小息ニ似テ嘴細ク兩端ニ鋸齒アリテ稍齒ニ似タリ又來去大抵鳥ニ同ジ

動物第三



# 爬蟲魚類一覽

爬蟲魚類ハ有脊動物ノ第三階二位シ其血赤色寒冷  
 皆肺ノ藏ヲ以テ呼吸ス然レ凡或種ルキニヨリニ於テハ  
 其見ハ魚類ノ如ク鰓ヲ用キルアリ又肺ト鰓トヲ具フル  
 者アリ血ノ循環メグリ遅ク性ツレ鈍シナリ滑食機  
 亦隨テ緩ナル故ニ能ク久シク餓餓ルニ堪フ全身ハ甲  
 又鱗ヲ被フト雖ドモ或ハ全ク鱗甲ナキ者アリ其卵ヲ産  
 ムスルニ方リテ見已ニ卵中ニ化スルアリ又産シテ後  
 化スルアリ冬月多ハ蟄伏ヒムス此類人用モキヲナス者甚ダ  
 少シ四個ノ二分テリ

魚類ハ有脊動物ノ第四階二位シ常ニ水中ニアリ其血赤  
 色寒冷鰓ヲ以テ呼吸ス其體ハ通常薄リ狭扁ヒラシナレド  
 毛或ハ扁平多或ハ細長ノ者アリ外皮ハ各種シホクノ鱗ヲ  
 被フ其動作ハ多クハ其鱗ニ因ルト雖ドモ多ハ尾ヲ以テ運  
 動ハコトス其卵ヲ鰻ノコト稱ズ其數ハ有脊動物中最モ多キ  
 者ニシテ億十ヲ以テ算フルスルニ至ル又胎生ニテウルノ者又  
 腹外ニ囊アリテ卵ヲ其中ニ育タスル者アリ今之ヲ八  
 個ニ分チ其著ルキ者ヲ擧グ

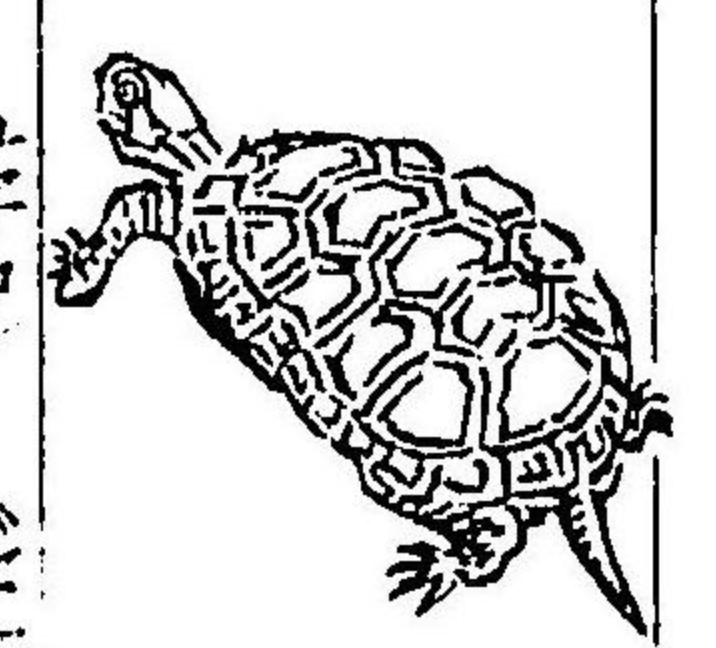
## 爬蟲類

陸地及ビ河海等ニ棲ム身ハ堅甲カクナカ  
 アリテ頭尾ヲ四肢ヲ外ニ出シ自在ニ



二伸縮ス又齒二代ル二角状カチノ骨  
以テス植物ハタル蟲類ヲ食フ

水龜



諸國ノ池沼川等ニ多ク棲ミテ至ツテ  
照順ナル者ナリ初笈ノ頃卵ヲ陸ノ砂  
中ニ産ミ置バ自然ニ生ル、ナリ至

極小サキ故之ヲ錢龜ト云フ

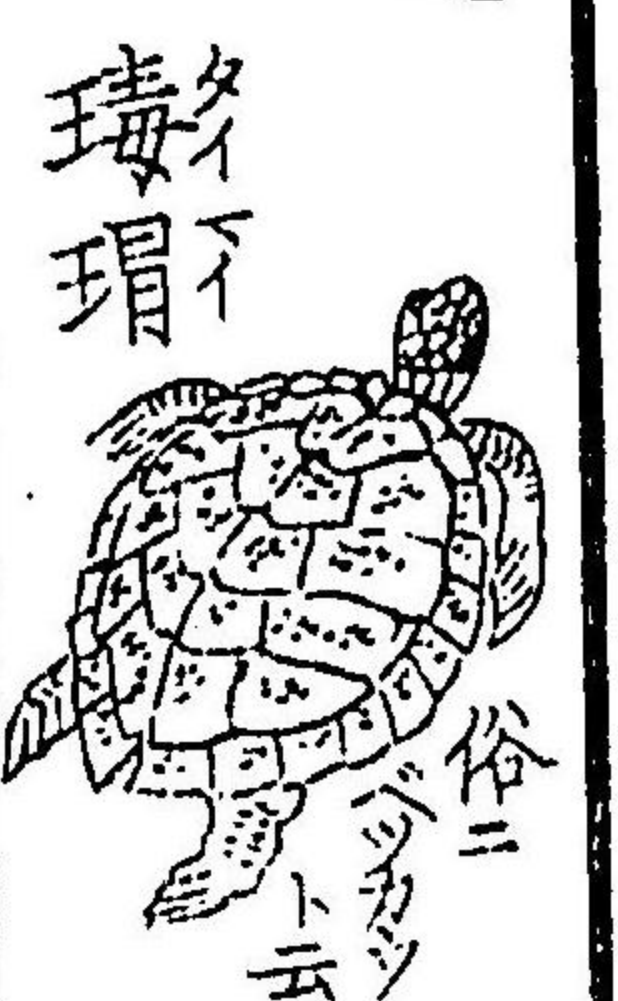
又縁毛龜ト稱スルハ甲ニ  
水綿ヲ生ジタル者ナリ 秦龜

ニ似タレドモ體ニ  
臭氣アリ故ニクサ 蟻龜



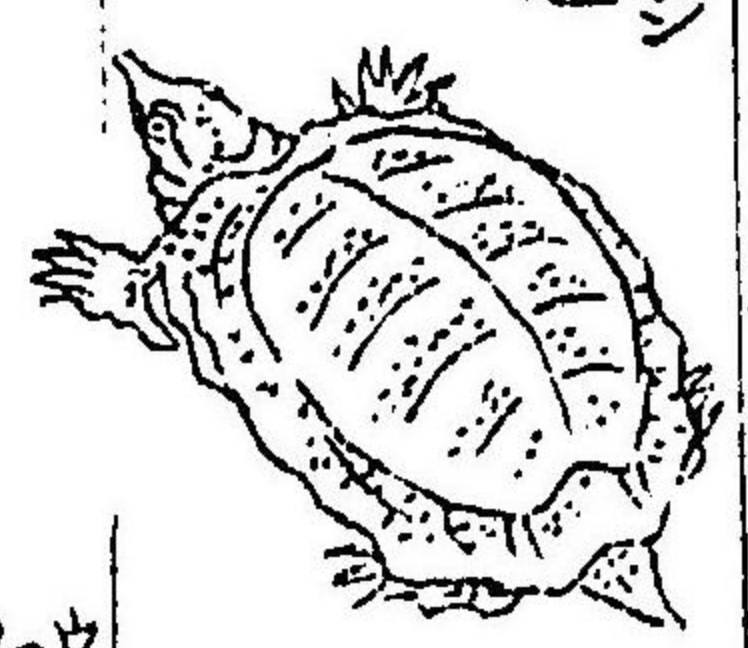
中國ニ多ク東國  
ニ之ナシ其性  
大抵尋常ノ水龜  
海ニ産スル龜  
ニシテ其大ヒ  
ナルハ五六

尺アリ其肉臭氣ニホヒアレドモ  
煮テ食スベシ其甲ハ瑇瑁ニ  
擬ルニヨスベシ東京ニ多シ



瑇瑁 俗ニ  
印度海ニ  
産ス其甲

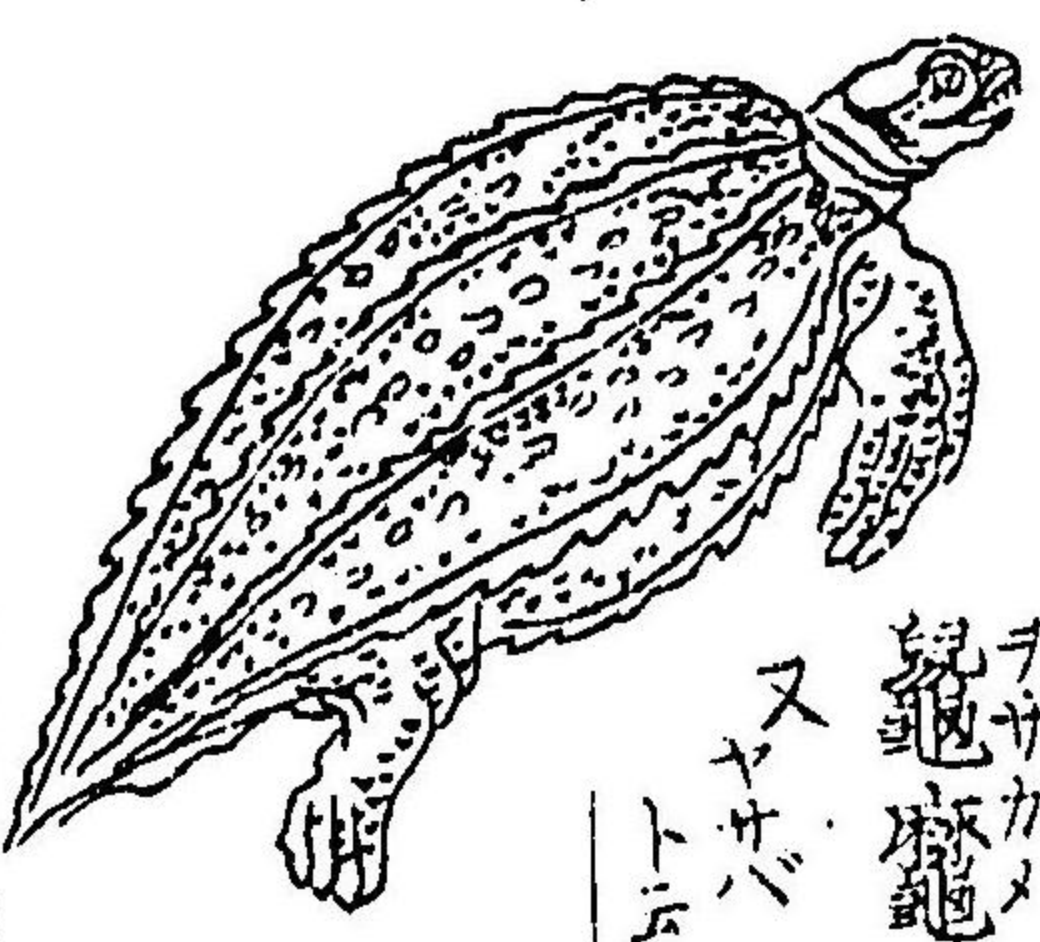
黒ノ斑アリテ透徹リテ美麗ナリ  
櫛笄ニ造リ婦人ノ髪ノ飾リ第一  
トス甚ダ重宝ナル者ナリ



諸國ノ  
池沼ニ  
産スレ

ドモ殊ニ九州ニ多シ其甲  
薄ク其肉甚ダ厚味ナリ人  
好んで煮テ食スルナリ

四五尺余アリ其甲ニ龜甲ノ  
紋ナク薄クシテ革ノ如シ肉  
ニ油多シ取テ燈油トス



龜 龜  
海ニ産ス  
ル大龜ニ  
シテ長サ



爬蟲第二類 蜥蜴類

全身ニ鱗又甲ヲ被ル 腹部ニハ必ズ鱗アリ 四脚アリ 稀ニハ二脚アリ 或ハ全ク

脚ナキモノアリ 水邊又ハ土中ニ穴居カニキルシテ他ノ動物ヲ食フ 此類多クハ毒アリ

鱷魚



熱國ニ産スル者ニシテ 爬虫ノ中ニテ最モ形チ大クシテ性最

猛惡ニシテ人畜ヲ害ナフ スルヲ多シ



守宮 壁或ハ板壁等ノ間ニ多ク

棲ミ夏ノ日夕暮ヨリ出テ 飛ブ小虫ヲ食フ 冬ハ巢ニ 蟄シテ出ルコトナシ



野郊ノ堤ミ 或ハ石垣等ノ間

二棲ミテ小虫ヲ捕リ食フ 背ニ碧條アリ 或ハ赤色ノヨリシマトカゲ又青トカゲト云フ 或ハ赤色ノ者ヲアカトカゲト云フ 其性大抵同ジ

爬蟲第三類 蛇類

全身細長クシテ鱗アリ 脚胸骨并ニ著ルキ耳ナシ 有毒無毒ナク 二種アリ 此

類中最大モトモノ者ハ熱國ニ産ス多クハ陸ツチニ 棲メドモ又全ク水ニアルナリ





原野<sup>ゲンヤ</sup>粘<sup>ネリ</sup>陰<sup>カゲ</sup>濕<sup>シツ</sup>絲<sup>シ</sup>ノ地<sup>チ</sup>二樓<sup>ス</sup>ミテ屢<sup>ス</sup>人<sup>ヒト</sup>ヲ啣<sup>カ</sup>  
ム<sup>コ</sup>ア<sup>リ</sup>テ其<sup>ソノ</sup>毒<sup>ドク</sup>酷<sup>ク</sup>ダシク死<sup>シ</sup>ニ至<sup>イ</sup>ルナ  
リ此<sup>コノ</sup>肉<sup>ニク</sup>美味<sup>ビシ</sup>ナル故<sup>ユヘ</sup>山<sup>ヤマ</sup>民<sup>タチ</sup>好<sup>コト</sup>テ之<sup>コノ</sup>ヲ食<sup>ク</sup>フ

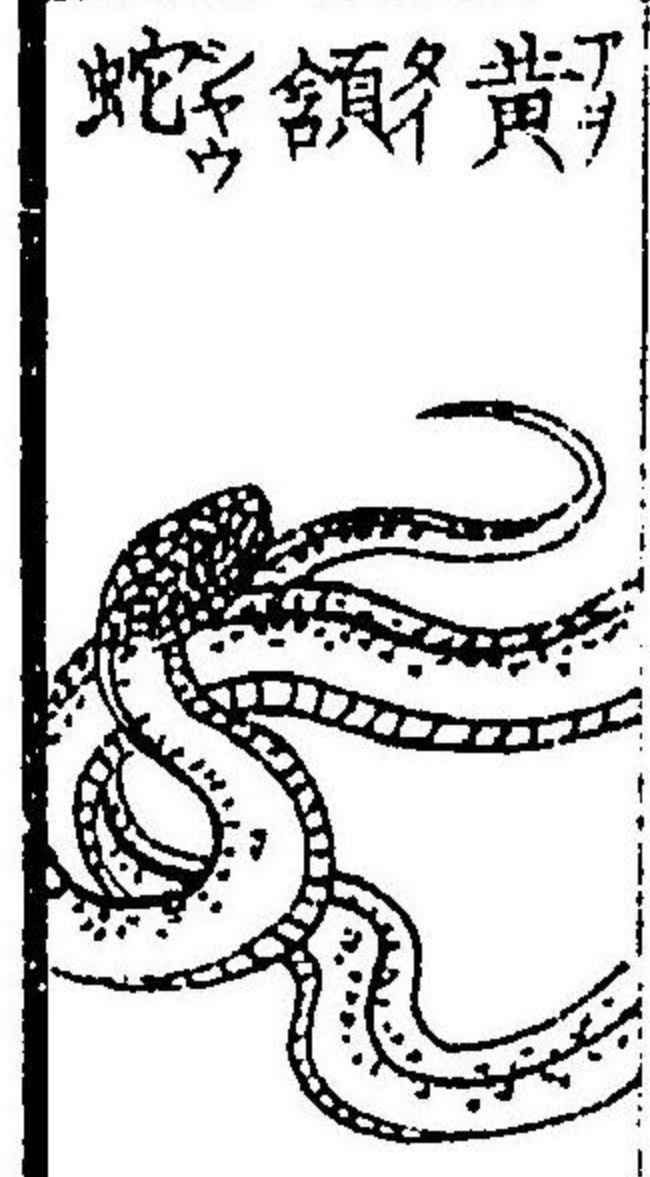
飯匙<sup>イハシ</sup>倩<sup>セ</sup>

大<sup>オホ</sup>ニ之<sup>ノ</sup>ヲ  
恐<sup>オソ</sup>ル

赤<sup>アカ</sup>棟<sup>トウ</sup>蛇<sup>ヘビ</sup>



諸<sup>シヨ</sup>國<sup>コク</sup>ノ山<sup>ヤマ</sup>野<sup>ノ</sup>ニ棲<sup>ス</sup>ミ多<sup>オホ</sup>ク  
蛙<sup>カサ</sup>ヲ捕<sup>ト</sup>リ食<sup>ク</sup>フ全<sup>ゼン</sup>身<sup>シン</sup>赤<sup>シキ</sup>色<sup>シキ</sup>  
斑<sup>マ</sup>紋<sup>モン</sup>アリテ甚<sup>シ</sup>ダ美<sup>ビ</sup>麗<sup>レイ</sup>ナリ



都<sup>ト</sup>鄙<sup>ヒ</sup>共<sup>トモ</sup>ニ多<sup>オホ</sup>シ全<sup>ゼン</sup>身<sup>シン</sup>淡<sup>タン</sup>綠<sup>リョク</sup>色<sup>シキ</sup>ニシ  
テ腹<sup>ハラ</sup>白<sup>シロ</sup>シ人<sup>ヒト</sup>家<sup>カ</sup>ニ入<sup>イ</sup>リテ鼠<sup>ネズミ</sup>ヲ能<sup>コト</sup>ク捕<sup>ト</sup>  
リ又<sup>マタ</sup>樹<sup>キ</sup>ニモ登<sup>ノボ</sup>ルト雖<sup>イヘド</sup>凡<sup>ヒト</sup>人<sup>ヒト</sup>ニ害<sup>ガイ</sup>ヲナ



諸<sup>シヨ</sup>國<sup>コク</sup>ニアレドモ他<sup>タ</sup>種<sup>シュ</sup>ホカハニ比<sup>ヒ</sup>シ  
スレバ甚<sup>シ</sup>ダ稀<sup>ス</sup>ナリ原<sup>ゲン</sup>来<sup>ライ</sup>毒<sup>ドク</sup>蛇<sup>ヘビ</sup>ノ  
名<sup>ナ</sup>アレ共<sup>トモ</sup>蝮<sup>ムシ</sup>蛇<sup>ヘビ</sup>ノ如<sup>ゴト</sup>ク入<sup>イ</sup>ニ害<sup>ガイ</sup>アル



薩<sup>サツ</sup>州<sup>シュウ</sup>永<sup>エイ</sup>良<sup>リョウ</sup>部<sup>フ</sup>島<sup>シマ</sup>ノ海<sup>カイ</sup>中<sup>チュウ</sup>ニ多<sup>オホ</sup>  
シ故<sup>ユヘ</sup>ニ此<sup>コノ</sup>名<sup>ナ</sup>アリ是<sup>コノ</sup>海<sup>カイ</sup>ニ生<sup>ナ</sup>スル蛇<sup>ヘビ</sup>ニシテ毒<sup>ドク</sup>ナシ島<sup>シマ</sup>人<sup>ヒト</sup>

之<sup>コノ</sup>ヲ捕<sup>ト</sup>リテ  
炙<sup>ヒキ</sup>リテ食<sup>ク</sup>  
フト云<sup>イ</sup>フ

爬<sup>ハ</sup>蟲<sup>チウ</sup>第<sup>ダイ</sup>四<sup>シ</sup>  
蝦<sup>カ</sup>蟻<sup>アリ</sup>類<sup>ルキ</sup>

此<sup>コノ</sup>類<sup>ルキ</sup>ハ皆<sup>ミナ</sup>裸<sup>ハダカ</sup>體<sup>タイ</sup>分<sup>ブン</sup>カタニシ  
テ四<sup>シ</sup>脚<sup>キョウ</sup>アシ稀<sup>ス</sup>ニハ二<sup>ニ</sup>脚<sup>キョウ</sup>ヲ

者<sup>モノ</sup>アリ水<sup>スイ</sup>邊<sup>ヘン</sup>ル<sup>ル</sup>又<sup>マタ</sup>樹<sup>ジュ</sup>上<sup>ジョウ</sup>ウ<sup>ウ</sup>ニ在<sup>ア</sup>リテ小<sup>セウ</sup>蟲<sup>チウ</sup>ヲ食<sup>ク</sup>フ其<sup>ソノ</sup>兇<sup>キョウ</sup>  
初<sup>シメ</sup>ハ魚<sup>イサ</sup>類<sup>ルキ</sup>ノ如<sup>ゴト</sup>ク水<sup>ミヅ</sup>ニ游<sup>ユ</sup>泳<sup>エイ</sup>スレ氏<sup>チヤウ</sup>長<sup>チヤウ</sup>ナルズルニ隨<sup>シ</sup>ヒテ

博物<sup>ボツブツ</sup>圖<sup>ズ</sup>

卷<sup>クワン</sup>三<sup>サン</sup>

三<sup>サン</sup>十二<sup>ジニ</sup>

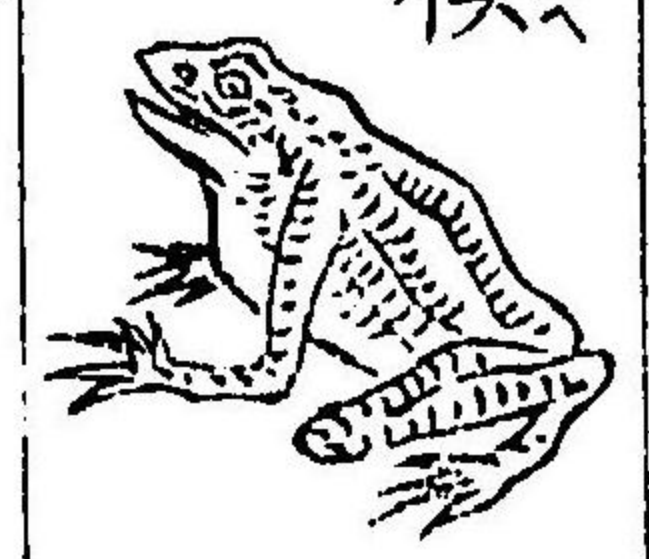


形ヲ變ヘン



形ヲ尋常ノ蛙ヨリ小サク淡綠色指  
頭ニ球アリテ自在ニ樹上縁陰ノ枝  
ニ登ル雨天ノ時ハ頻ニ啼ク故ニ之

ヲアマ蛤ト云入  
其声ヲ聞テ降  
雨ルヲトボク



諸國ノ溪間ニ棲ミ夏ノ夜  
鳴ナリ殊ニ山城八脊檉州  
有馬等ニアル者其声至テ

潜音ニシテ美ナリ故ニ  
之ヲ銅網ノ籠ニ養ヒテ  
愛玩ナスナリ



水田池沼等ニ多シ  
蛙ノ種類中ニテ最  
モ夥シ雨氣ニハ頻

リニ鳴テ  
誼スキ者



城州嵯峨又丹波播州小夜ノ山ヨリ  
多ク出ル形ヲ常ノ蛙ヨリ小サク瘦  
タリ其色薄赤ク光沢アリ手足細長

ク目ハ扇ノ要ノ如シ  
之ヲ炙リテ食バ小兒  
ノ疳ニ甚ダ効アリ



蛙類ト較異リテ  
性甚ダ鈍ク行  
走遅緩ナリ

人家ノ床下或ハ溝沍等ニ棲  
ミ夜間出テ蚊或ハ小虫ヲ食フ  
又水溜ニ已ガ臍腑ヲ吐出シ洗テ再ビ吞ナリ



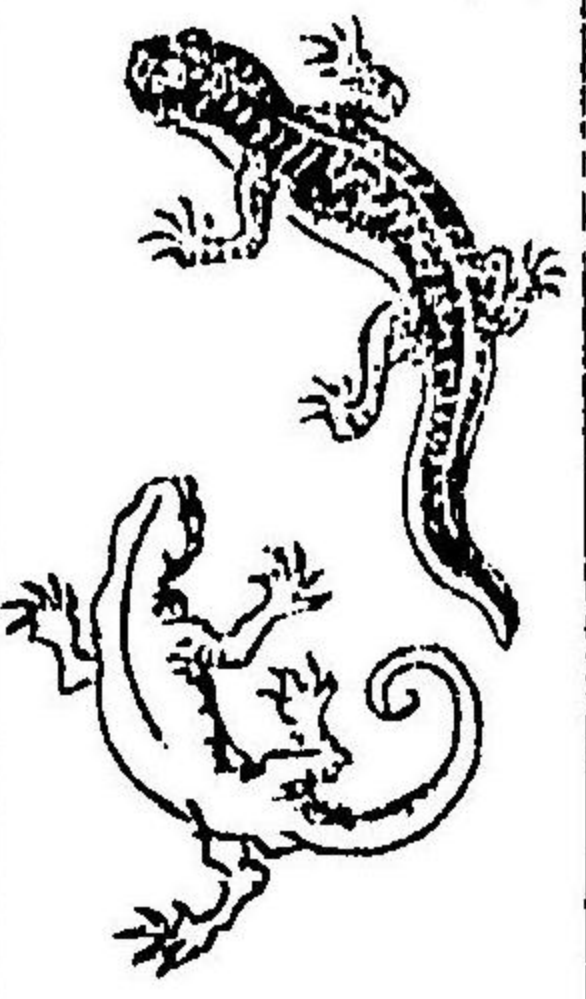
鯢魚ハ諸國ノ池沼等ノ溜ニ深キ処ニ  
棲ムナリ殊ニ中國ニ多シ其大ナルハ  
七八尺ニ至ル其肉甚ダ厚味ナリト云フ



黒魚諸國ノ溪澗水ニ生ズ其形テ水蜥蜴ニ似テ腹赤シ就  
中相州管根ニ生ズルハ名産ニシテ世ニ名高シ乾物トシ  
テ諸國ニ出ス即チ小兒ノ疳虫ヲ治スルノ功アリ



蝾螈



池沼小流等ノ水中ニ棲ミ形ヲ守  
宮ニ似テ脊黒ク腹赤シ長サ四五  
寸許リアリ性至テ穩ナリ

魚類第一 刺鰭類

此類ハ脊鬚タガミノ初筋後又第一背鬚  
セテカミノ筋及ビ後鰭ハ初筋ハ強鋭

刺狀サナシ腹鰭ハ堅キ筋ニシテ胸鰭等ノ前或ハ  
下ニアリ鰓ト上腭ハ自在ニ運動ス○此類ヨリ第四

類即チ叢鰓類マデ皆硬骨ホ子ナリ

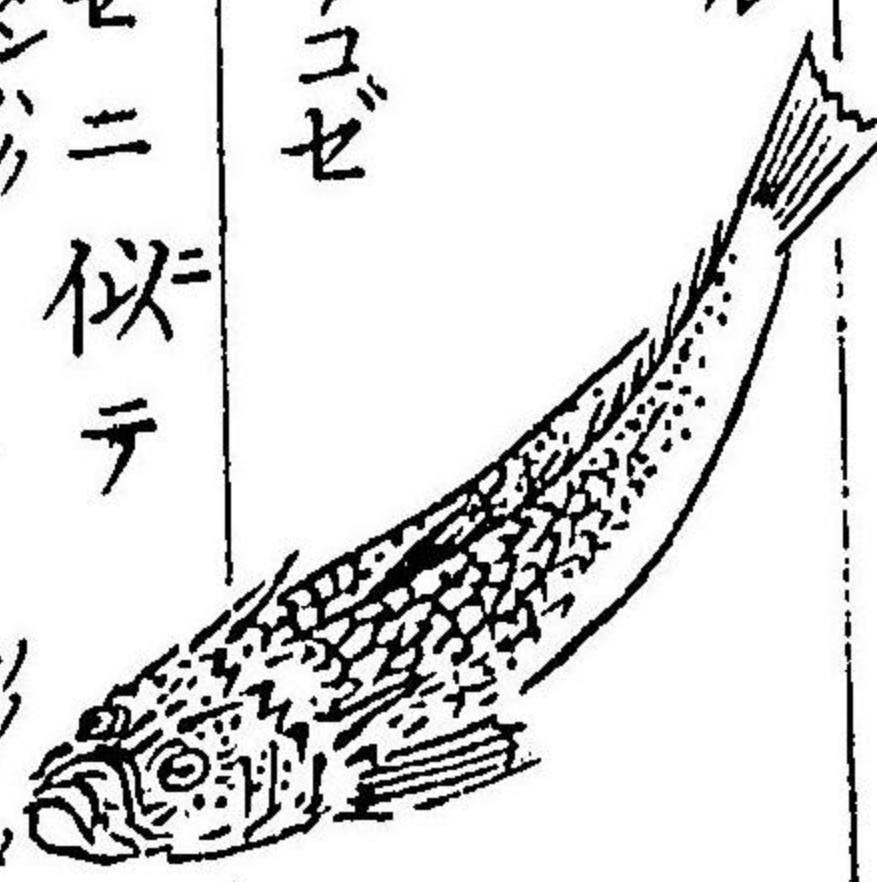
鱸魚



小ナルヲセイゴト云フテ夏ノ頃川ニ  
棲ミ長ズルニ應ジ河海ノ水相交ル所  
ニ至ル諸州ニ産スレ凡就中雲州松江

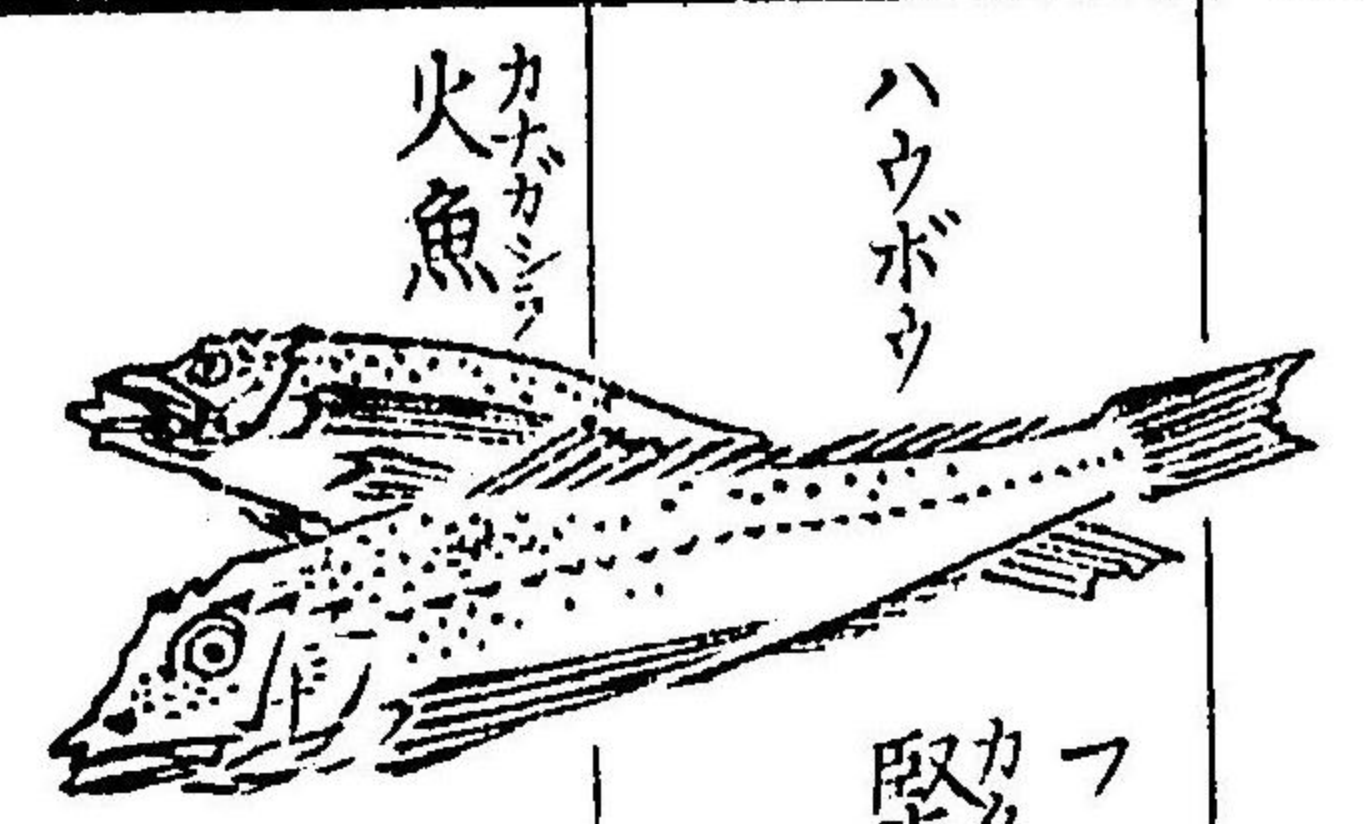
ニ漁スル魚頗ル  
名産ナリ

ムシマユセ



淡路ノ沿鳥辺ニ  
テ多ク漁ス故ニ  
ムシマ女郎ト云

ハウボウ



フ形チコゼニ似テ  
堅ク肉ノ味淡薄アリナリ其目相並ビテ眼鏡ヲ  
掛タルガ如シ故ニ又メガ子魚ト云フ夏月

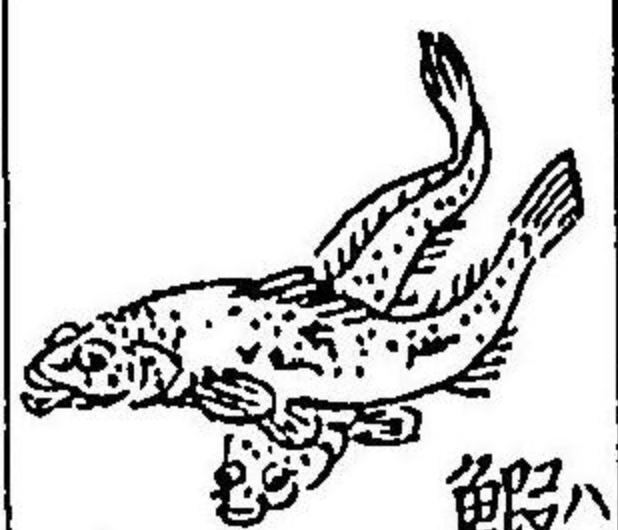
多ク  
漁ス

ハウボウハ大キクカナガシラハ其形チ略  
相似テ小サシ同種ニアラス皆全身淡赤  
色ナリ畿内ニテハ小兒ノ食初ニハ必ズ此

火魚



魚ヲ膳ニ供ルヲ式トス  
若其時ニ生魚アラザレ  
ハ乾タル火魚ヲ用キルナリ



鰕虎魚

東海ニ多ク  
産ス又大阪  
ノ川口ニモ

多ク生ズ秋ノ季ヨリハゼ釣ト稱ジ  
各小舟ニ乗ジ數百艘海上ニ漕出テ  
釣スルナリ其魚ノ多寡ニ因テ勝劣ヲ争フ



鯧魚

熊野鯖ト稱ズルハ紀州ニテ渾シ塩藏ニシ大和  
へ送ルニ甚ダ佳ナリ又若狭ニテ渾シ  
淡塩ヲ押西京ニ出ス之ヲ若狭鯖



アチハ諸國ニ産ス  
ムロアチ平アチ等アリ



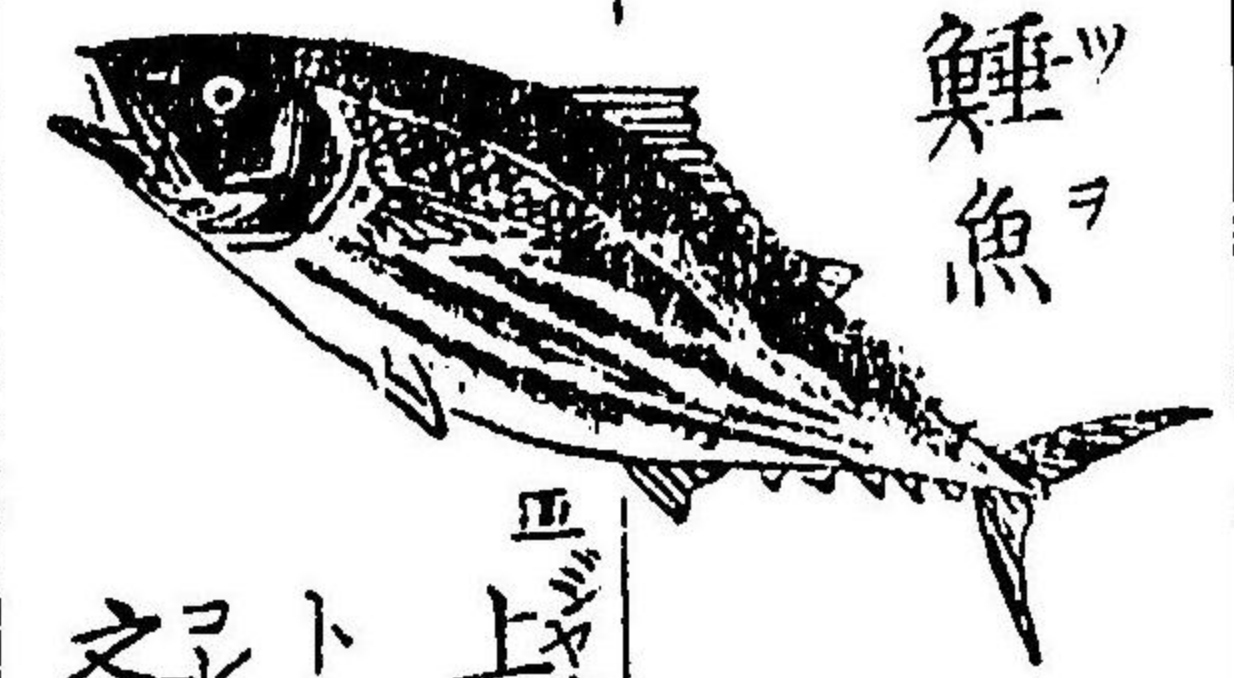
金鎗魚

マダロハ大ナル魚ニシ之ヲ鮪ト云フ東京ハ其近海ニ産  
シテ小サク鱈ニ三尺ニ過ズ又西國平戸五島ニ網スル  
夥シク形モ勝レテ大キク長サ八九尺ニ及ブ冬ヨ旬トス  
大坂ニテハ之ヲハツノミト云フ昔ハ此肉ヲ賞ジテ鱈ニ  
取初シヲ我一ニ争ヒ求ルヲ東武ノ初鱈ノ遅速ヲ論ズル  
が如シ此故ニ初網ノ先馳ヲハツト云ヒ其肉ヲ大小ニ切

テ賣ユエニ初ノ肉ト云フ後世此  
味ノ美癖ハルヲ惡ンデ終ニ賤キ  
物トナリ賓客ノ餐應ニ出スナシ

鯛魚

鯧ハ五六月頃陽ニ向ヒテ東南ノ海  
ニ群ル故ニ相摸紀州土佐等ニ多シ  
其肉ヲ製シ乾魚トス就中土佐ヲ最



上ノ名産  
トス薩ア  
之ニ亞グ



乾魚ハ入家日  
用ニ欠ベカラ  
サルノ良品ナリ

シ魚軒トナシ食スル  
一マグロト同ジ

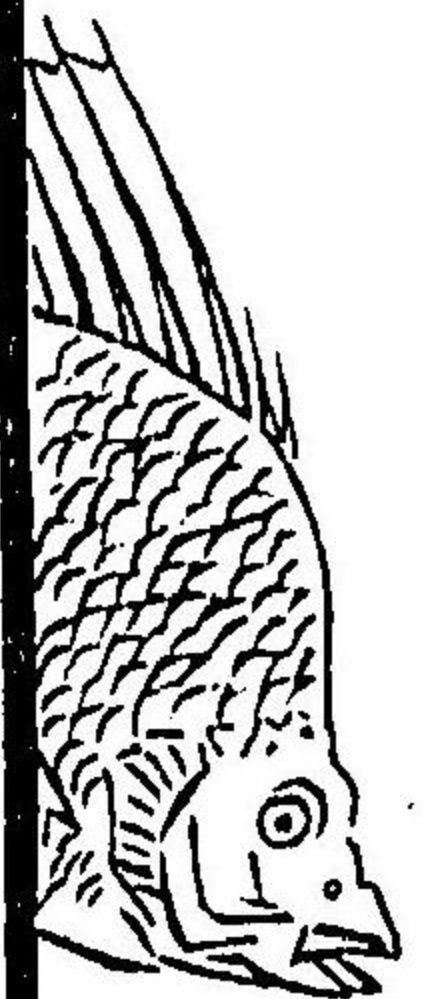
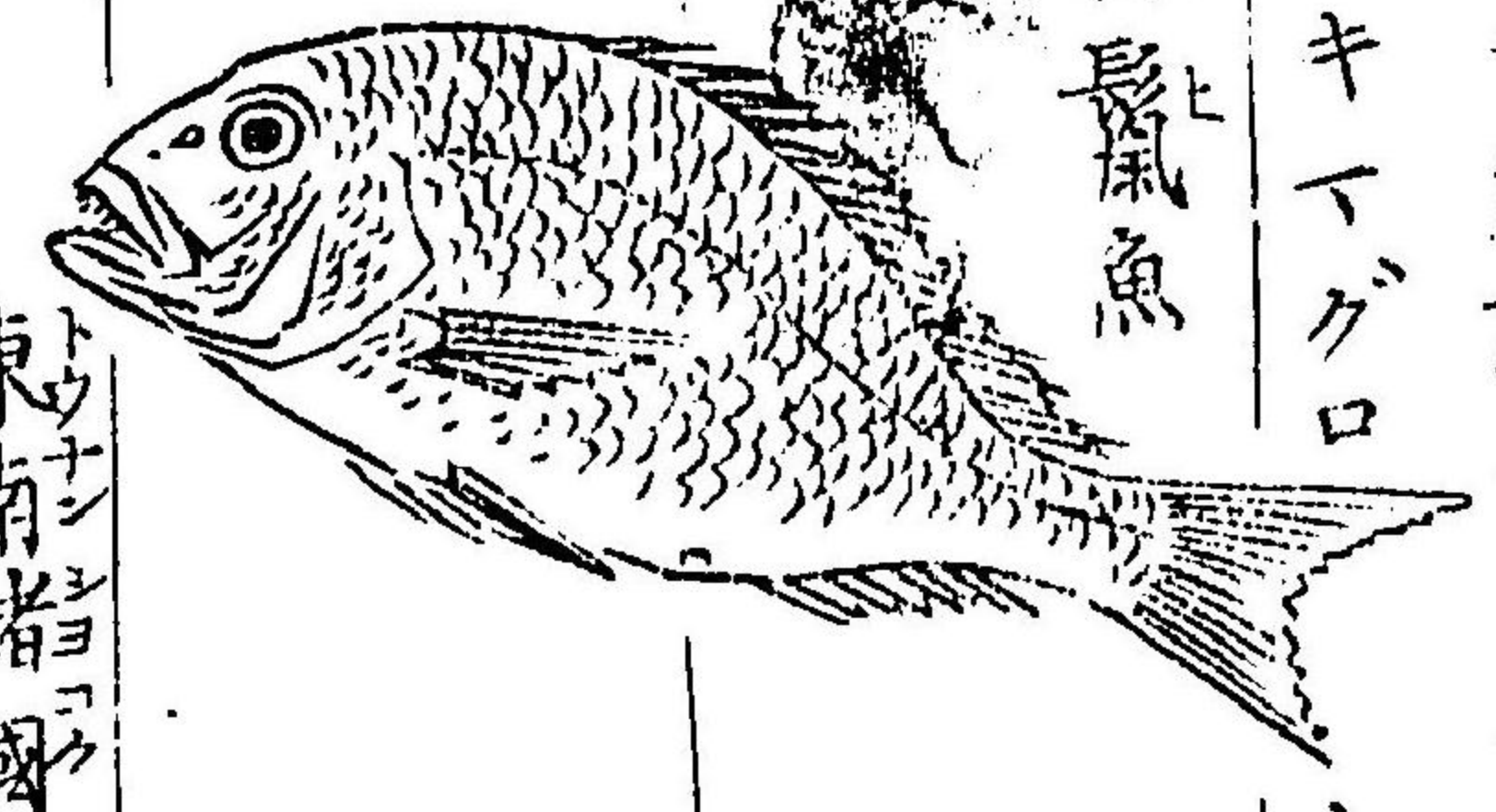
棘鬣魚ハ明石鯛淡路鯛頗ル名  
品ナリ又讚州榎股ニ漁スル一夥シ  
一網ニ数千ヲ得ルナリ殊ニ春八十

八夜ノ頃櫻鯛ト稱シ  
魚ノ旬ニシテ勝レ  
テ美味ナリ

旗魚

東南海ニテ漁スル大魚  
ニシテ東京ニテハ之ヲ  
カジキマグロ  
ト稱シ

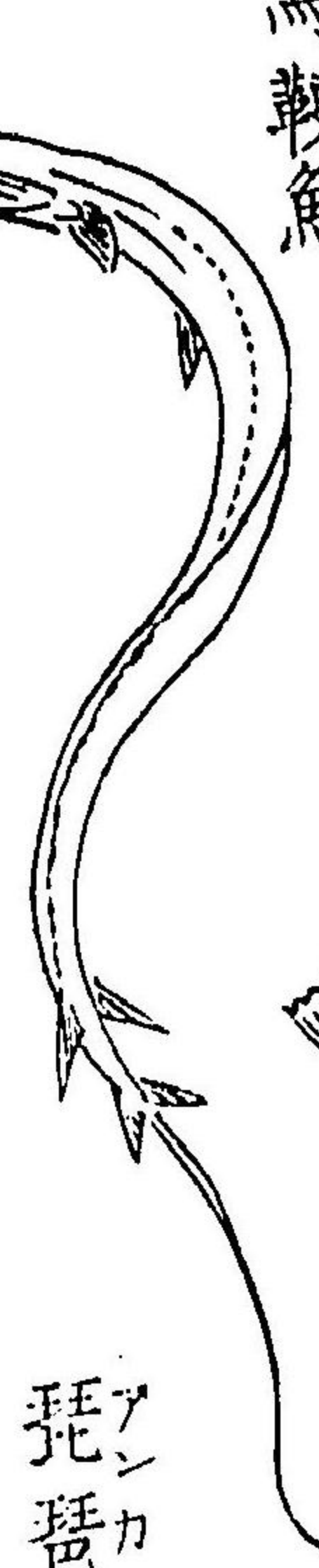
棘鬣魚



東南諸國ノ海  
ニ産ス冬春ノ際  
ニ多ク漁ス肉ハ

刺躬トナシテ佳ナリ  
全体淡紫色ニシテ腹  
少シ淡褐色ナリ頭ノ

馬鞭魚



琵琶魚

此魚ノ嘴細ク長ク筒ノ如ク長ニ小  
サキロアリ故ニ火筒嘴ノ名アリ  
此嘴ノ筒ヨリ湯水ヲ吞バ嘔噎ノ病ヲ

カチクハ  
タリ故ニ天狗鯛ト  
云フナリ

治ス肉ハ油膩少ナ  
ケレ味甚ダ  
美ナリ

琵琶魚ハ此魚游泳ナサズ常ニ海底  
ニアリテ大口ヲ開キテ小魚ヲ吞  
ムナリ東海ニ多ク西海ニハ少ナシ



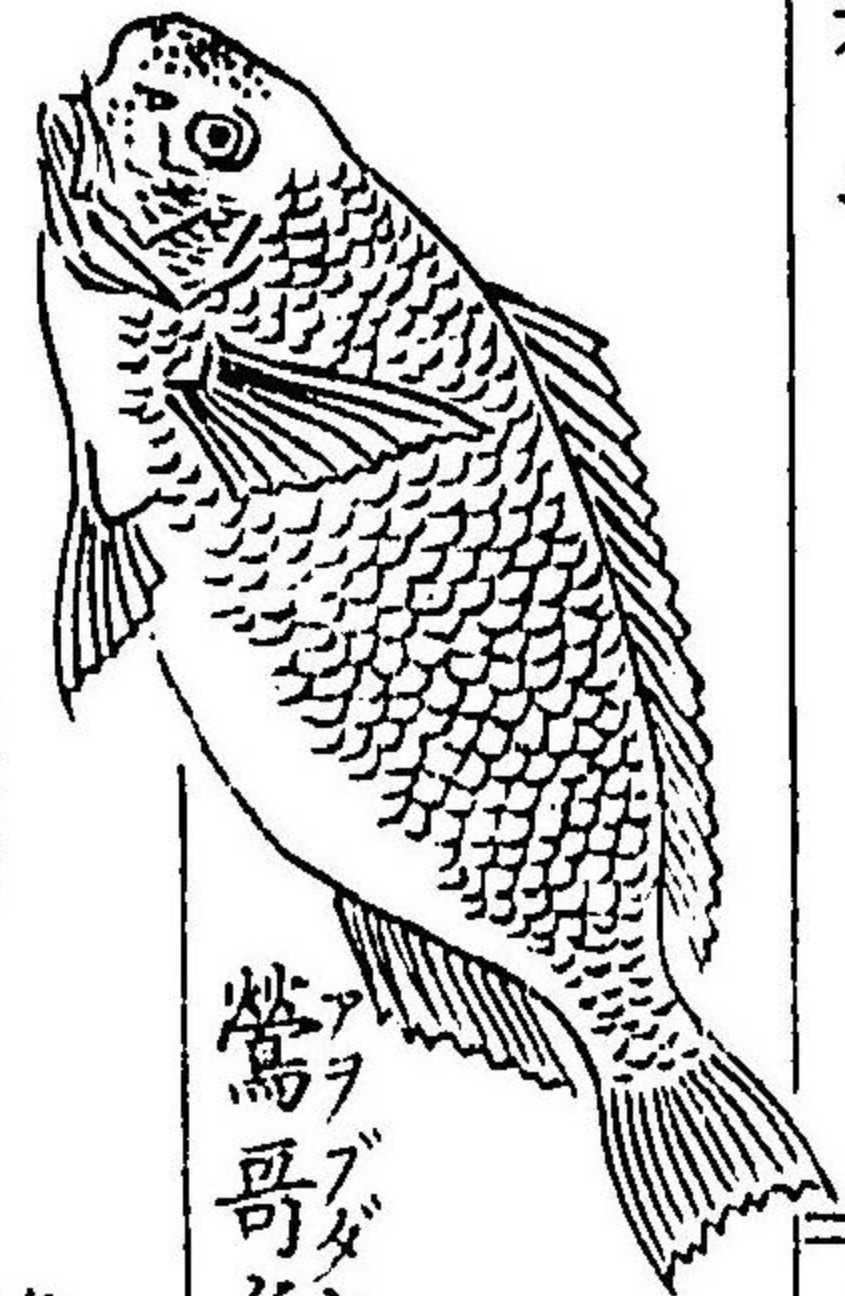
其形ヲ扁メニシテ  
琵琶ノ形ヲニ似タ  
ル故此名アリ

リ故ニアラブ鰯ト  
云フ鱗ノ色淡緑ニ  
少シ薄褐ヲ帶タリ

夕チ魚ハ其形ヲ細  
五尺ニ至ル白色ニ  
フ中國辺ヨリ淡路ノ海ニ多シ夏ノ末ヨリ秋ニ至リ盛ン

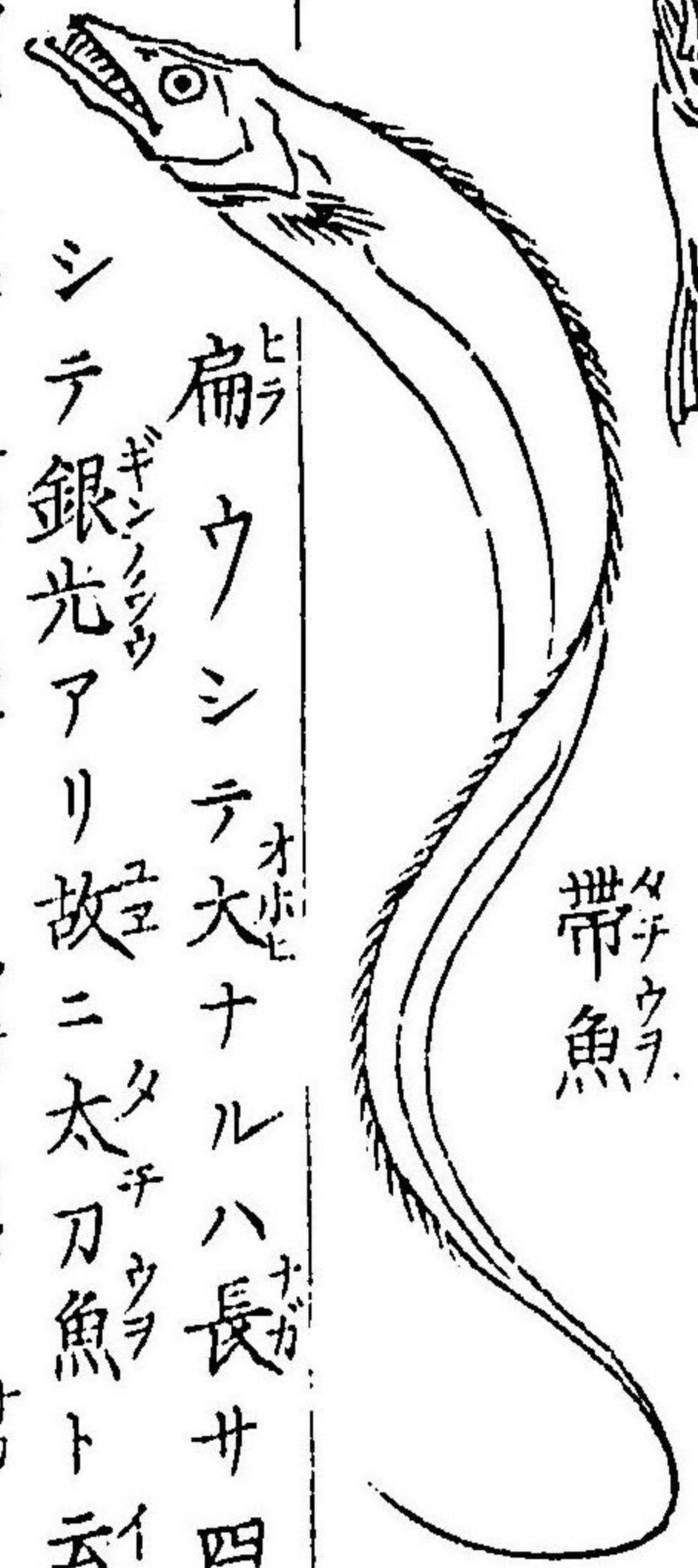
二澳魚類第二  
軟鰭類

此類ハ背鬣ノ筋條スチ柔軟ク  
ニシテ屈曲ガルスベク節アリテ



頭ノ形ヲ鶯ノ  
鳥ノ如ク甚ダ  
異形ノ魚ナ

鶯哥魚

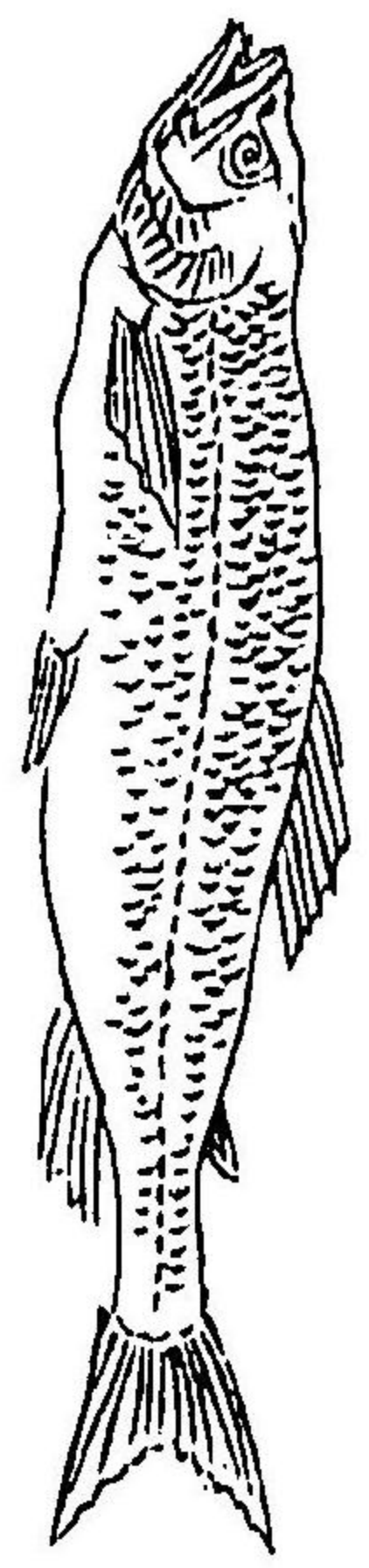


扁ウシテ大ナルハ長廿四  
シテ銀光アリ故ニ太刀魚ト云

帶魚

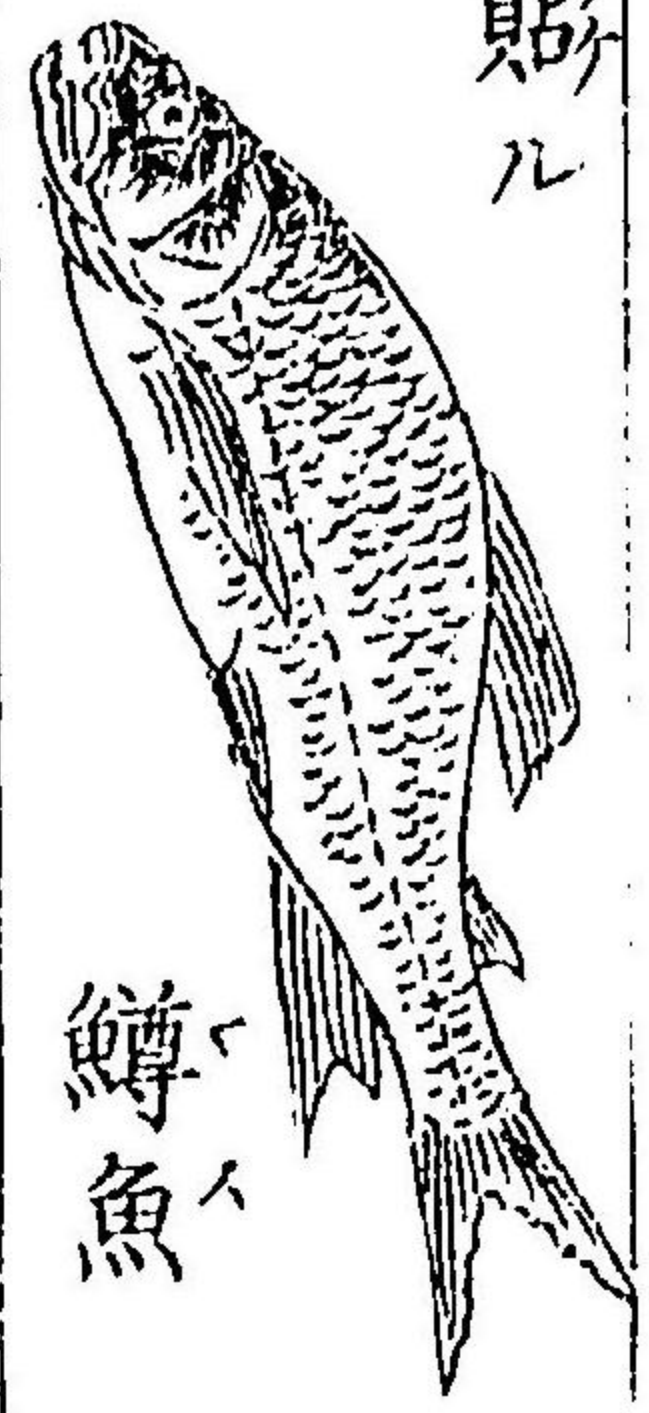
岐ミチヲナス然レドモ胸鰭  
ナリ鰓ハ刺鱗魚ニ同ジク上脰  
モ運動ヲス

松魚



海河ノ間ニ棲  
産ンガ為ニ溪

河ノ急流ヲ泳リテ岩ノ間ニ生貼ル  
其烈キヲ他魚ノ及ブ処ニ非ズ  
北國ニモ産スレモ北海道ニ殊



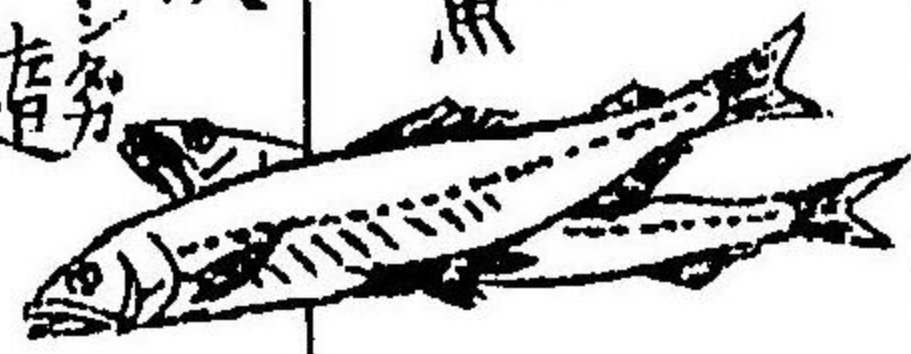
鱒魚

ニ多シ各ノ頃捕リ  
鮠トシ諸國ニ輸  
出ハラス

鱒ハ北國及ビ飛彈常陸奥州或ハ江  
州湖等ニ産ス形チ鮠ニ似テ少シ小  
サシ棲ム処モ同ジ之モ即チ鮠トナ

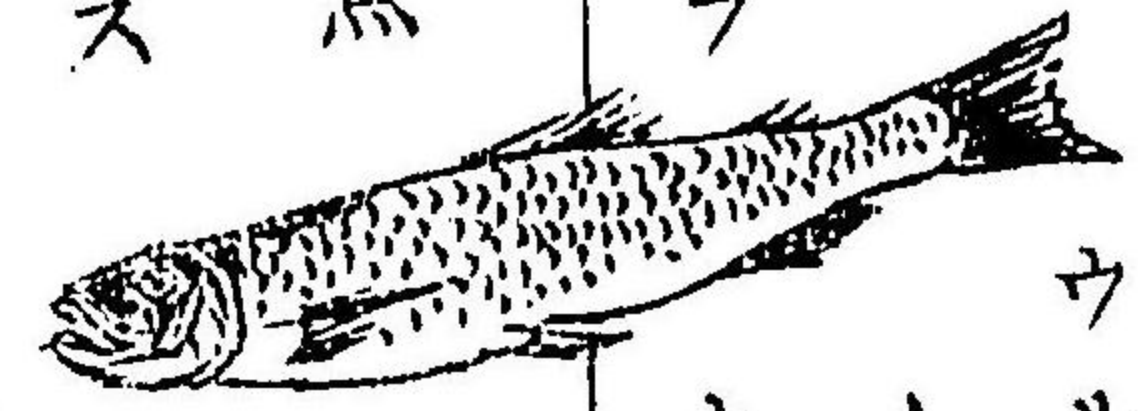


シテ諸國ニ積送ル  
ナリ 香魚  
水ト潮トノ間ニ生ジ長ズルニ隨ヒ溪河ノ急流ヲ沂ル秋ニ至リ其長サ尺ニ及ブ此時水中ノ草間ニ鮒ヲ生ジテ後

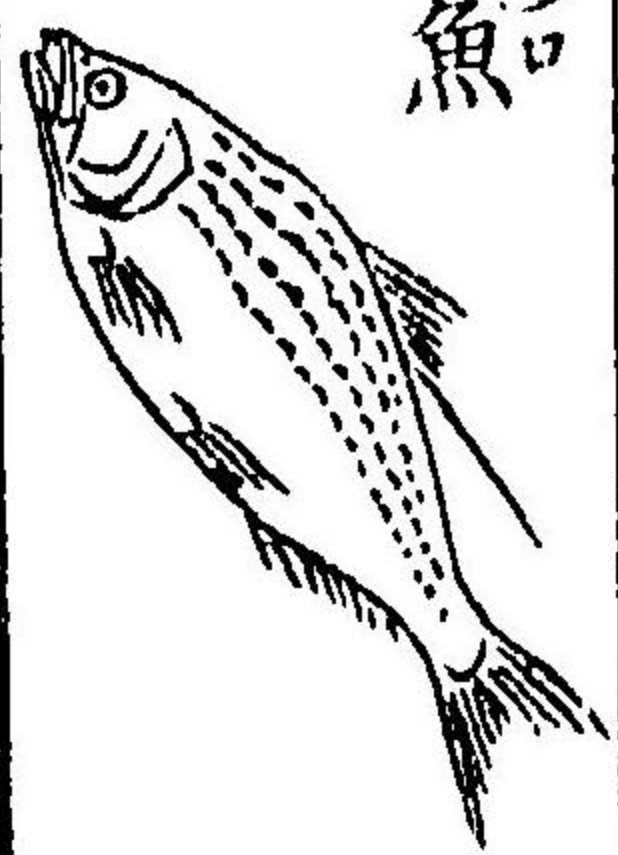


漸ク衰フ故ニ流ニ逆ルコト能ハズ水ニ隨ヒ下ル之ヲ落鮒ト云フ又其腸及ビ鮒ヲ塩藏カスニス之ヲナリ  
ウルクト稱ス人ノ賞味ナス物ナリ

ニシンハ北海道ニ多ク産ス  
小魚ニシテ頭ヲ切落シニ扱  
ニオロシ之ヲ干シ諸國ニ輸出ス  
其小ナルヲ真鮒ト云フ  
小魚ニテ下品ナレ凡ノ賞ズル魚ナリ



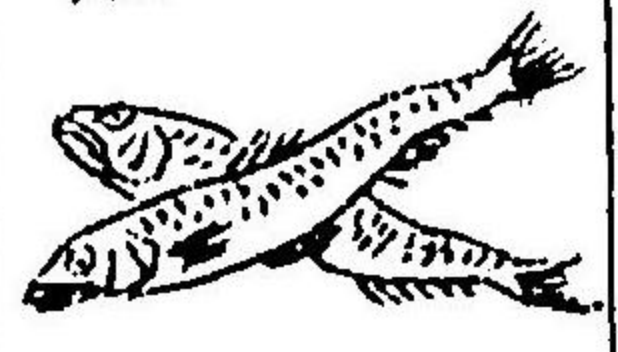
春ノ間ダ多ク食用ニナス  
ナリ  
其小ナルヲ真鮒ト云フ  
小魚ニテ下品ナレ凡ノ賞ズル魚ナリ



鯉魚  
東海西海トモニ多ク秋ノ頃盛ニシテ網引バ數百萬ヲ渙ス食用ノ外煮テ油ヲ絞リ取ル之ヲ魚油ト云フ其滓ハ乾鮑ト稱シ



田畑ノ肥シニ第一ノ物ナリ  
馬鯿  
鯉魚ノ種類ニシテ小サシ之ヲ乾タルヲゴマメト云フ



サヨリハ細長ク背ノ色淡青シ下ノ嘴鋭テ突出タリ春多ク渙ス肉ノ色白ク膩少ク味淡美ナリ  
文鯿魚

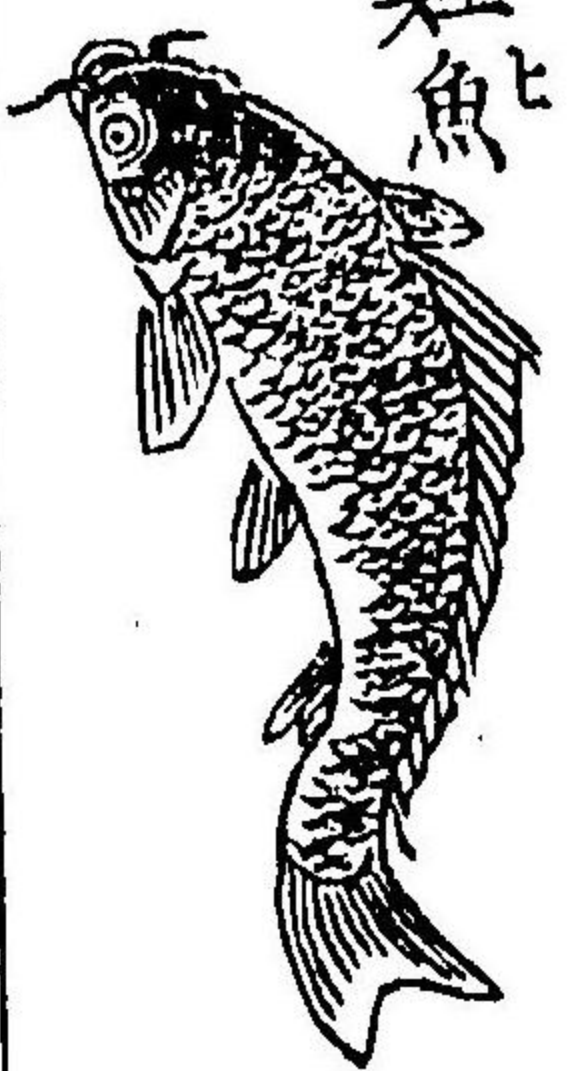


トビ魚ハ東南ノ海ニ多シ其胸ノ鱗大キク長シ此鱗ヲ以テ波ノ上ヲ飛ト  
恰モ鳥ノ翔ルガ如シ背ヲ開キ乾魚トナシテ諸國ニ輸出スルナリ





鯉魚



河魚ノ最上ニシテ諸國トモニアリ  
就中下総利根川山城淀川等ノ産頗  
ル有名ナリ此魚頭ヨリ尾マデ三十

六鱗列ナル故ニ六々魚ト云フ  
或ハ池ニ養ヒテ繁殖マセシム  
又一種赤鯉ト云アリ全身赤シ



池河沼湖等ニ  
多シ形チ鯉ヨ  
リハ小サシ

琵琶湖ノ荷包鯉ハ

大キクシテ其  
味美ナリ



元和年中始テ支那ヨリ渡  
ル今諸國ニ繁殖セシム  
其種類鯉臣長崎尾長等ア

リ泉水盆水ナド  
ニ養ヒテ児童ノ  
愛玩スル者ナリ



水田溝井路川等ノ泥中ニ生ズ  
ル小魚ニシテ形チ圓ク細  
長シ味噌汁ニ煮又炙リテ

蒲焼トナシ  
テ食ス

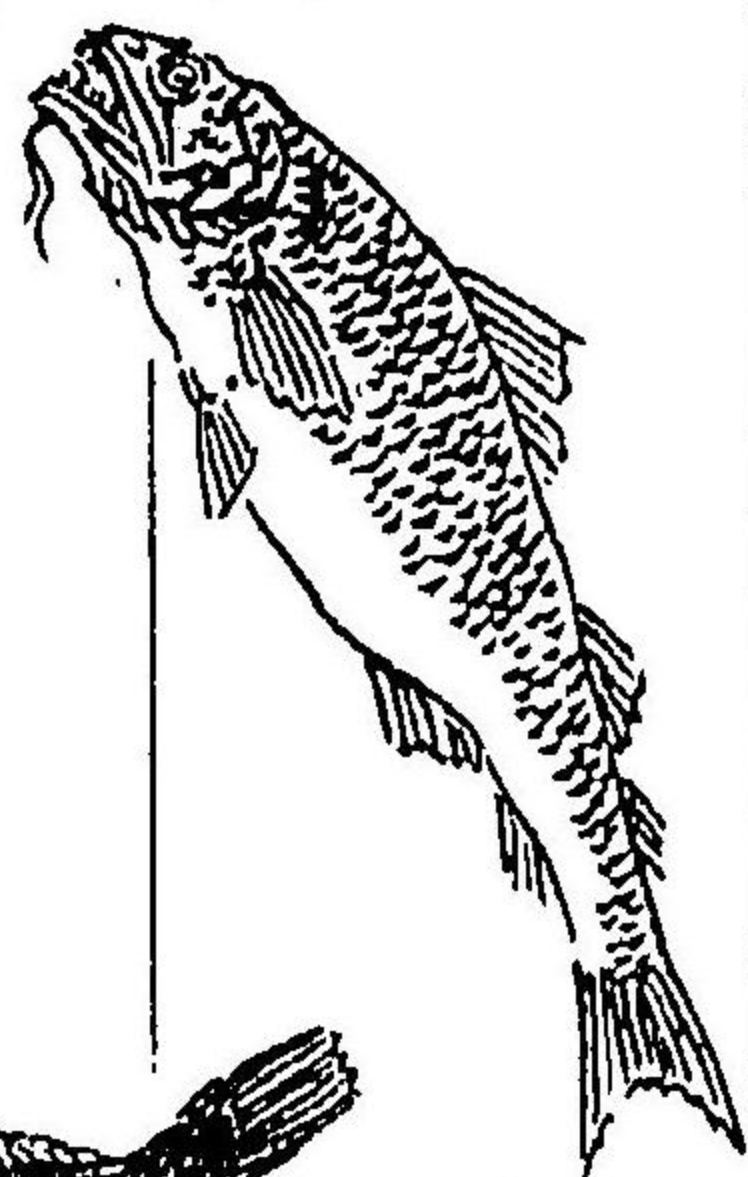
鯉魚



湖河池等ニ生ズ鱗ナク背黒ク腹  
白ク長キ鬚アリ總体滑多シ此魚  
古昔ハ関東ニハ無シ然レ厄近年

ハ東國ニモ  
多クアリ

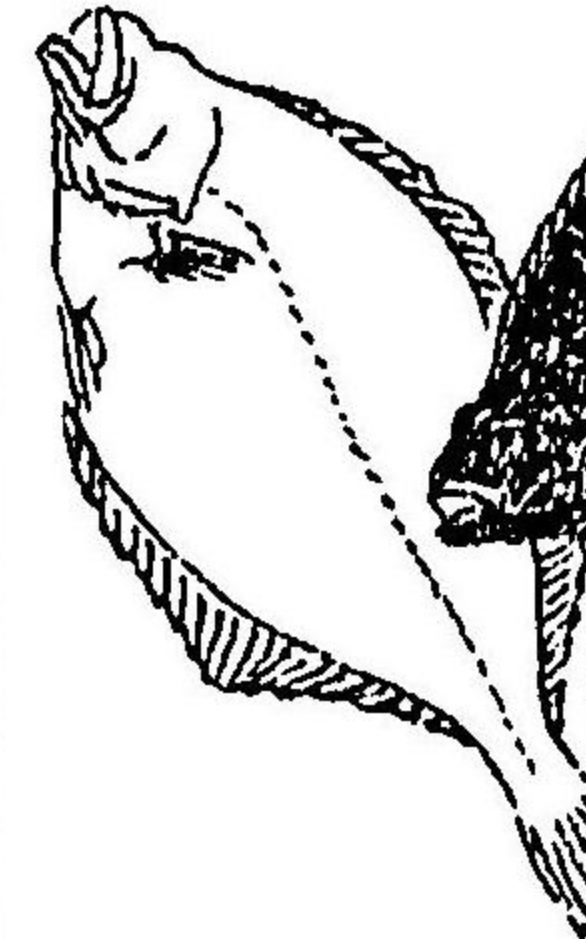
大口魚



北海ニ多ク産シ  
塩藏ニシ又乾  
テ諸國へ輸出ス

ス之ヲ畿内ニテハ  
于ダラト云フ又俗ニ棒ダラト云フ此  
肝ノ臟ヨリ薬ニ用ユル肝油ヲ製法ス

ヒラメハ四時トモニアレド春夏ノ  
間頗ル美味ナリ又北國ニハ長サ  
八九尺ニ及ブ最大ナル者ヲ産ス



板魚



カレイハ板魚ト同ジク鱈ノ一がニ兩眼アリ其品類甚ダ多シ若州ニテハ一夜塩水ニ浸シ少シ日ニ乾シ西京ニ出ス之ヲ若狭鱈トシ

ト稱シ世ニ淡塩乾ノ魚多シト雖モ之ニ勝ル者ナシ又小鰈ヲ乾シ數十枚竹ニ貫キタルヲ木葉鰈ト云フナリ

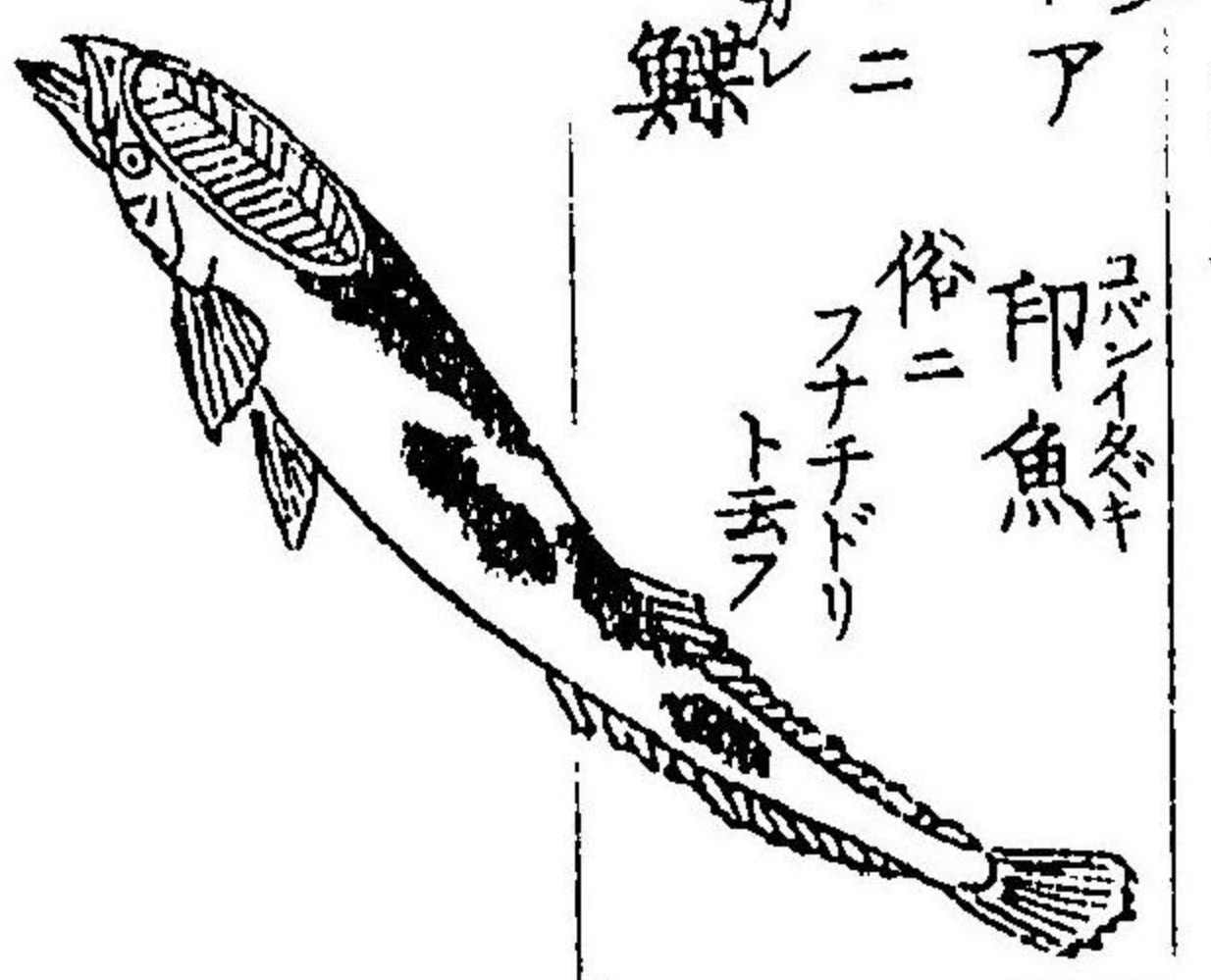
印魚ハ頭ノ上ニ楮圓形ニ骨ニ着スベキ部アリ

接ザルナシ此魚ヲ立ニ割炙リテ付焼ニナス之ヲ蒲ヤキト云フ甚ダ美味モノナリ

海鰈ハ東國ニハ甚ダ稀ナリ攝津和泉淡



諸國ノ湖池河沼等ニ此魚ノ



俗ニ印魚ト云フ



海鰈

狀鰈

路其外中國ノ海ニ多シ小骨多キ故ニ立ニ割テ細カク骨ヲ切ル之ヲ海鰈ノ骨切ト云フ炙リニシ食フ魚鱈ニ多ク此肉ヲ製ス

東海ニ多シ形チ鰈ニ髯タリ大阪ニ多シ又武藏品川ノ名産トス

魚類第三類 堅齒類

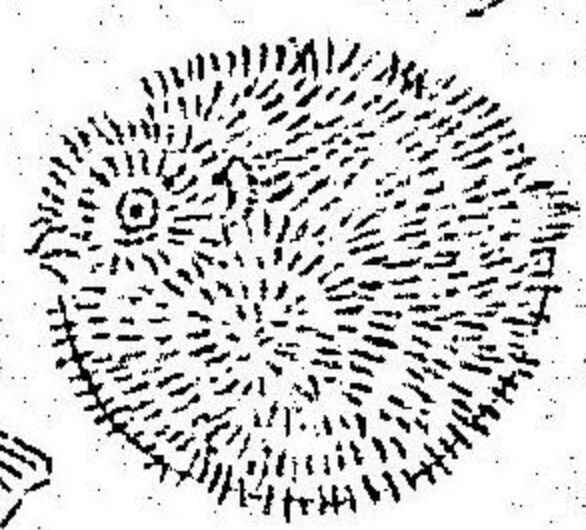
鰈弛緩ニシテ股鱗ヒラナシ嘴小ク上嚙骨ノ諸骨ハ固着シテ運動クセズ

其嚙骨ハ恰モ齒ノ如シ身ニハ多クノ稜カアル骨状ノカチノ甲アリ或ハ鱗又刺ヲ被フ



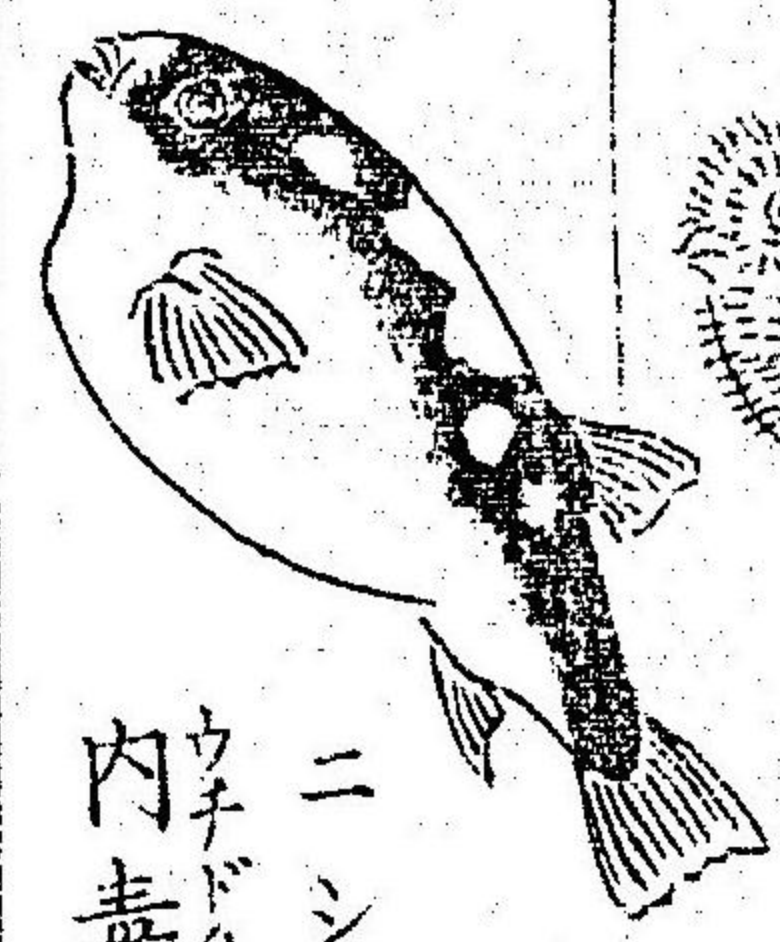
strange fish

魚虎

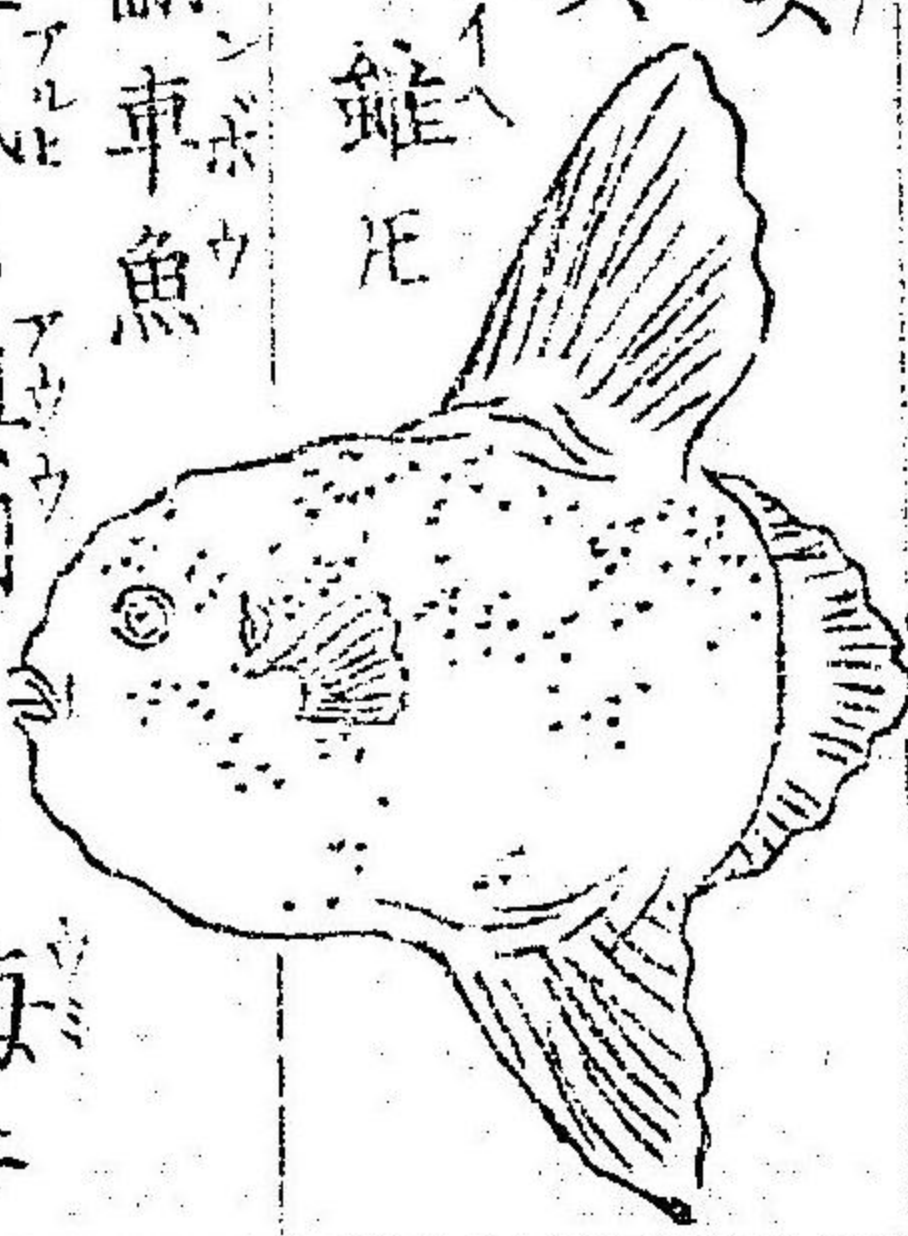


北海ニ産ス形テ圓球ニ長キ  
刺一列ニ生ズ又此類ニ刺河豚ト云アリ  
刺ノ數少クシテ短カシ

河豚



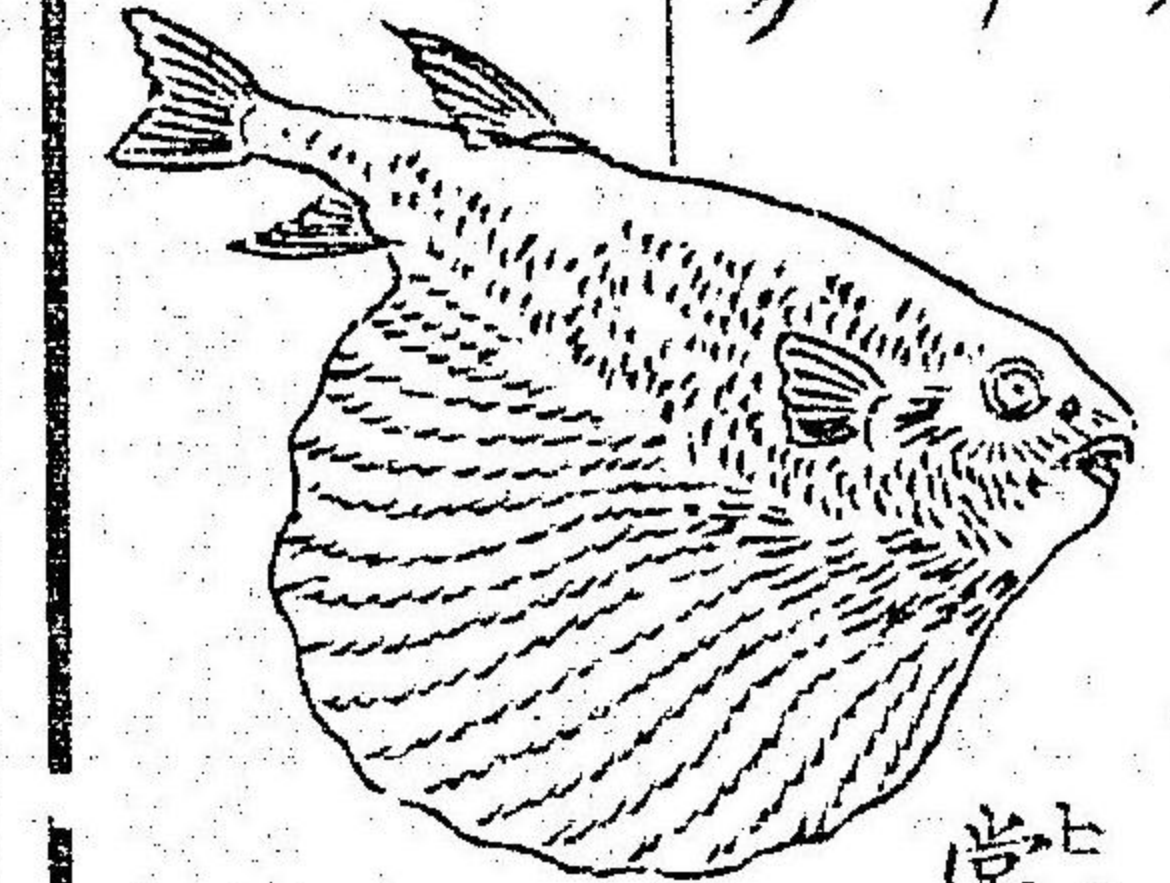
猛烈ノ毒アル魚  
ニシテ又品類多シ其  
内毒少キモノアリト雖也



決シテ食スベカラズ  
近世ハ此魚ヲ醫用グヨ  
制禁トス

翻車魚  
常陸或ハ奥羽ノ海ニ  
産ス大ナルハ丈餘ニ

至ル其腸ヲ乾タル  
ヲホシウキト  
云フナリ



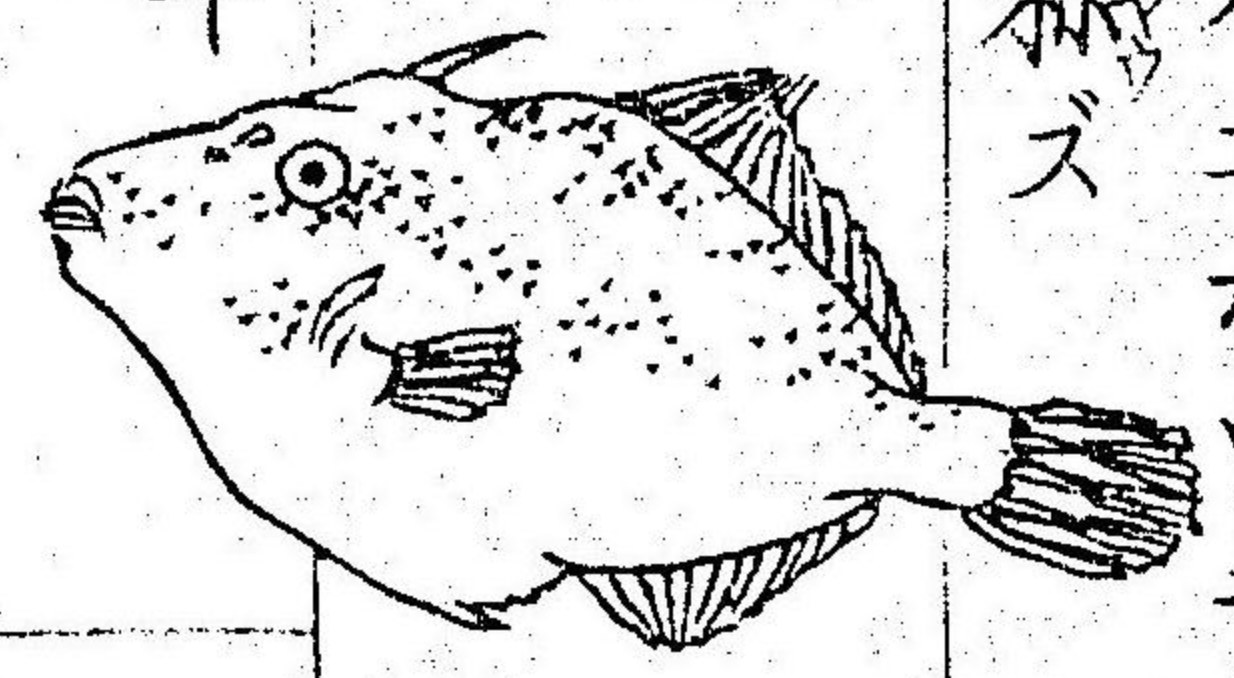
ウチハ河豚ハ東京近  
海ニ稀ニ漁スルア  
リ其腹ノ皮薄クシテ

伸タルヲ以テ之ヲ

俗ニタバコホウチ  
ヤウト稱ズ

スルガ  
如シ

スリニ肝  
ルナリ



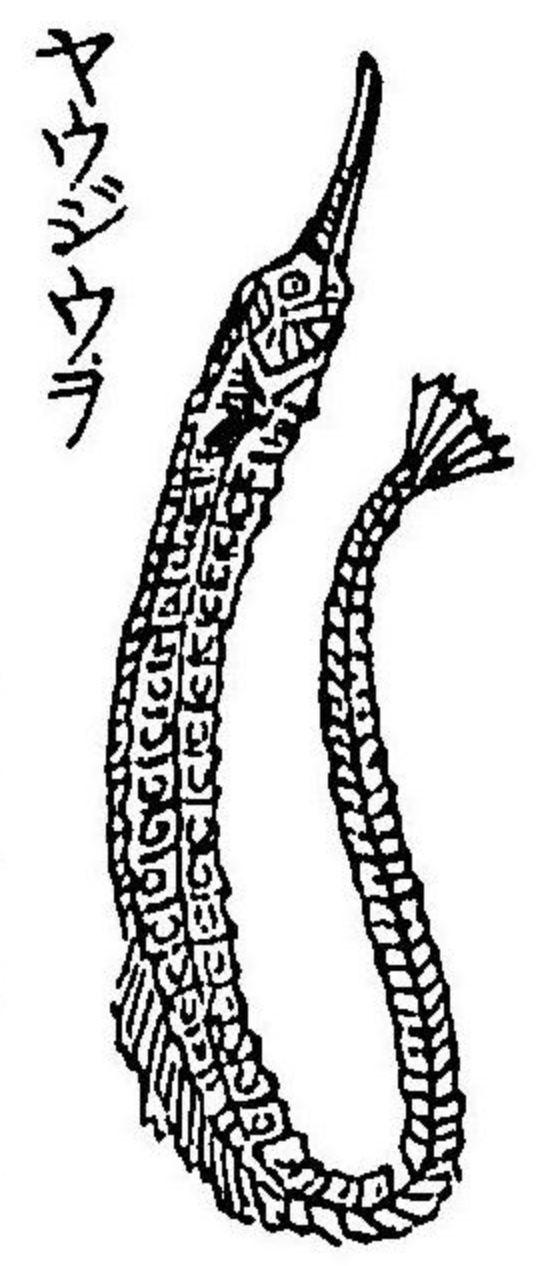
北海ニ産スル小魚ニシテ  
頭ニ雙角多アリ全身ニ  
堅キ甲アリ甲冑ヲ着

此魚ノ皮ハ強クザラツキ  
如シ故ニ皮ヲ剥捨テ其  
肉ヲ煮テ食用ニス又皮ハ物ヲ磨礪

魚類第四類  
長キ管状カクノ鼻アリ  
リテ上齧キノ諸骨

運動ス鯉孔ハ頭ノ上部大ナル鯉蓋ノ下ニアリ身ニ  
ハ稜角アリテ全ク堅板ヲ被ルガ如シ





狀于細長ク箸ノ如キ小魚ニ  
シテ長サ六七寸許リナリ  
身ニ稜角アリ



狀于小サクシテ一ニ寸アリ  
其頭ノ形于粗馬ニ似タリ  
故ニ此各ヅクルナリ

魚類第五  
離鰓類

胸鰭ヒト腹鰭ヒトアリテ其嘴ハ鼻下  
シテ二横ハル大ナル鰓孔アリ各一箇ツトア

即于狭心類迄テ皆軟骨ルホナリ  
リ表皮ハ骨状ナリ硝子様ノ鱗ヲ以テ被フ此類ヨリ第八類

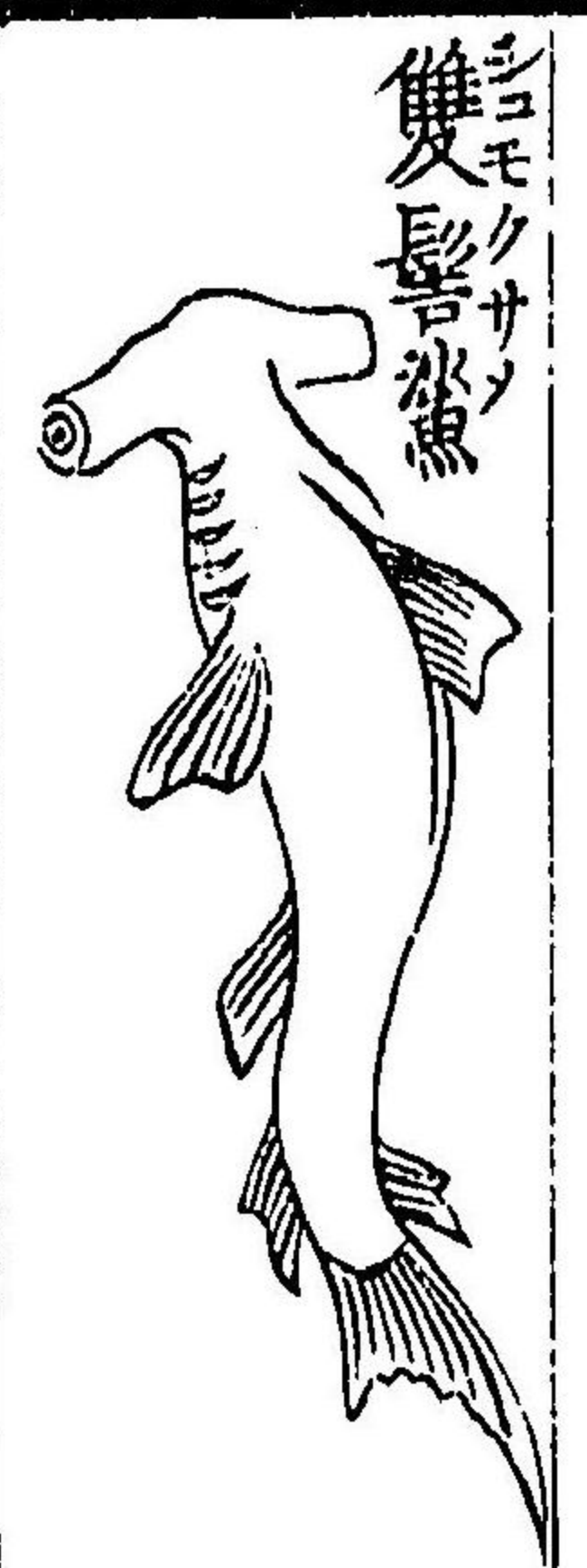


魚類第六  
固鰓類  
北海道ニ産ス長サ四五尺以上アリ此皮  
ハ刀ノ柄ニ卷テ甚ダ美觀トナリ又之ニ  
テ魚膠ニシテ製スルナリ此魚ノ鰓ハ塩

藏カトナス  
魯西亞ノ名  
産ナリ

魚類第六  
固鰓類  
嘴ハ鼻ノ後或ハ  
下又ハ末ニアリ

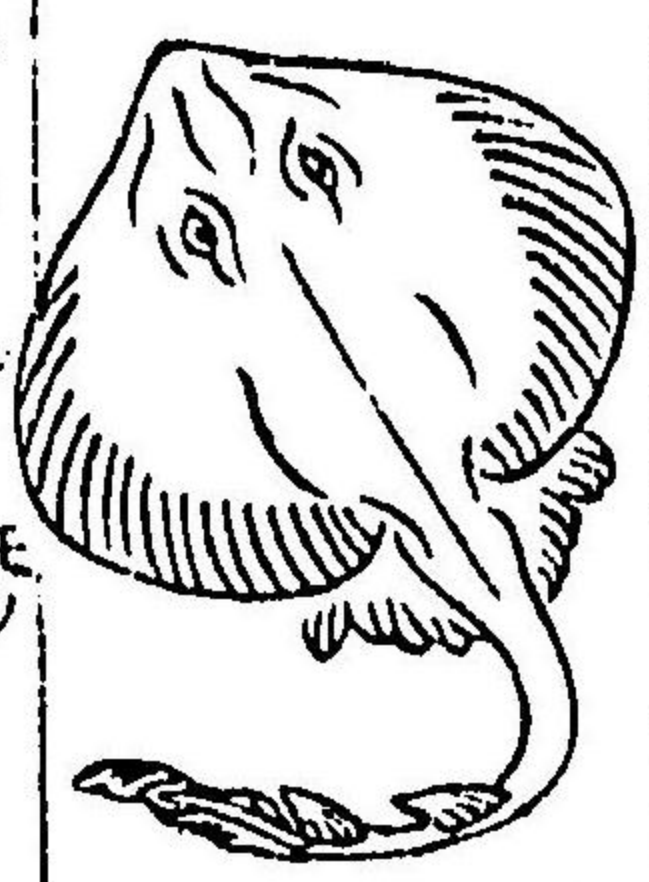
鰓孔アキトハ種々ニテ其數五個ツヨリ七個ツ、ニ至ル迄アリ  
鰓蓋アキトナク皮ニ細小ニカノ砂粒キタ又板様ノ鱗アリ



雙鬚魚  
鯊魚ハゼノ属中ヒダグニシテ最モ  
異形カタキ者ニシテ其頭丁  
ノ字ヲナシ其兩端ニ眼アリ

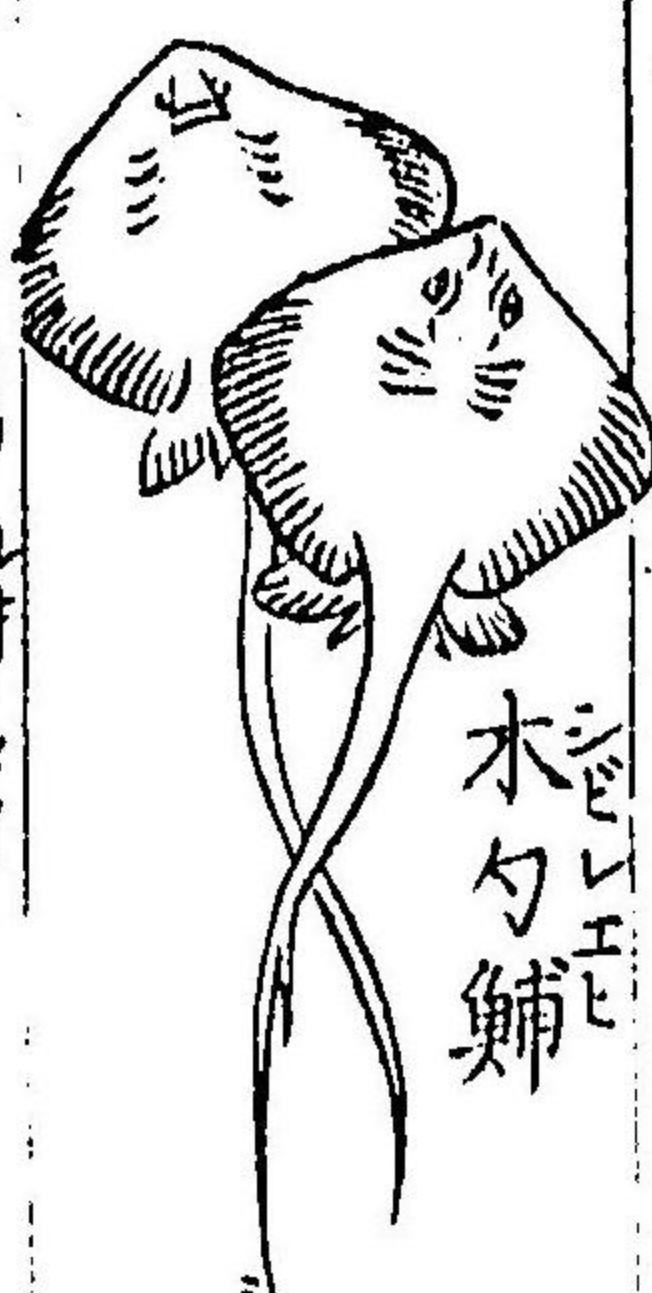


魚 黄貂



黄貂ノ中ニテ人ノ尋常ニ食スル者ナリ尾ニ骨状ノ鋭刺スルアリテ防禦具トス大キナル至リ

テ凡八九尺ノ者アリ多ク蒲鉾ヤニ作ル潰ニス



アカエヒノ品類ニシテ身ノ内部ニ電気池アリ身ヲ護

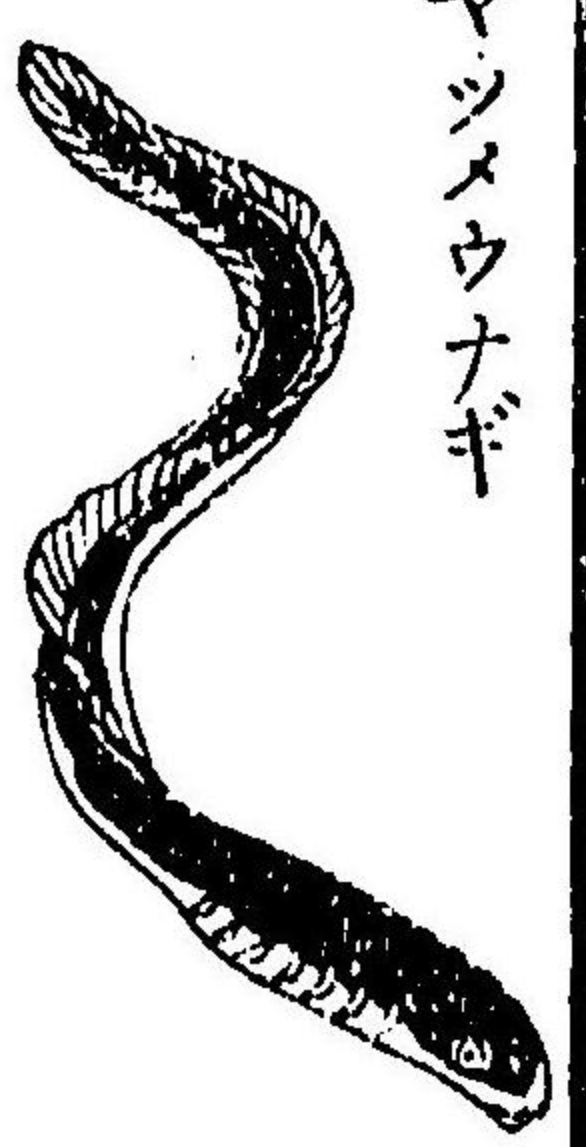
ル其トス之ニ觸ルトキハ忽チ麻痺ヲ覚ユルナリ

魚類第七 圓嘴類

胸鰓及ビ腹鰓ハ正

圓或ハ半圓形ニシテ鰓ハ小囊ノ形ヲナス鰓孔種々ニシテ其數六個ヨリ七個ニ至ル迄アリ

ヤツメウナギ



諸國ニ是アレド就中信州諏訪ノ湖ニ採ル物ヲ名産トス又北海道ニ多シ俗ニ八眼ト称ズレ氏其七個ハ鰓

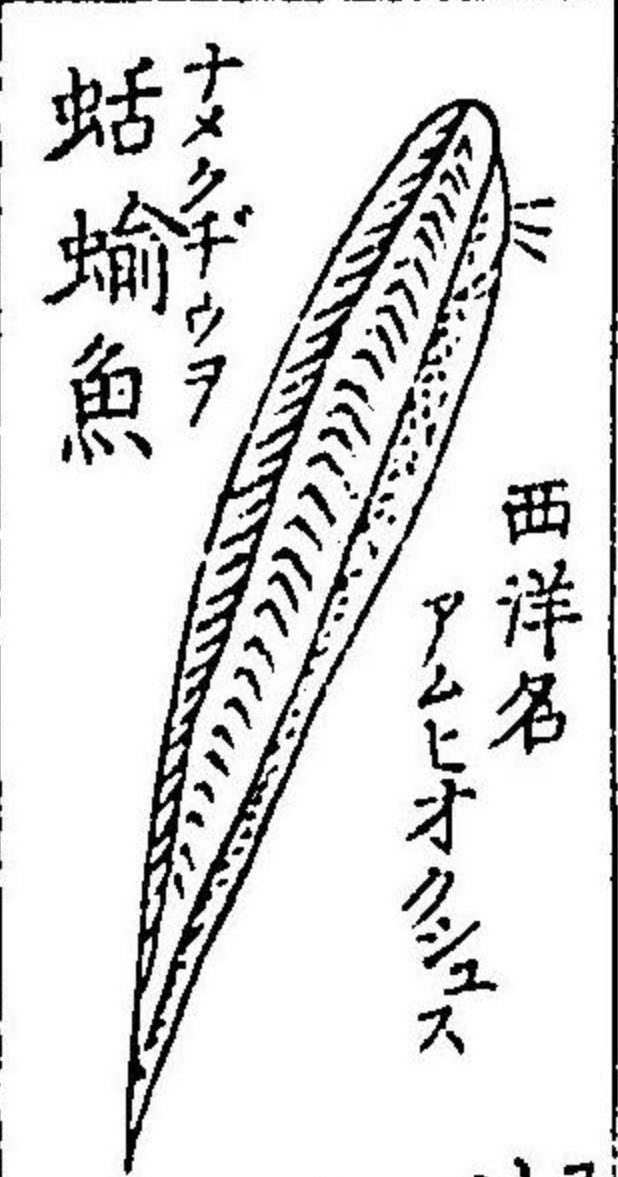
孔ニシテ眼ニハ非ズ之ヲ乾魚トナシテ諸方ニ出ス即チ小児ノ疳疾ニ効アリ

魚類第八 狭心類

此類唯一屬一種

アリ脊骨アレ氏髓ナシ心臓ナク胡ノ如キ血囊アリ其血白色ナリ鰓ハ頭裏ニアリテ鰓孔ナシ唯糞孔アリ

傍ニ一孔アリテ吸タル水ヲ洩ス



西洋名 アムヒオクニス 此魚地中海ニ産ス諸ノ有脊動物中ノ最モ不全



カタチノナル者ナリ故ニ往昔ハ是ヲ柔軟類シウケンルビノ蛞蝓ツツ屬ソウトセリ

画引博物圖註解卷之三終

明治十年一月十五日御届

同 二月刻成

定價貳十錢

註解人

松川半山

大阪府下第一大區九小區  
道修町五丁目三十五番地

出板人

梅原龜七

大阪府下第一大區八小區  
備後町四丁目十一番地住



